

(受学管 7 - 7)

大開小学校体育館空調設置ほか改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
M-00	表紙・図面リスト	——	A-01	建築改修工事特記仕様書 1	——	E-01	電気設備工事特記仕様書-1	——
M-01	共通特記仕様書	——	A-02	建築改修工事特記仕様書 2	——	E-02	電気設備工事特記仕様書-2	——
M-02	機械設備工事 特記仕様書-1	——	A-03	建築改修工事特記仕様書 3	——	E-03	幹線設備 外構図	1/300
M-03	機械設備工事 特記仕様書-2	——	A-04	建築改修工事特記仕様書 4	——	E-04	高圧単線結線図	——
M-04	付近見取図	1/2500	A-05	建築改修工事特記仕様書 5	——	E-05	分電盤結線図	——
M-05	機械設備工事 配置図	——	A-06	建築改修工事特記仕様書 6	——	E-06	空調電源設備 体育館 1F	1/100
M-06	機械設備工事 系統図	1/100	A-07	建築改修工事特記仕様書 7	——	E-07	電気設備 南・西 立面図	1/100
M-07	機械設備工事 機器表	1/20	A-08	建築改修工事特記仕様書 8	——	E-08	電気設備 展開図	1/100
M-08	空調設備 1階平面図	1/100	A-09	建築改修工事特記仕様書 9	——	E-09	詳細図、配線系統図	1/10
M-09	空調設備 2階平面図	1/100	A-10	建築改修工事特記仕様書 10	——	E-10	空調屋外機廻り詳細図	1/30
M-10	換気設備 2階平面図	1/100	A-11	現況 配置図	1/300	E-11	部分詳細図	1/30
M-11	1階平面詳細図	1/50 1/150	A-12	現況 1階平面図	1/100			
M-12	施工標準図・参考図	——	A-13	現況 2階平面図	1/100			
			A-14	現況 屋根伏図	1/100			
			A-15	現況 北・南・西立面図	1/100			
			A-16	改修 配置図	1/300			
			A-17	改修 1階平面図	1/100			
			A-18	改修 2階平面図	1/100			
			A-19	改修 屋根伏図	1/100			
			A-20	改修 北・南・西立面図	1/100			
			A-21	改修 東・西展開図	1/100			
			A-22	改修 南・北展開図	1/100			
			A-23	コトライ配置改修 1階平面図	1/100			
			A-24	収納台車新設詳細図	1/5・1/20・1/50			
			A-25	空調室外機置場詳細図	1/50・1/30			
			A-26	駐輪場詳細図	1/100 1/50・1/30			
			A-27	仮設計画 1階平面図(参考図)	1/100			
			A-28	仮設計画 2階平面図(参考図)	1/100			
			A-29	仮設計画 屋根伏図(参考図)	1/100			
			A-30	仮設計画 北・南・西立面図(参考図)	1/100			

<p>A 工事概要</p> <p>1 工事名称 (受学管7-7) 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p> <p>2 工事場所 宇治市広野町大開35</p> <p>3 工事期間 入札通知書による。</p> <p>4 規模構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建</p> <p>5 延床面積 711.44㎡</p> <p>6 工事範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館空調設置工事に伴う機械設備工事 一式 ・空調機器設置工事 ・換気設備設置工事 ・上記に伴う建築工事 一式 ・空調機器基礎新設工事 ・外構工事(フェンス、駐輪場) ・塗装改修工事 ・体育施設改修工事 ・上記に伴う電気設備工事 一式 ・空調機器の電源工事 ・換気設備の電源工事 ・上記に伴う撤去・処分 一式 	<p>k その他</p> <p>l 過積載防止</p> <p>m 官公庁その他への手続き</p> <p>n 技術者及び現場代理人</p> <p>o 工事完了時の整地</p> <p>p 建設発生土の処分</p> <p>q 解体等工事の事前調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通誘導警備員は、現場説明書による。 ・ 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 ・ 受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。 <p>受注者は本工事における材料等の搬入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。</p> <p>工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。</p> <p>なお、これに要する費用は受注者の負担とする。</p> <p>受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。</p> <p>受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書(報告書)」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料(受入証明書)及び写真等を添付する。 ・ その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。 ・ 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。 ・ また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。 ・ 調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。 ・ 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。 																				
<p>B 特記仕様書</p> <p>1 共通事項</p> <p>a 施工基準</p> <p>b 監理基準</p> <p>c 提出書類等</p> <p>d 建設業退職金共済制度</p> <p>e 工事実績情報</p> <p>f 建設工事保険等</p> <p>g 労災補償に必要な法定外の保険契約について</p> <p>h 工事写真・完成写真</p> <p>i 不正軽油使用防止の徹底</p> <p>j 一般事項</p>	<p>2 発生材等処分</p> <p>3 仮設工事</p> <p>4 その他</p>	<p>「本工事は契約書及び 質疑回答書 現場説明書 特記仕様書 設計図 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)及び公共建築工事標準仕様書(建築工事編 機械設備工事編・電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。</p> <p>本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修令和4年版)により監理する。</p> <p>契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においては、すべての下請負人及び警備業者を記載する。</p> <p>なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。</p> <p>受注者は建設業退職金共済制度(建退共)に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共通実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。</p> <p>受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に(一財)日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入力システム(CORINS)の登録申請を行う。</p> <p>また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する(作成、登録等に伴う費用は受注者の負担とする)。</p> <p>受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等(第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む)に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。</p> <p>受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(令和元年法律第35号)に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険(法定外の労災保険)に付する。</p> <p>工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工中と共に工事用アルバムに整理の上1部提出する(データ共)。</p> <p>なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一対(左右または前後)として整理すること。</p> <p>受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。</p> <p>また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 ・ 工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。 ・ 騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。 ・ 既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が生じた場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 ・ 使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。 ・ 工事完成時には、社内検査を実施する。 ・ 本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。 ・ 使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器 低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し、安全性に責任を持ち管理する。 <p>撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書(報告書)」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証(搬出地と搬入地)の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。 ・ その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。 ・ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。 ・ 工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認できる写真を提出する。 <p>「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてモリサイクル後の処理残滓(ザンサイ)等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。</p> <p>なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃税も本工事に含む)</p> <p>現場説明書による。</p> <p>工食用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。</p> <p>現場説明書による。</p> <p>施工範囲・資材置場等に対しての侵入防止策を講じる。(フェンスバリケード(シート貼り共)等)</p> <p>詳細については仮設計画図による。</p> <p>足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシート又は工食用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠組足場(W=900以上)とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正)」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。</p> <p>受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。</p> <p>「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時において、当該居室における空間のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し分析結果を監督職員に提出する(検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日施行)による)</p> <p>分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレン用バッシュ採取機器(サンプラー)一覧表(学校用)」による。(平成21年4月1日改訂版)</p> <p>測定場所:体育館 2箇所</p> <p>工事着工に際し、事前に必要な機器(照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等)器具の機能確認を行い、その結果を書面にて監督職員に報告する。</p>																				
<p>備考</p>	<p>吉村建築事務所</p> <p>1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>内容</th> <th>サイズ</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完成図(背張り製本)</td> <td>特記仕様書・完成図・施工図</td> <td>A3版</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>完成図書</td> <td>機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)</td> <td>A4版</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>諸官庁提出書類</td> <td>副本</td> <td></td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>完成図データ</td> <td>CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF</td> <td>C D - R</td> <td>2部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p> <p>図面名 共通特記仕様書</p> <p>設計年月日 2025. 3 .</p> <p>図面番号 M — 01</p>	名称	内容	サイズ	部数	完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部	完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部	諸官庁提出書類	副本		一式	完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C D - R	2部
名称	内容	サイズ	部数																			
完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部																			
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部																			
諸官庁提出書類	副本		一式																			
完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C D - R	2部																			

機械設備工事特記仕様書 1

【工事概要】 1 工事場所 宇治市広野町大開35 2 建物概要 建物名 構造 階数 延床面積(m2) 消防法令別表第一 耐震安全性の分類 備考

3 工事事目 印をついたものを適用し、各一式とする。 工事事目 建物名称 体育館 空気調和設備 換気設備 排煙設備 自動制御設備 衛生器具設備 給水設備 排水設備 給湯設備 消火設備 ガス設備 厨房機器設備 浄化槽設備 医療ガス設備 撤去工事

【特記事項】 1 一般事項 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工書編）令和4年版」(以下、「標準仕様書」という。)...

表: 特記事項の項目と内容。項目: 設備機材等, 機材の承諾, 機材の品質・性能証明, 現場代理人, 電気保安技術者技能士(一級), 工用電力・水その他, 官公署への手続き, 工用仮設備, 足場・作業橋台, 監督職員事務所, 建設副産物の処理及び建設発生土の処理, 再生資源利用(促進)計画・実施書の提出, 建設発生土処理計画書及び建設副産物等処理計画書を監督職員に提出する, アスベストの処理等, 塗装, 吹出口及び吸込口ボックス, スリット製の板厚, ボックス, 誘導電動機, 開放形膨張タンク等, 電線及び電線管

表: 特記事項の項目と内容。項目: 工事関係書類, 履行報告, 工事写真, 完成図書, 著作権等, 付属品及び予備品, 総合試運転調整, 耐震施工, 一般用弁, フレキシブルジョイント, 伸縮管継手(鋼管用), 溶接接合, 地中埋設管及び埋設表示用テープ, 防食処理, 保温, 配管(排水管), 塗装, 吹出口及び吸込口ボックス, スリット製の板厚, ボックス, 容量等の表示, 誘導電動機, 開放形膨張タンク等, 電線及び電線管

表: 特記事項の項目と内容。項目: はつり, インサート及びアンカー, 防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー, 消音内貼, ドレン抜き, 取付枠, 機器の基礎, 防火区画, 指示板, 給油設備, 建物導入部配管(排気及び通気を除く), 鋼材, 制御及び操作盤, 主方式, 主要熱源機器, 設計時の温湿度条件, 長方形ダクトの工法, ダクトの分岐方法, 配管材料(図面特記部分は除く), 空調用排水管, 補給水管, 膨脹管, エア抜き管, 冷媒管, 冷媒管接続方法, 温度計, 定風量ユニット, 変風量ユニット, ファンコイルユニット, パーサー制御方式, 電動機, 排熱投入形再生器, 高温再生器の構造, コージェネレーション装置, ○集中リモコン

機械設備工事特記仕様書 2

章	項目	特記事項									
空気調和設備	銅板製煙道	厚さ 3.2mm 4.5mm ばい煙濃度計の取付座 ばいじん量測定口 伸縮継手 掃除口									
	ばい煙濃度計	ファン付 ファンなし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)									
	瞬間流量計	固定形 個 着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)									
	保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠ぺい部 不要 必要 露出部 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) カラー亜鉛鉄板 ビニル化粧テープ巻き ・屋外 ステンレス鋼板 樹脂製 アルミ合金製 保温化粧ケース ステンレス鋼板製 ・保温化粧ケースの下部カバー 必要 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水櫃の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油槽はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。									
換気設備	ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法 (共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) スパイラルダクト アルミフレキシブルダクト									
	ダクトの分岐方法	給気ダクト 割込み方式 直付け方式 排気ダクト 割込み方式 直付け方式									
	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>板厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450mm以下</td> <td>0.6mm</td> </tr> <tr> <td>450mmを超え1200mm以下</td> <td>0.8mm</td> </tr> <tr> <td>1200mmを超え1800mm以下</td> <td>1.0mm</td> </tr> <tr> <td>1800mmを超えるもの</td> <td>1.2mm</td> </tr> </tbody> </table>	ダクトの長辺	板厚	450mm以下	0.6mm	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	1800mmを超えるもの
ダクトの長辺	板厚										
450mm以下	0.6mm										
450mmを超え1200mm以下	0.8mm										
1200mmを超え1800mm以下	1.0mm										
1800mmを超えるもの	1.2mm										
排煙設備	排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 亜鉛鉄板 2) 排気フード廻りに取付ける扉板は、上記フードと同材質とする。 本工事 別途工事 3) グリスフィルターの予備 不要 必要									
	保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 不要 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 保温を行う場合は標準仕様書第2編第3章第1節による。									
	排煙対象部分	廊下 事務室 図示 最大面積 m ²									
	ダクトの種類	高圧1ダクト 高圧2ダクト									
自動制御	ダクトの工法	アングルフランジ工法									
	ダクトの材料	亜鉛鉄板製 普通銅板製									
	排煙口	1) 形状 スリットフェース形 パネル形 ダンパー形 2) 排煙口の開放 手動 (機械式) 電気式 煙感知器連動 3) 復帰装置 手元復帰式 (手動式) 電気式 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との取り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。									
	保温	床下及び暗渠内の保温 不要 必要 (図示)									
衛生器具設備	小便器用節水装置	電気供給方式 A C電源 乾電池 水流発電充電電池									
	自動水栓	電気供給方式 A C電源 乾電池 水流発電充電電池 手動スイッチ 無し 有り									
	大便器用洗浄弁	操作方式 手動式 電気開閉式 (センサー式 タッチスイッチ式)									
	水石けん入れ 身障者用器具	手洗器一体型 手洗器分離型 1) 大便器洗浄弁 センサー式 タッチスイッチ式 レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。									
給水設備	給水方式	水道直結方式 高置タンク方式 増圧ポンプ方式 (水道用直結加圧ポンプユニット) ポンプ直送方式 (給水ポンプユニット)									
	配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ビニル管 (HIVP) ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PB、SGP-FPB) 塩ビライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) 保温付き (保護材) ポリブデン管 地中配管 [屋内] ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (50以下) (2種 1種) (ポリエチレン管の接合方法は 電気融着 メカニカル) ビニル管 (HIVP) ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) 塩ビライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) 保温付き (保護材) ポリブデン管 浴室、便所配管 コックリ埋設配管 ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (50以下) (2種 1種) ビニル管 (HIVP) ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) 塩ビライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD) 保温付き (保護材) ポリブデン管									
	緊急遮断弁装置	要 不要 駆動方式 電気式 機械式									
	量水器	現地表示式 (直読式) 遠隔表示式									

章	項目	特記事項
給水設備	水栓柱	合成樹脂製 () ステンレス製 () アルミニウム合金製 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	管の埋設深さ	1) 一般敷地 300mm 2) 構内車両通路 600mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
	加入金・負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管引込工事	本工事 別途工事
排水設備	排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 分流式 合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] 分流式 合流式 ポンプ排水 有り (雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽2次側) なし
	放流式	汚水 直放流下水管 浄化槽 雑排水 直放流下水管 浄化槽 別途樹・側溝 雨水ポンプアップ 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹 湧水ポンプアップ 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 排水用塩ビライニング鋼管 (D-V A) 鋼管 (SGPW) (ねじ接合 MDジョイントによる接合) 保温付きビニル管 (V P) 耐火二層管 屋内汚水排水管 排水用塩ビライニング鋼管 (D-V A) ○ビニル管 (V P) R F - V P 耐火二層管 通気管 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 鋼管 (SGPW) (ねじ接合 MDジョイントによる接合) ビニル管 (V P) 耐火二層管 地中配管 [屋内] リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (R E P - V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) ビニル管 (V P) ○ビニル管 (V U) 地中配管 [屋外] リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (R E P - V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U) カラービニル管 (V P) ビニル管 (V U) コンクリート管 鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング鋼管 (S G P - V A、S G P - F V A) (地中配管はS G P - V D、S G P - F V D) とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。
	満水試験継手	必要 (図示箇所に取付ける) 不要
給湯設備	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 別途工事
	給湯方式	中央式 局部式 ガス湯沸器
	配管材料	鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ステンレス鋼管 圧縮・プレス接合 耐熱性塩ビライニング鋼管 保温付き (保護材) ポリブデン管 架橋ポリエチレン管
消火設備	保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2-3.5による。
	消火設備の種類	屋内消火栓 スプリンクラー 泡消火 不活性ガス消火 () 連絡送水管
	表示灯	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。
	配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 配管用炭素鋼管 (白) 圧力配管用炭素鋼管 (白) 地中配管 消火用ポリエチレン管 (P E) 屋内外地中配管 外面被覆鋼管 (S G P - V S) 消火用ポリエチレン管
ガス設備	保温	消火用充水タンクの保温を 施工する (膨張タンクによる) 施工しない 消火用呼水タンクの保温を 施工しない 施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	ガスの種類	都市ガス (発熱量 45,000 kJ/N m ³ KJ/N m ³) 液化石油ガス (50 kg 本立 20 kg 本立)
	ガスメーター 既設	親メーター 貸与品 購入
	配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 配管用炭素鋼管 (白) 屋内外地中配管 ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管 都市ガスの場合は、供給者仕様による。 大阪ガスネットワーク(株)
設く井	地中埋設管の接合法	S G M工法 ネジ工法 P E管工法
	ビット内施工法	溶接工法
	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 別途工事
掘削工法	掘削工法	パーカッション式 ローター式 ダウンザホールハンマー式
	掘削工法	掘削工法
掘削工法	掘削工法	掘削工法
	掘削工法	掘削工法

その他	項目	特記事項
その他	コア抜き (クイックドリル穴明け)	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
	校正記録	試験機器類の校正記録を提出する。
	交通誘導員	機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。
	保安器材	カラーコーン、コーンウエイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
	鉄板敷き	1,524×6,096×厚22mm
アンカーボルト	中庭外壁に配管する冷媒管用支持金具取付はケミカルアンカーを使用すること。	

別表 付属品・予備品

工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー)	マンホールフック	パイプレンチ	ポンプブライヤー	ラバーカップ (大、小)
イーゼルキャビネット	箱	キーボックス		
盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)				

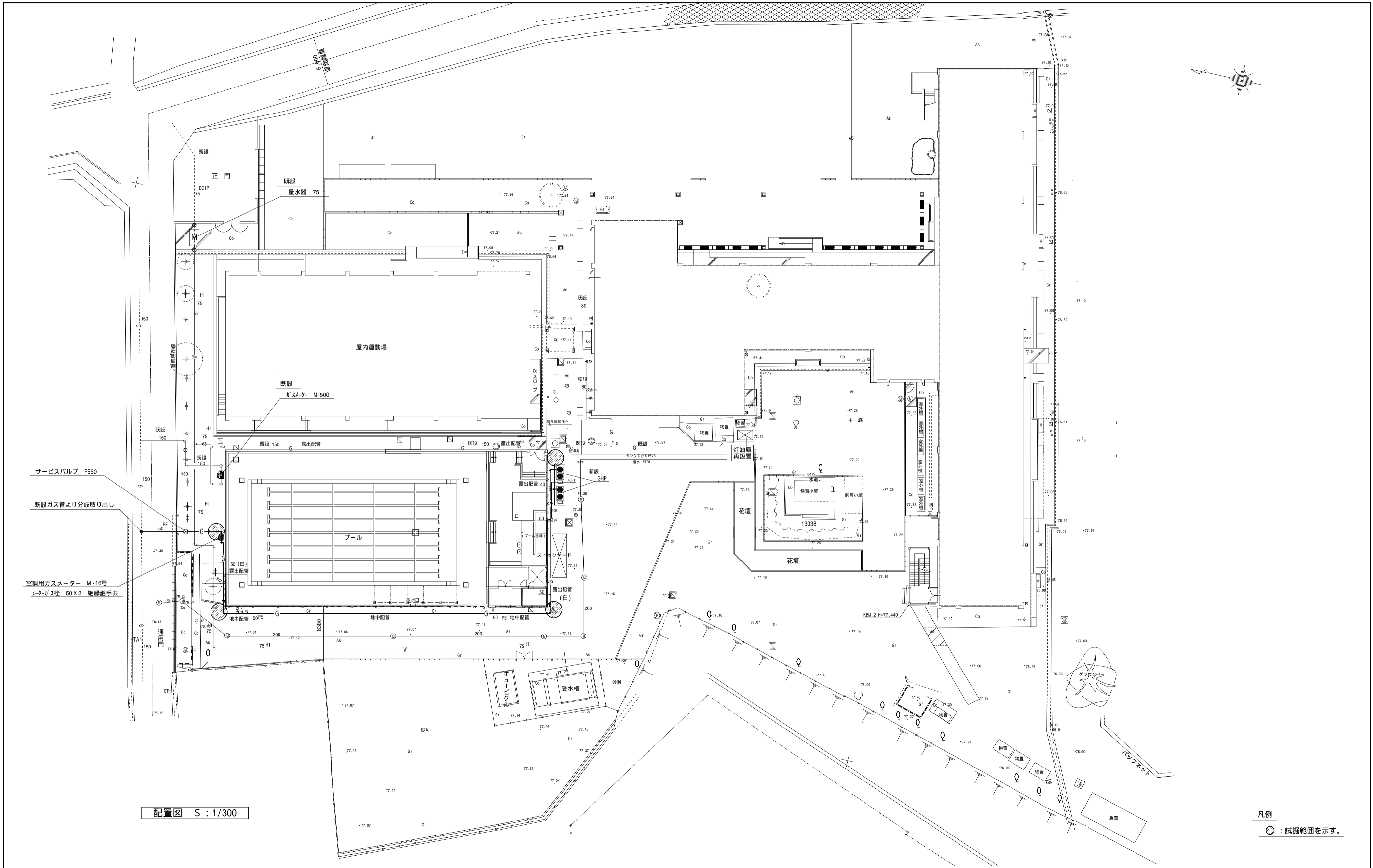
試験・検査

水圧試験	排水満水試験	排水通水試験	風量測定	吹出口温度測定
気密試験	点火試験	機器動作試験	絶縁試験	
騒音測定	振動測定			
消防設備試験	水質検査	水槽水張り試験	アンカー引張試験 (有資格者) (屋外機、屋内機)	



付近見取図 S=1/2500

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫		工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025.03.	図面番号 M - 04
			図面名	付近見取図	縮尺	1/2500	



サービスバルブ PE50
 既設ガス管より分岐取り出し
 空調用ガスメーター M-16号
 マーカース栓 50 X 2 絶縁継手共

配置図 S : 1/300

凡例
 ◎ : 試掘範囲を示す。

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日 2025. 03 ..	図面番号 M — 05
		図面名 機械設備工事 配置図	縮尺 1/300	

凡 例

記号	名称								備考
		SGP(白)	VP	保温付 -VP	PE	CUP-L	大阪ガス仕様 PLP	大阪ガス仕様 ELP	
— R —	冷 媒 管 国土交通省仕様								ファイアレス ジョイント使用
— D —	ド レ ン 管 (屋外立管、屋外露出部分)								屋外は カラ-VP
— D —	ド レ ン 管 (室内露出、化粧加-内部分)								屋内は 保温付きVP
— G —	ガ ス 管 (地中埋設、土間下部分)								
— G —	ガ ス 管 (一般、露出部分)								塗装仕上
⊙	空気搬送ファン (新設 天井吊型)								
⊗	壁付換気扇 (既設 24時間換気用他)								
⊠	雑排水枦 雨水枦								
Ⓧ	浸透枦 (樹脂製 200)								

- 1) 上表中 印を適用する
- 2) 管材は下記の通りとする
- CUP-L リン脱酸銅継目無銅管(空調用断熱被覆銅管)
 - SGP(白) 配管用炭素鋼銅管
 - VP 硬質塩化ビニル管
 - 保温付-VP 保温付硬質塩化ビニル管
 - PE ガス用ポリエチレン管
 - PLP ガス用外面ポリエチレン被覆銅管
 - ELP ガス用塩化ビニル被覆銅管

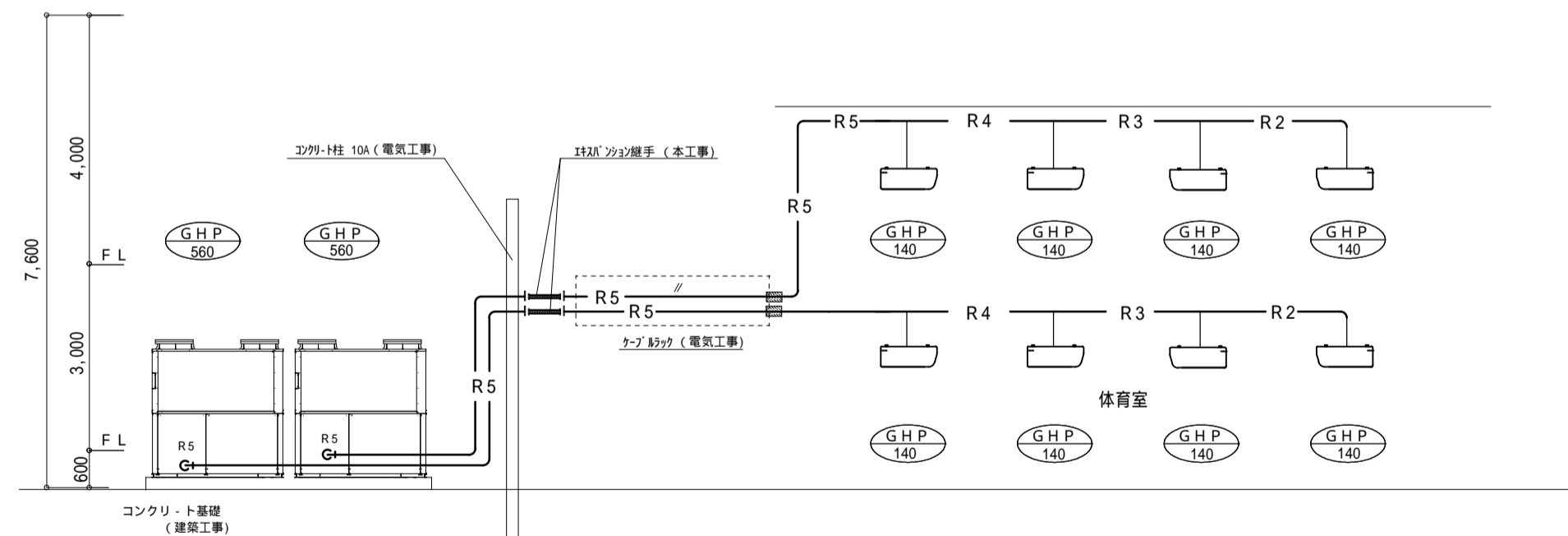
接着系(SUS製)アンカー

ボルト呼び径	L(mm)	穿孔径(mm) φ2
M-10	80	13.5
M-12	90	14.5

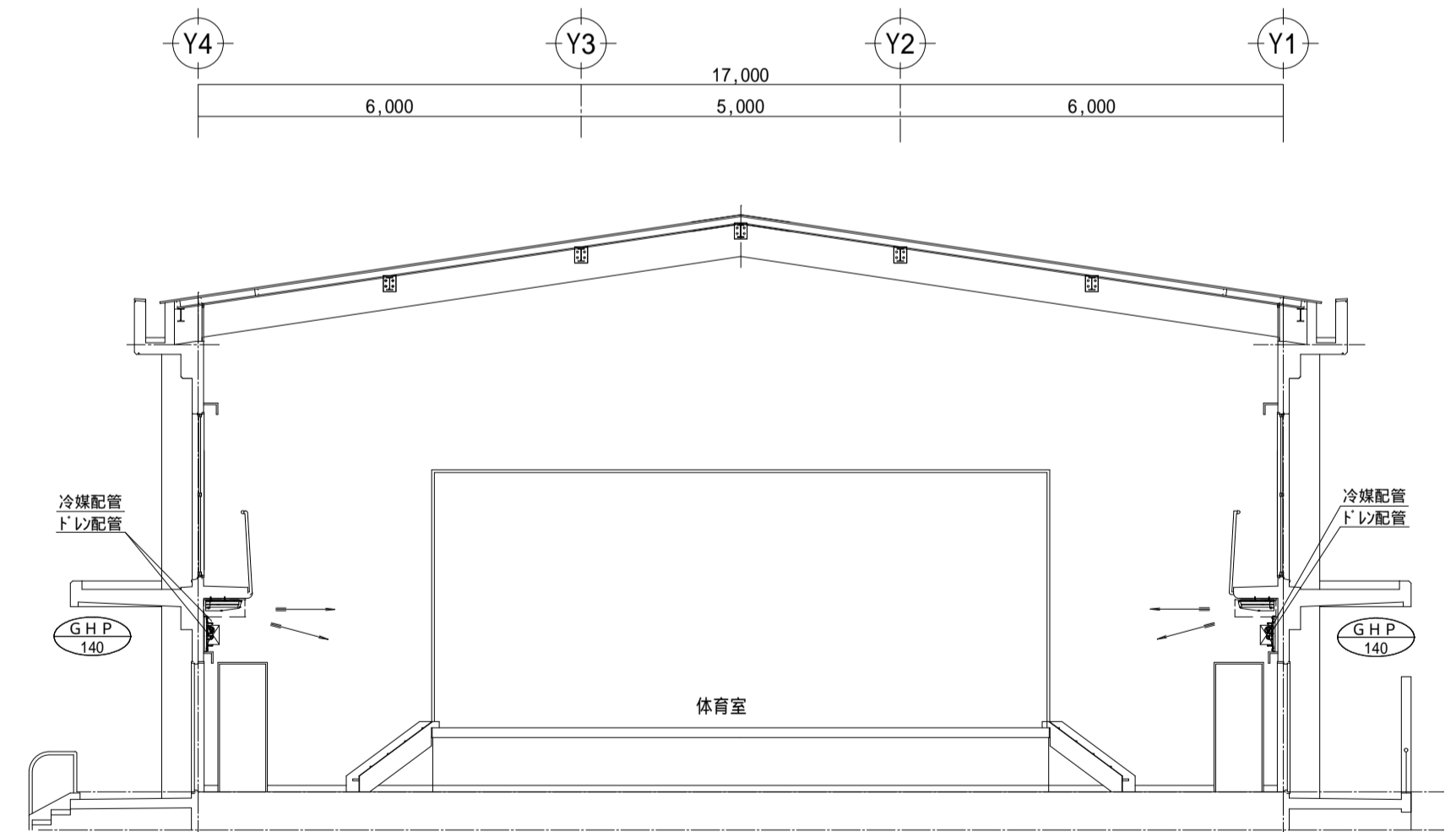
冷媒配管サイズ表

記号	ガス管サイズ	液管サイズ
R1	12.7	6.35
R2	15.88	9.52
R3	22.2	9.52
R4	28.6	12.7
R5	28.6	15.88

渡り配線は冷媒共巻きとする。



系統図



断面図 1/100

機器表

記号	名称	型式	冷房能力 (KW)	暖房能力 (KW)	圧縮電動機 (KW)	送風電動機 (KW)	電源 (V)	消費電力 (W)		本体寸法 (mm) W x D x H	製品重量 (kg)	冷媒管 (m/m)	風量 (m³/min)	燃料 (kW/H) 冷房	燃料 (kW/H) 暖房	台数	参考品番	備考		
								冷房	暖房											
GHP 560	ガスエンジン パッケージエアコン ビルマルチ型 室外機 ハイパワープラス 電源切替盤バッテリー100V変換トランス 自立運転スイッチ盤 (屋外用) 防振パッド		56.0	63.0		0.75 x 2	3 x 200	1330	1190	2026 880 2228	870	28.58 15.88		46.1	42.7	2	ABGP560F2ND同等品	地上 コンクリート基礎 接着系アンカー M12 x 4本		
								非発電時	非発電時			R5		非発電時	非発電時		AGLS3A同等品	自立ユニット		
																		GECBAT70A同等品	バッテリー	
																		AGLS-TR同等品	100V変換トランス	
																			K-KSVP10B1同等品	防振パッド
GHP 140	ガスエンジン パッケージエアコン 天井露出型 屋内機		14.0	16.0			1 x 200V	84	84	1595 680 210	33	15.88 9.52				8	AXHP140NA同等品	体育室 ギャラリー 接着系アンカー M12 x 6本		
												R2				2	ABRC1G3同等品	控室 リモコンスイッチ		
																2	ADST301B1同等品	控室 スケジュールタイマー		
																8	参考図同等品	ギャラリー 防球ガード 接着系アンカー M12 x 6本		
			防球ガード 材質 S S 400 指定色塗装 参考寸法 1800 X 800 X 350 H 格子ピッチ 100 X 100																	
F-1	エア-搬送ファン		風量 1450m³/h		消費電力 1 X 100V 60Hz		本体寸法 222H X 1016W X 197D									6	AH-2009SA2同等品	体育室 ギャラリー		
			コントロールスイッチ F S -08A H S 3													6	AH-G30A同等品	ギャラリー 防球ガード		

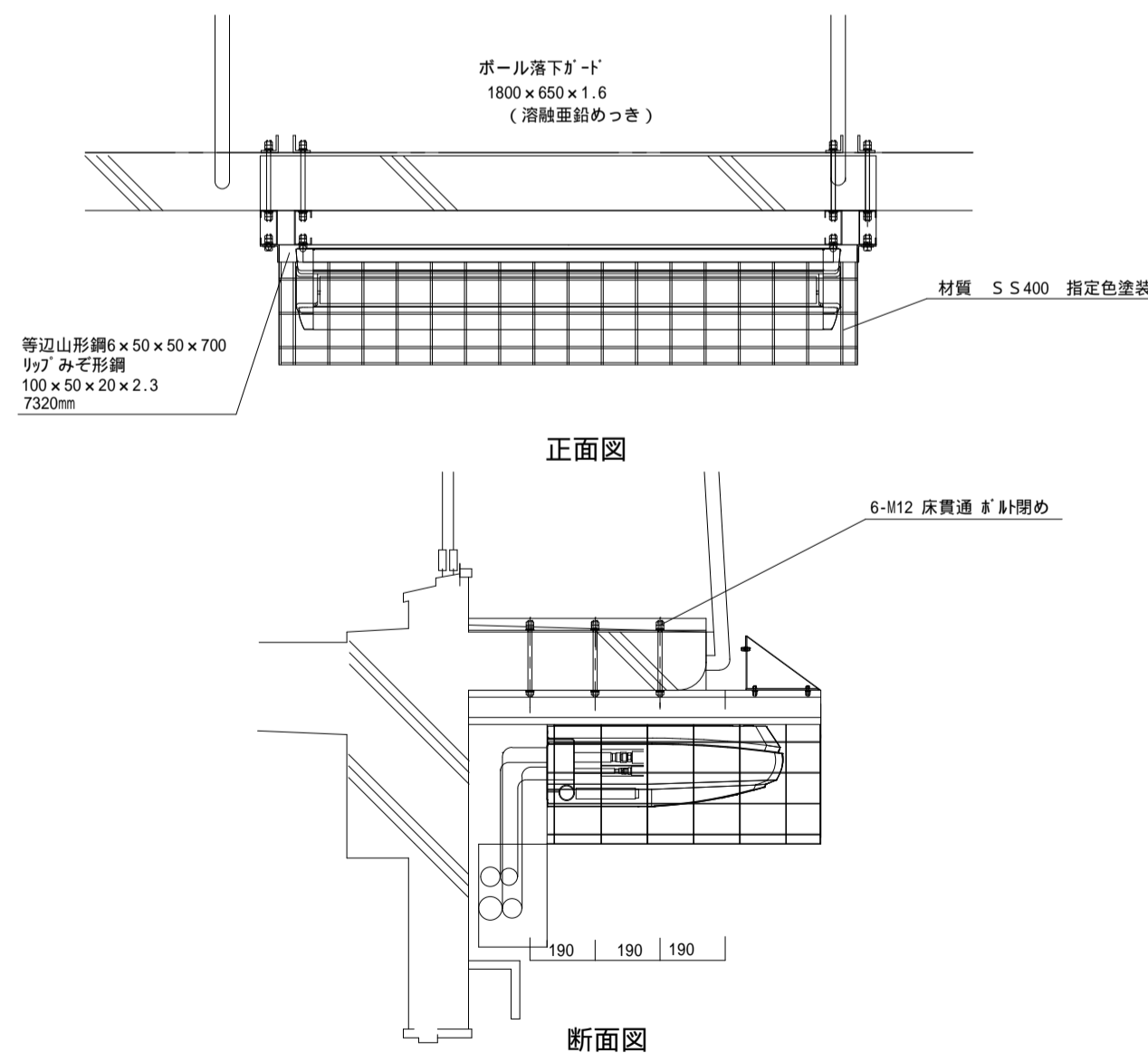
- 1、室外機と室内機の制御線は冷媒管と共巻き。本工程 制御ケ-ブルはEM-CEE1.25X2Cとする。
- 2、室外機と室内機の渡り用配管、配線 (EM-CEE1.25X2C 2本) 結線調整は本工程。
- 3、ガスエアコン屋内ユニットリモコンスイッチは4台で1系統運転とする。 防球ガードは取り付ける。
- 4、ガスエアコンウィークリタイマースイッチは4台で1系統運転とする。
- 5、エア-搬送ファンのコントロールスイッチは3台で1系統運転とする。 防球ガードは取り付ける。
- 6、エア-搬送ファンのコントロールスイッチは電気設備業者に支給する。機器運転調整は本工程。
- 7、ガスエアコン屋外ユニットは、マルチマウント防振パッド敷きとすること。

注記 1 フィルタ-の予備は室内機器と同数を納品する。

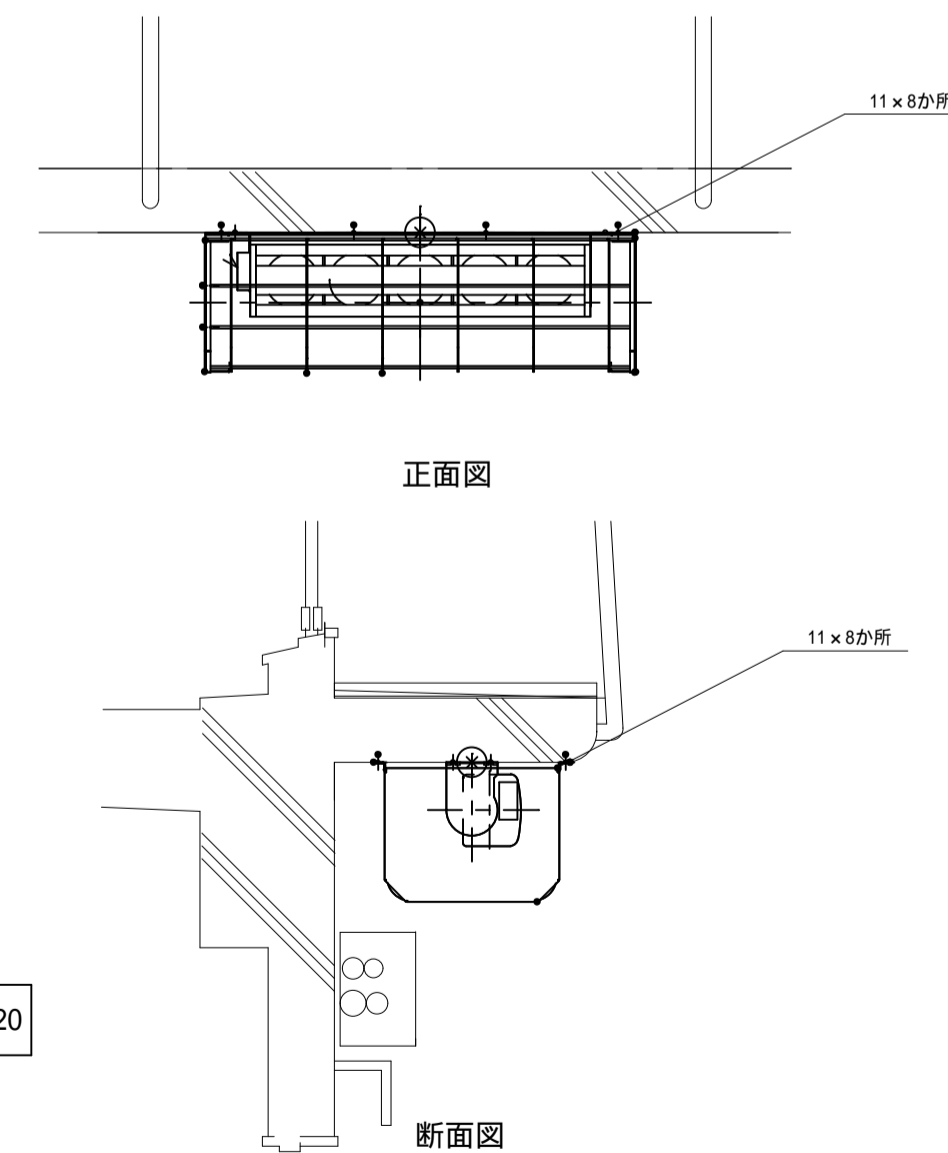
NO	品 目	製 造 者 名 簿
1	ガスエアコン	アイシン精機 (株)ダイキン工業(株)ヤンマ-エネルギー-システム(株)
2	換気扇、ファン類	三菱電機 (株) パナソニック (株) 日立アプライアンス (株)
3	保温付硬質塩化ビニル管	積水化学工業(株) ACD型 因幡電機産業(株) NDD型
4	屋内機用防球金具	ホ-コス(株)因幡電機産業(株)

屋内機防球ガード等 仕様

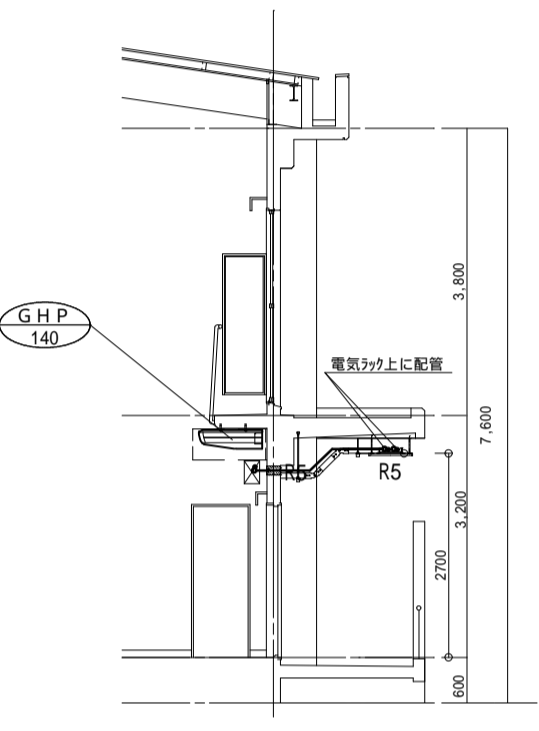
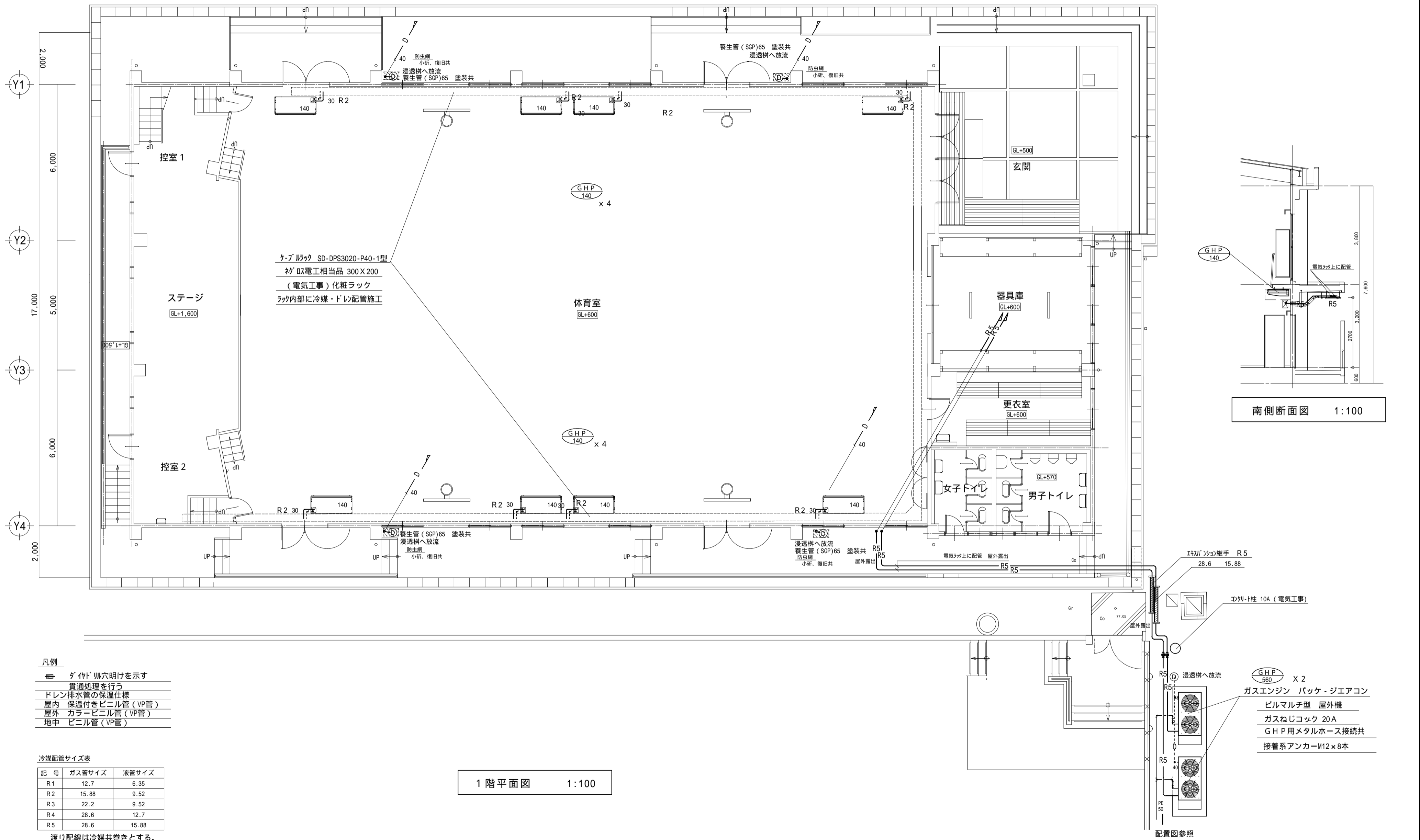
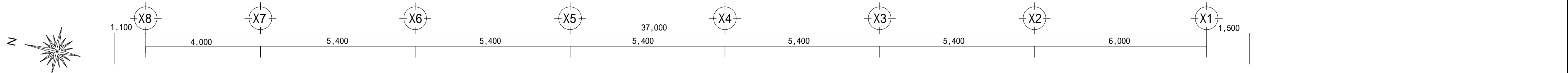
防球ガード	材質 S S 400 指定色塗装
	参考寸法 1800 X 800 X 350 H
	格子ピッチ 100 X 100
上部吊架台	リッ プ 溝形鋼
	C x 100 x 20 SS400メッキ仕上げ
ボール落下ガード	材質 S S 400 SS400メッキ仕上げ
	アングルフラットプレート
	寸法 2000 x 230 x 100H
吊り用アングルフラット	L50 x 50 x 6 SS400メッキ仕上げ
	700L x 4本
	製作図面作成承諾を得ること



屋内機防球ガード取付参考図 1/20



エア-搬送ファン防球ガード取付参考図 1/20



南側断面図 1:100

- 凡例
- ⇒ ダイヤド 開口明けを示す
 - ⇒ 貫通処理を行う
 - ⇒ ドレン排水管の保温仕様
 - ⇒ 屋内 保温付きビニル管 (VP管)
 - ⇒ 屋外 カラービニル管 (VP管)
 - ⇒ 地中 ビニル管 (VP管)

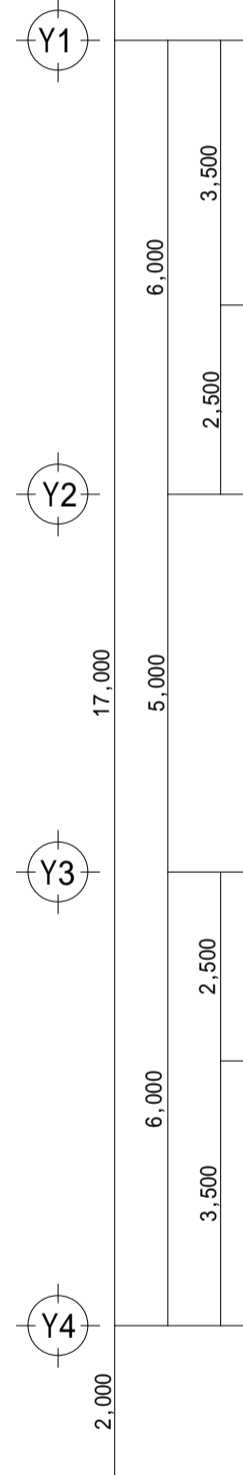
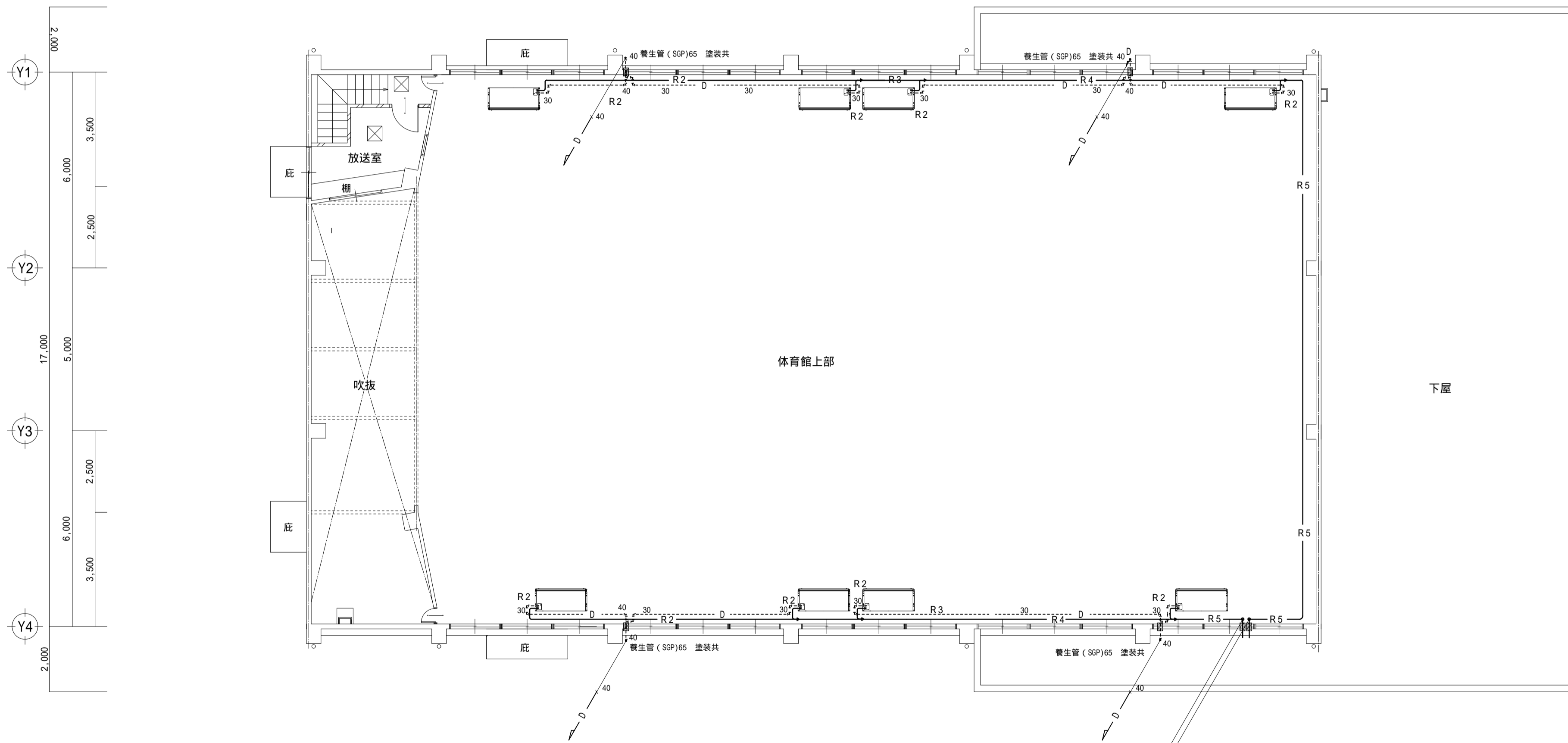
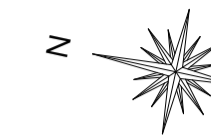
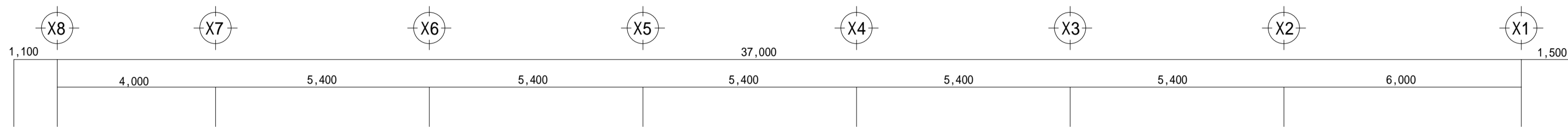
冷媒配管サイズ表

記号	ガス管サイズ	液管サイズ
R1	12.7	6.35
R2	15.88	9.52
R3	22.2	9.52
R4	28.6	12.7
R5	28.6	15.88

渡り配線は冷媒共巻きとする。

1階平面図 1:100

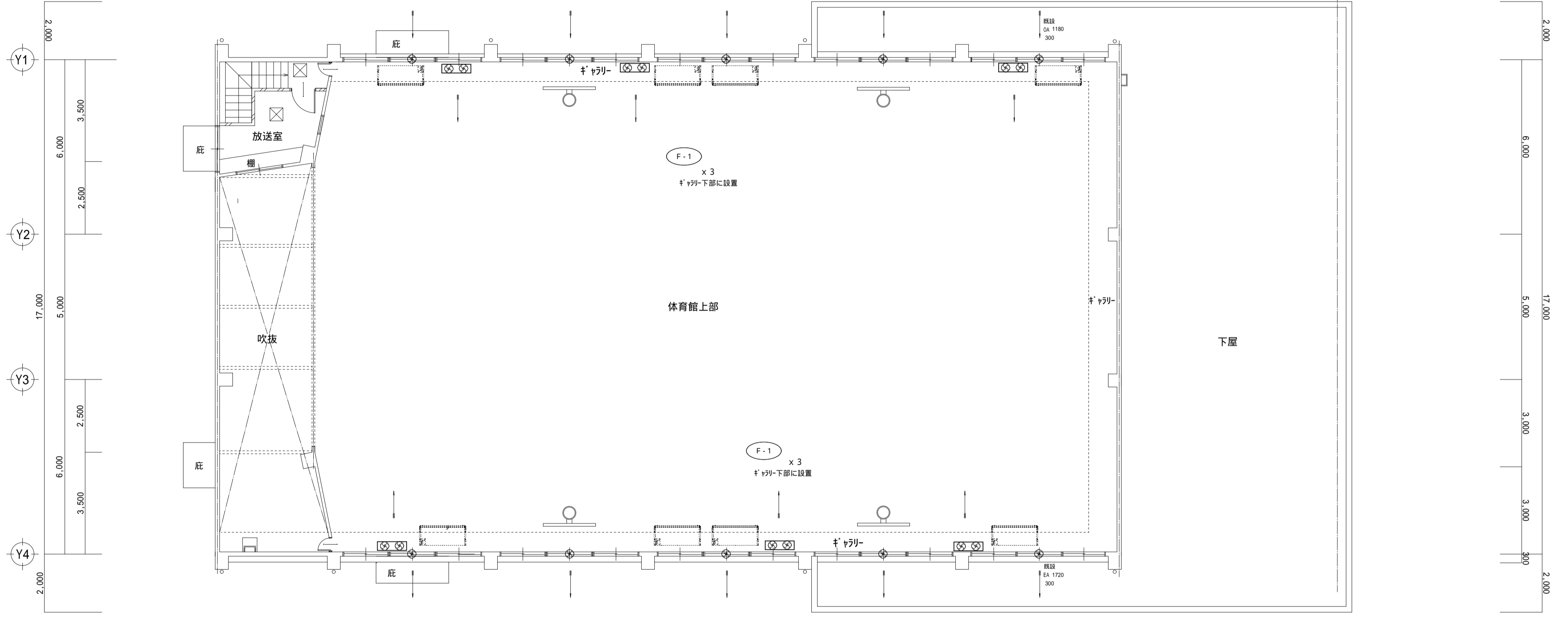
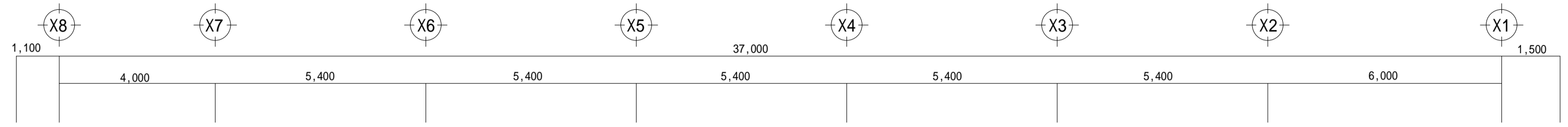
- 配置図参照
- ⇒ GHP 560 X 2
 - ⇒ ガスエンジン パッケージエアコン
 - ⇒ ビルマルチ型 屋外機
 - ⇒ ガスねじコック 20A
 - ⇒ GHP用メタルホース接続共
 - ⇒ 接着系アンカー M12 x 8本



- 凡例
- ≡ ダクト孔明けを示す
 - ≡ 貫通処理を行う
 - フレン排水管の保温仕様
 - 屋内 保温付きビニル管 (VP管)
 - 屋外 カラービニル管 (VP管)
 - 地中 ビニル管 (VP管)

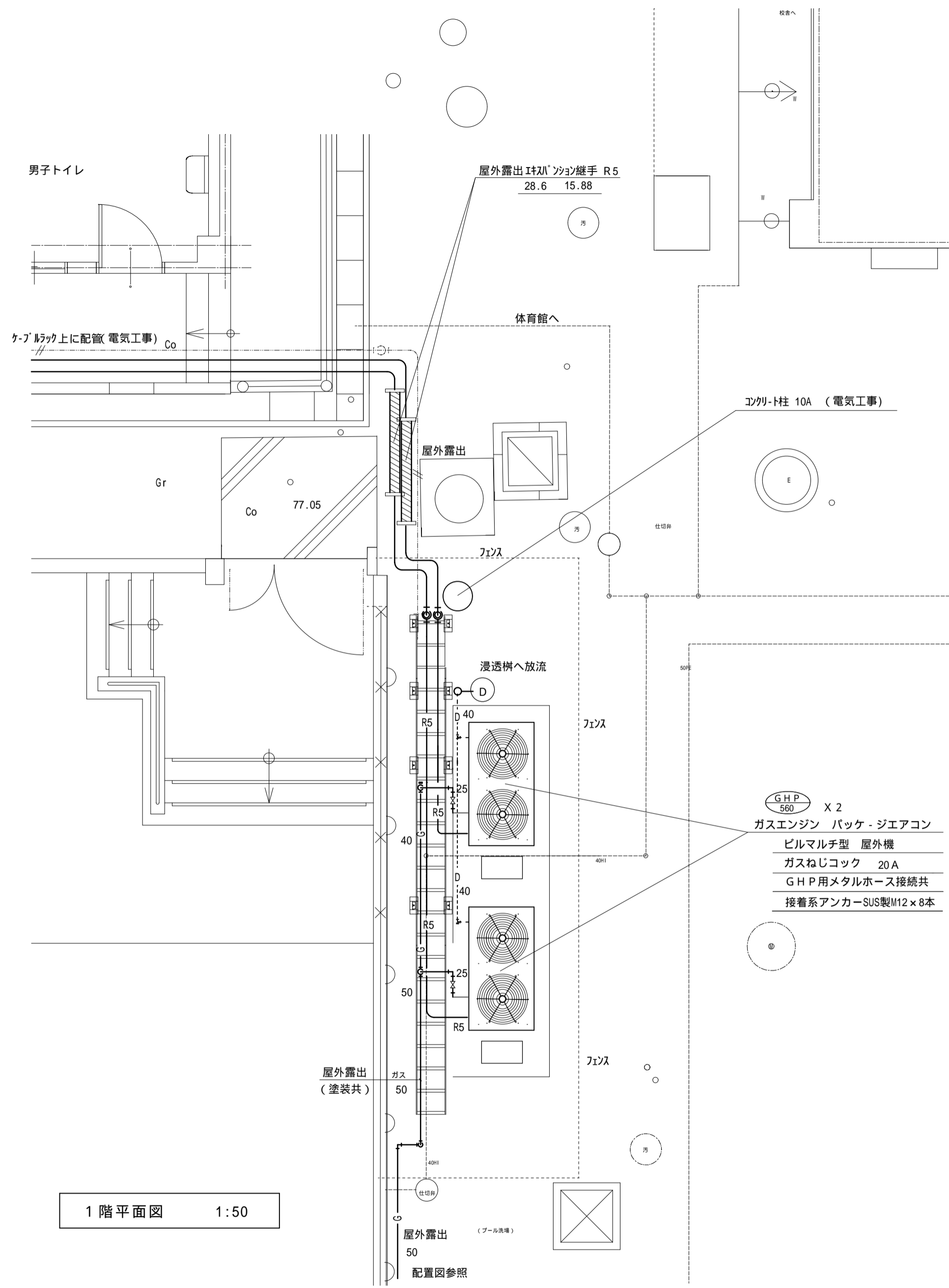
2階平面図 1:100

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025 . 03 .	図面番号 M — 09
		図面名	空調設備 2階平面図	縮尺	1/100	

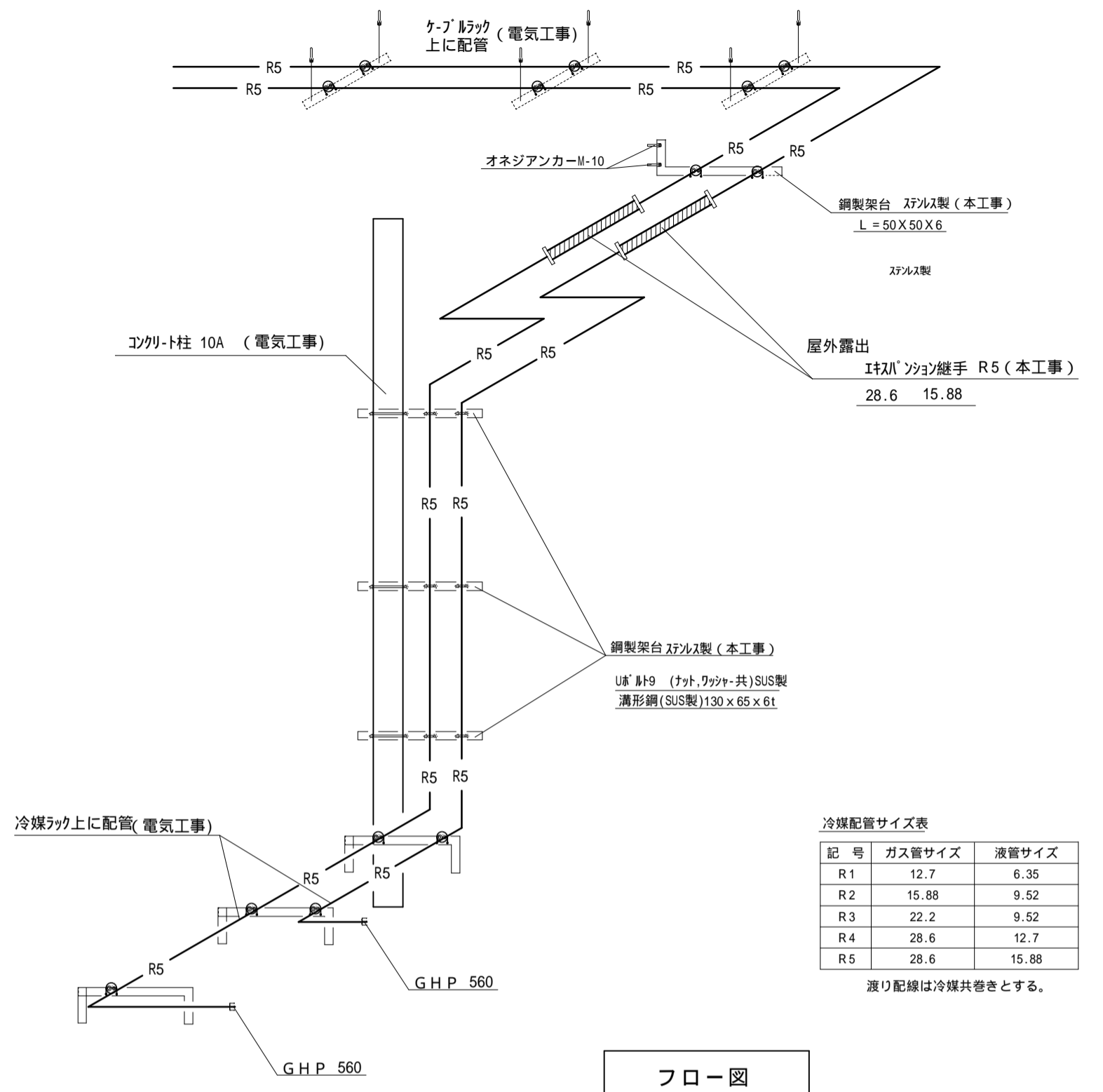


2階平面図 1:100

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025 . 03 .	図面番号 M - 10
		図面名	換気設備 2階平面図	縮尺	1/100	



1階平面図 1:50

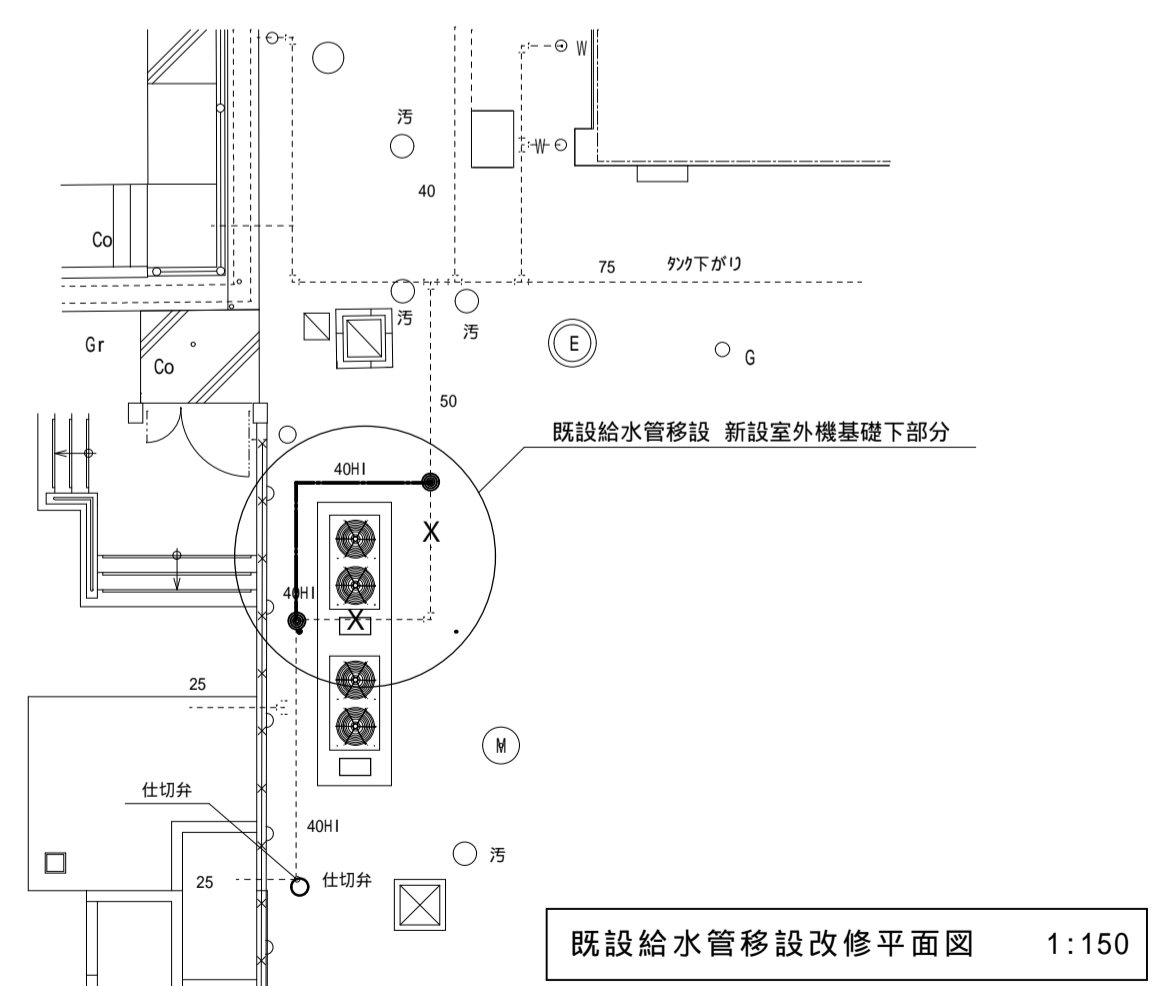


冷媒配管サイズ表

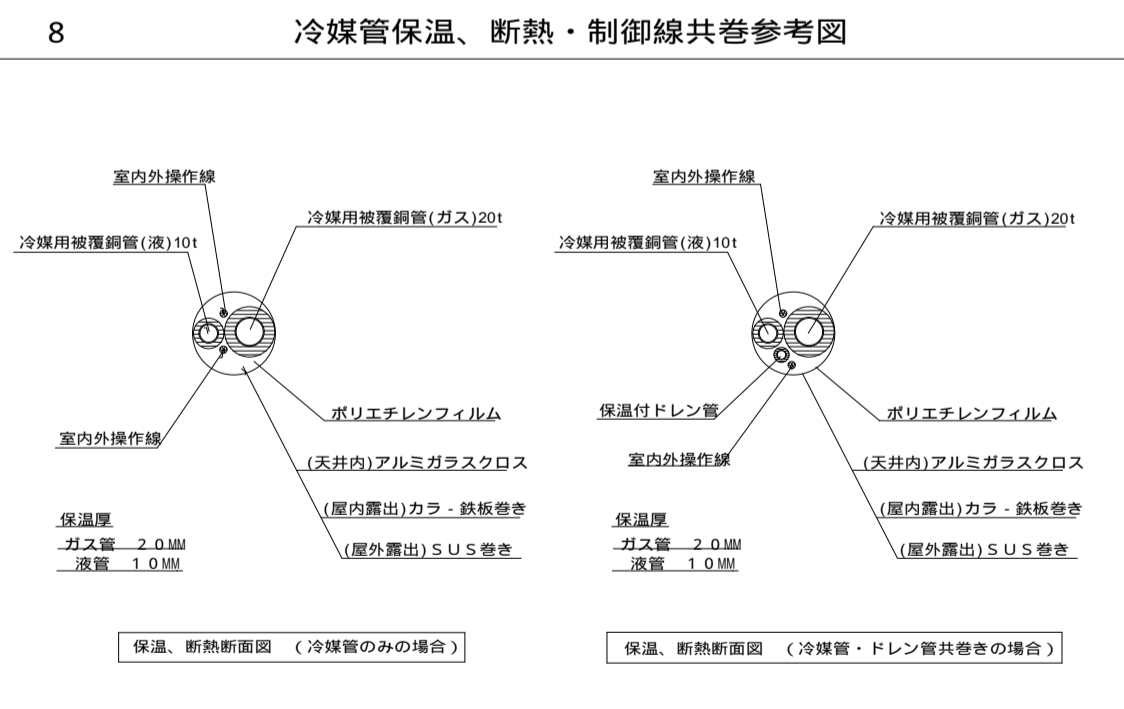
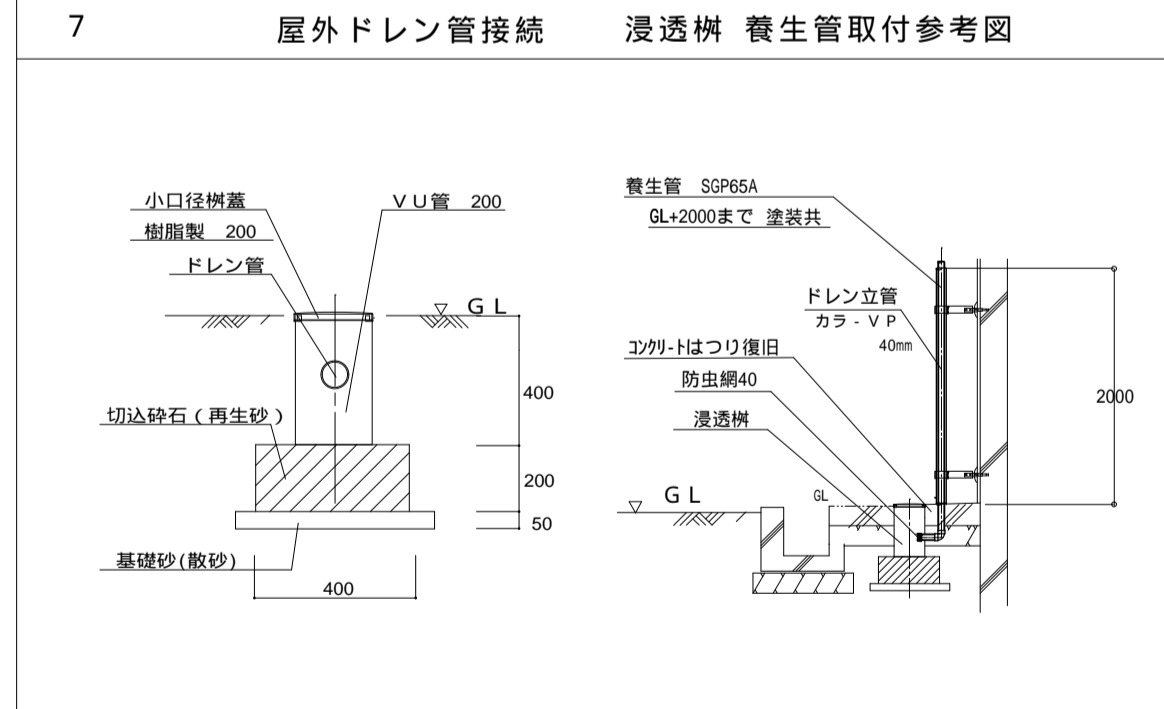
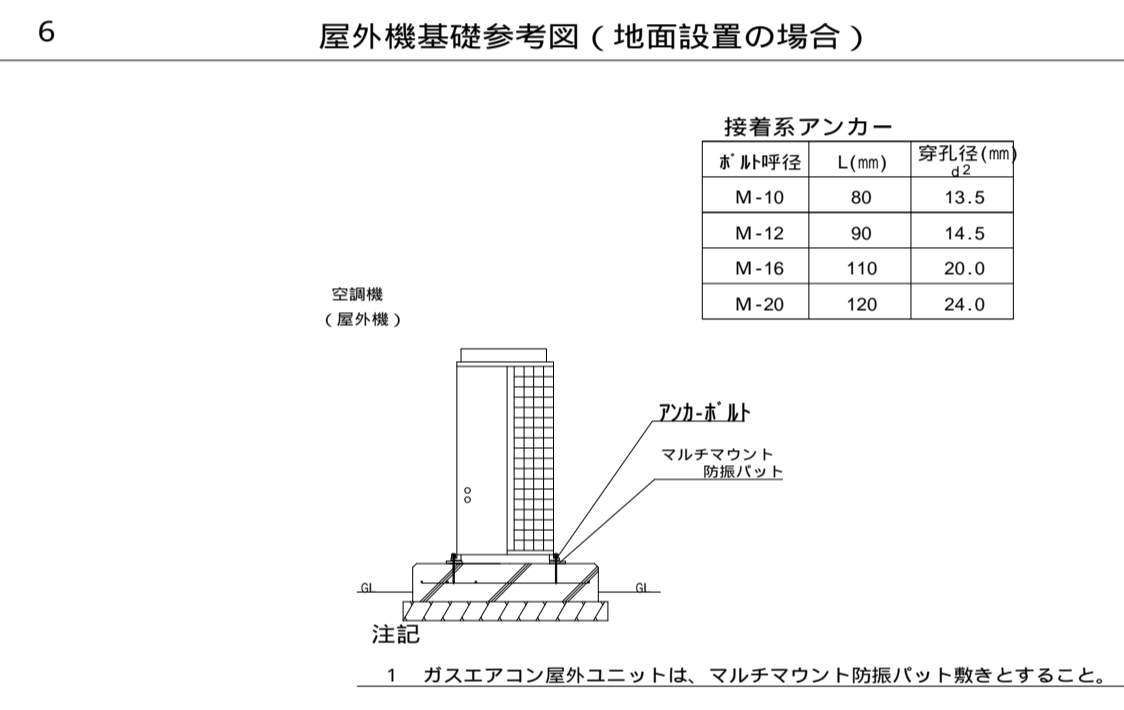
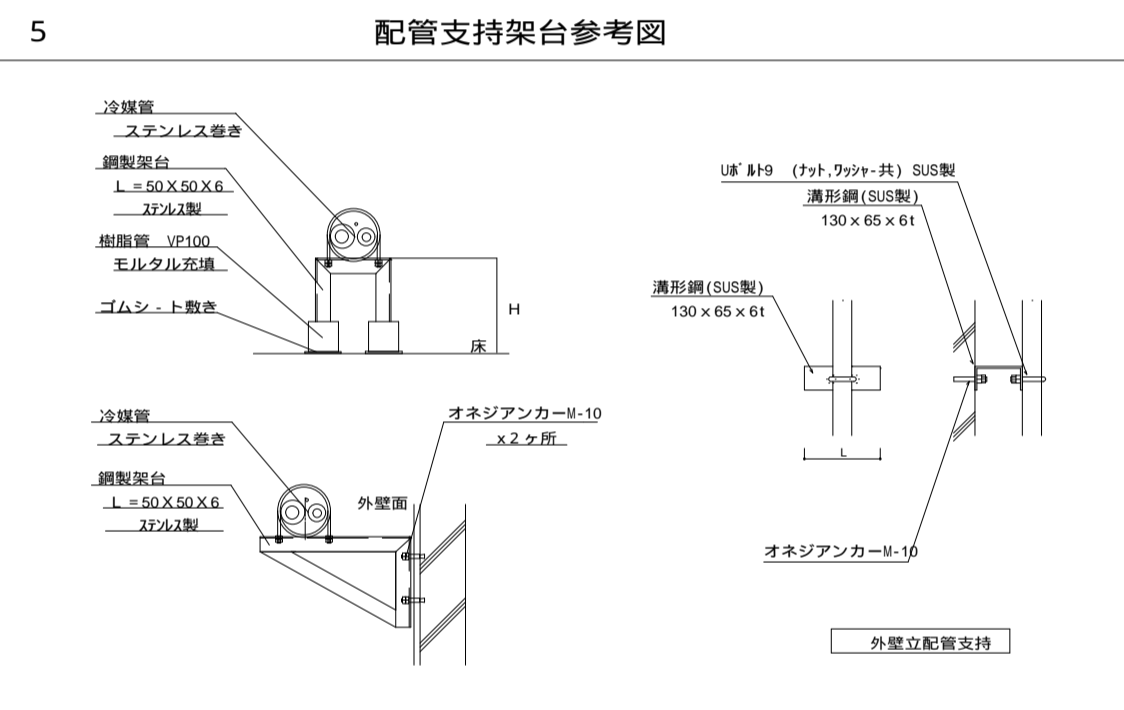
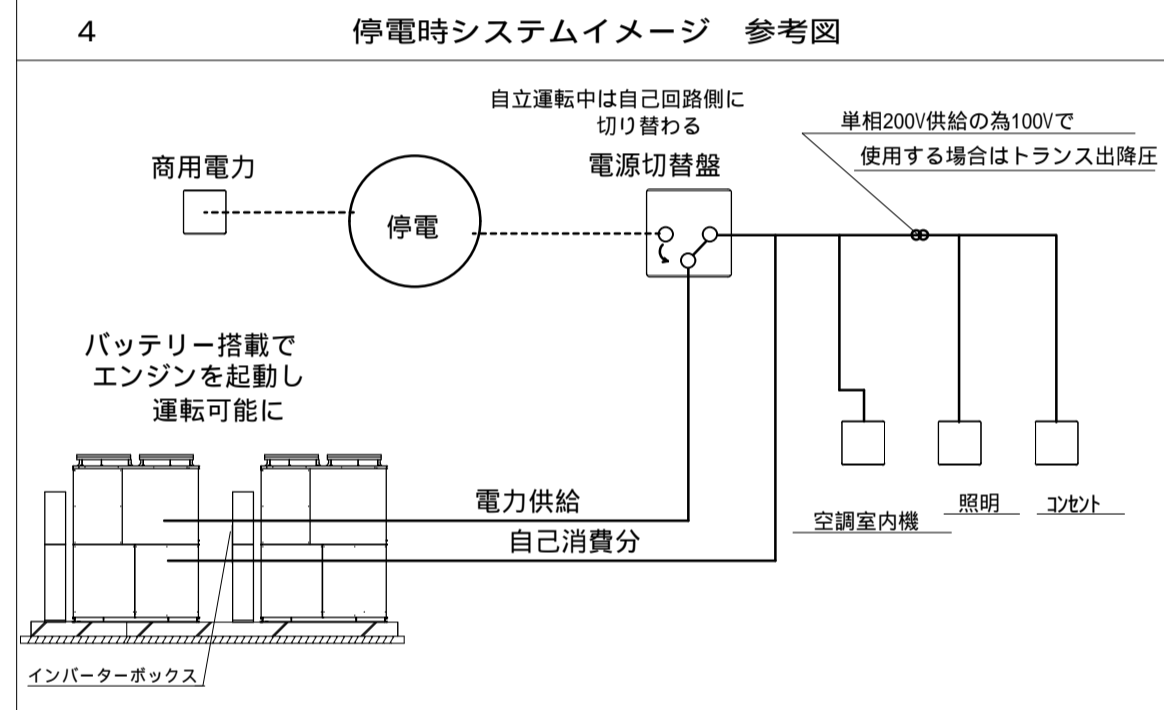
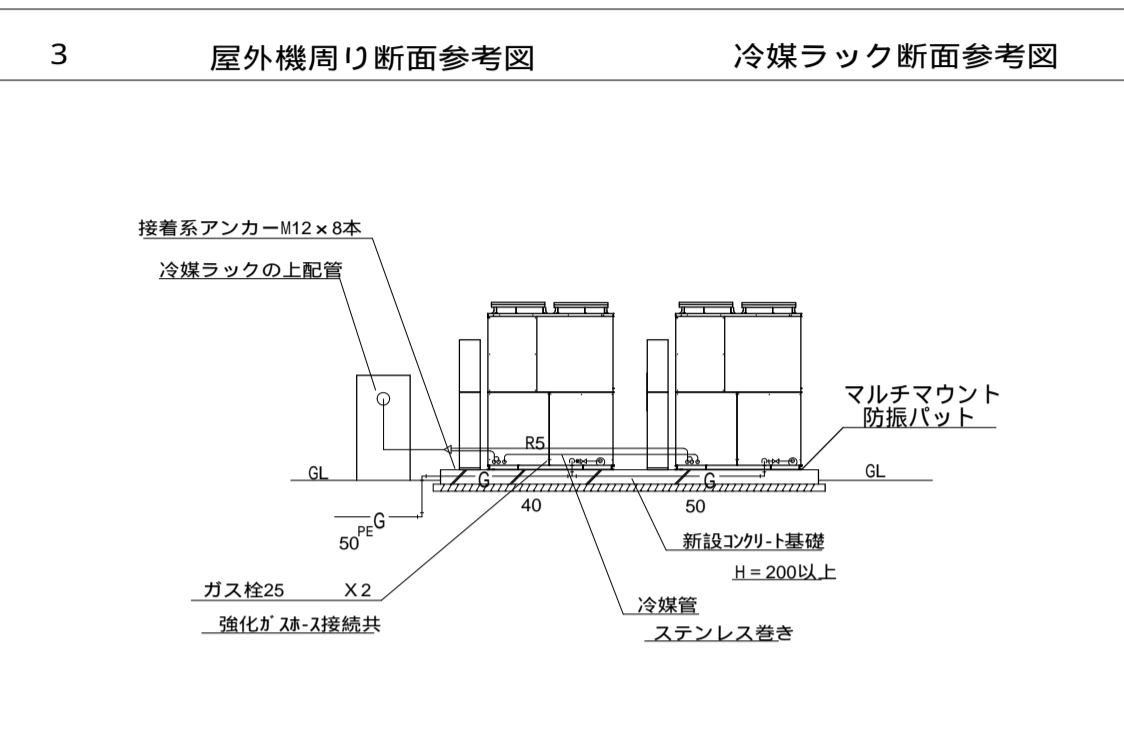
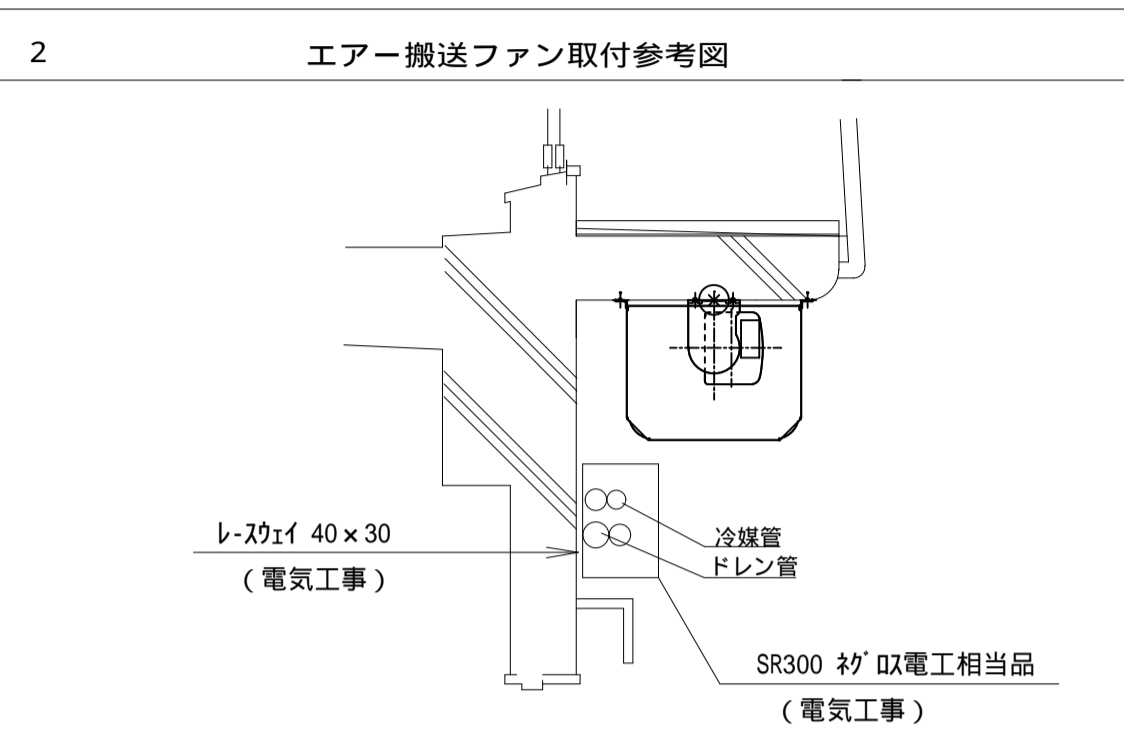
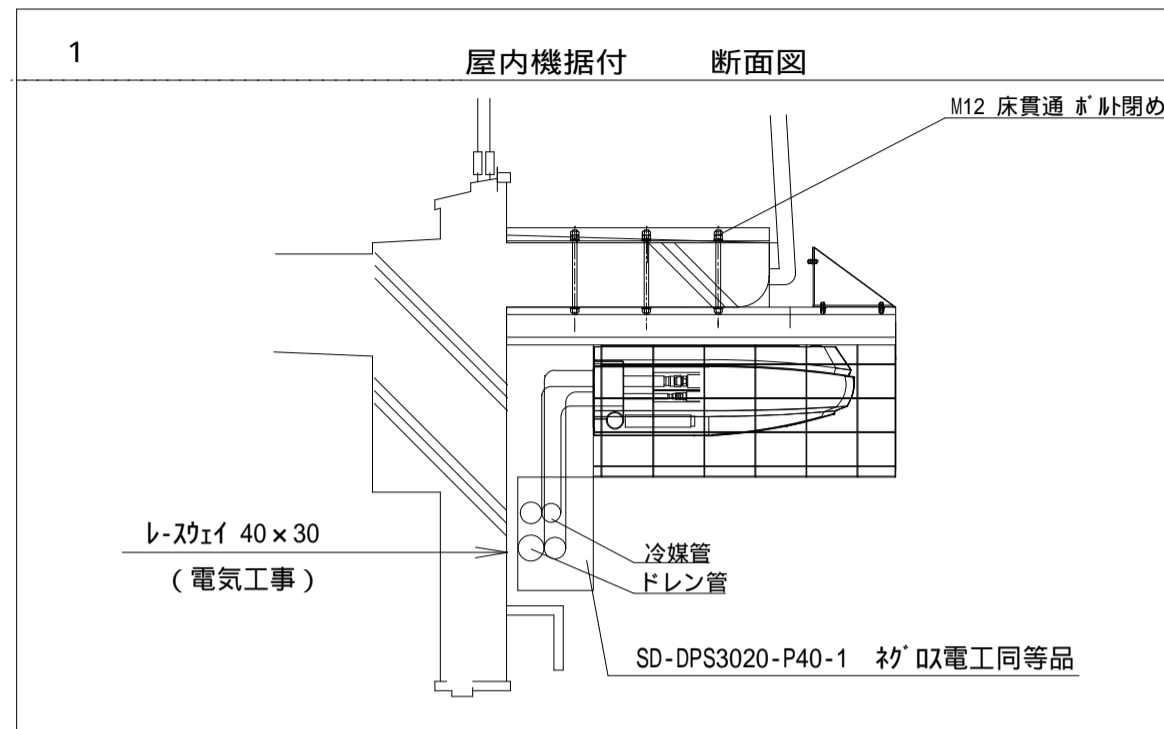
記号	ガス管サイズ	液管サイズ
R1	12.7	6.35
R2	15.88	9.52
R3	22.2	9.52
R4	28.6	12.7
R5	28.6	15.88

渡り配線は冷媒共巻きとする。

フロー図



既設給水管移設改修平面図 1:150



章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																			
2 仮設工事	5 工事用水 6 工事用電力 7 仮囲い等 8 設計G.L																																																																																																																																																																																																									
(2) 土・鉄筋・コンクリート工事	1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) 2 建設発生土の処理 (3.2.5) 3 鉄筋の種類 (5.2.1) 4 溶接金網 (5.2.2) 5 コンクリートの種類 (6.2.1) 6 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) 7 セメントの種類 (6.3.1) 8 骨材 (6.3.1) 9 混和材料 (6.3.1)	10 構造体強度補正值 (6.3.2) 11 コンクリートの試験 (6.9.2) (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) (6.10.3) 13 寒中コンクリート (6.11.1) 14 暑中コンクリート (6.12.2) 15 コパ-トミ-車の過積載防止対策等	<p>気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>予想平均気温 ()</th> <th>補正值</th> <th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>早強 (S)</td> <td>南部地域</td> <td>中部地域</td> <td>北部地域</td> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>N/mm2</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/ 6 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm2</td> <td></td> <td>11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> </table> <p>南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)</p> <p>フレッシュコンクリートの試験 省略する</p> <p>常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m3</p> <p>予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。</p> <p>暑中における構造体強度補正值 (S)</p> <table border="1"> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超える期間 (打設日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7月11日 ~ 8月31日</td> <td>6 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7月21日 ~ 8月31日</td> <td>3 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7月1日 ~ 9月10日</td> <td></td> </tr> </table> <p>受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。</p>	予想平均気温 ()	補正值	期 間 (打 設 日)			普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10			N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2		11/ 1 ~ 3/10	地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日 ~ 8月31日	6 N/mm2	中 部 地 域	7月21日 ~ 8月31日	3 N/mm2	南 部 地 域	7月1日 ~ 9月10日		3 防水改修工事	<p>新熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm</p> <p>○ 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ 30 mm 種類 _____</p> <p>ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____</p> <p>絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーンクロス (70g/m²程度)</p> <p>立上り部の押入金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上り部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____)</p> <p>保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm</p> <p>コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5)</p> <p>脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²)</p> <p>伸縮目地 成形伸縮目地材 成形緩衝材 M-フック 類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____</p> <p>屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 4 A S 工法</td> <td>AS-T1 AS-T2</td> <td>表3.4.1</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S 工法</td> <td>AS-T3 AS-T4</td> <td>表3.4.2</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>P 0 A S 工法</td> <td>AS-J1 AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S I 工法</td> <td>AS-I-T1</td> <td></td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>M 4 A S I 工法</td> <td>AS-I-J1</td> <td>表3.4.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 0 A S I 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____</p> <p>断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 防湿層 (屋根露出防水断熱工法) 設ける 設けない</p> <p>合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2) (3.5.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 S 工法</td> <td>S(I)-F1</td> <td></td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>S 4 S 工法</td> <td>PC部材入隅増強 (有り 無し)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P 0 S I 工法</td> <td>S(I)-F2 S(I)-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S 4 S I 工法</td> <td>S(I)-M2</td> <td>表3.5.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S 3 S 工法</td> <td>S(I)-F1</td> <td>表3.5.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S 3 S I 工法</td> <td>PC部材入隅増強 (有り 無し)</td> <td>表3.5.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 4 S 工法</td> <td>S(I)-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 4 S I 工法</td> <td>S(I)-M1 S(I)-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 1 S 工法</td> <td>S-C1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様</p> <p>断熱材 (断熱工法) 厚さ 30 mm 種類 _____</p> <p>機械的固定工法の場合 硬質ウレタンフォーム 接着工法の場合 _____</p> <p>S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する</p>	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2	表3.4.1	種類	使用量		AS-J2				種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 3 A S 工法	AS-T3 AS-T4	表3.4.2	種類	使用量	P 0 A S 工法	AS-J1 AS-J3				種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 3 A S I 工法	AS-I-T1		種類	使用量	M 4 A S I 工法	AS-I-J1	表3.4.3			P 0 A S I 工法					種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		P 0 S 工法	S(I)-F1		種類	使用量	S 4 S 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し)				○ P 0 S I 工法	S(I)-F2 S(I)-M1				S 4 S I 工法	S(I)-M2	表3.5.1			S 3 S 工法	S(I)-F1	表3.5.2			S 3 S I 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し)	表3.5.3			M 4 S 工法	S(I)-F2				M 4 S I 工法	S(I)-M1 S(I)-M2				P 1 S 工法	S-C1				3 防水改修工事	<p>接着工法の場合で、P Cコ-パ-ト部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F1、S-I-F1の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 加- _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スチ-ル鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの _____</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種 別 及 び 工 程</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td>表3.6.1</td> <td></td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>L 4 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td>表3.6.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 1 Y 工法</td> <td>Y-2</td> <td>表3.6.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 2 Y 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 保護層 設ける 設けない 既存防水層撤去のこと。(別図参照)</p> <p>水張り試験を行う (屋内 屋外) _____</p> <p>8 保証書 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事的物引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>9 施工標識 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エンッチング仕上150×100 設置数量 (1) 箇所</p> <p>10 シーリング (3.1.4) (3.7.2) (3.7.8) シーリング材の種類 改修仕様 表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリング再充填工法</td> <td>既存シーリング部 (PC版・RC' ョイト、建具廻り等共)</td> </tr> <tr> <td>拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 (図示による) _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)</p> <p>外と内 (外気に接するとい)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>ルーフトレン</td> <td>ルーフトレン (JCW 301) 改修用塩ビドレン 取付け _____ 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する</td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> </tr> <tr> <td>たてどい</td> <td>硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm</td> </tr> <tr> <td>谷どい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修仕様 表 3.8.2 により溶融 垂れ止めつきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> </table>	種 別 及 び 工 程		防水層	施工箇所	仕上塗料		P 0 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.1		種類	使用量	L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.2				P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.3				P 2 Y 工法						改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	シーリング充填工法		シーリング再充填工法	既存シーリング部 (PC版・RC' ョイト、建具廻り等共)	拡幅シーリング再充填工法		ブリッジ工法		材 種	そ の 他	ルーフトレン	ルーフトレン (JCW 301) 改修用塩ビドレン 取付け _____ 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する	軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm	たてどい	硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm	谷どい		とい受け金物、足金物	改修仕様 表 3.8.2 により溶融 垂れ止めつきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下	6 塗膜防水 (3.6.2) (3.6.3) 7 漏水試験 8 保証書 9 施工標識 10 シーリング
予想平均気温 ()	補正值	期 間 (打 設 日)																																																																																																																																																																																																								
普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域																																																																																																																																																																																																						
8以上	5以上	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																																																																																																																																						
		N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5																																																																																																																																																																																																						
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																						
8未満	5未満	N/mm2		11/ 1 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																						
地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値																																																																																																																																																																																																								
北 部 地 域	7月11日 ~ 8月31日	6 N/mm2																																																																																																																																																																																																								
中 部 地 域	7月21日 ~ 8月31日	3 N/mm2																																																																																																																																																																																																								
南 部 地 域	7月1日 ~ 9月10日																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																							
M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2	表3.4.1	種類	使用量																																																																																																																																																																																																						
	AS-J2																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																							
M 3 A S 工法	AS-T3 AS-T4	表3.4.2	種類	使用量																																																																																																																																																																																																						
P 0 A S 工法	AS-J1 AS-J3																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																							
M 3 A S I 工法	AS-I-T1		種類	使用量																																																																																																																																																																																																						
M 4 A S I 工法	AS-I-J1	表3.4.3																																																																																																																																																																																																								
P 0 A S I 工法																																																																																																																																																																																																										
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																							
P 0 S 工法	S(I)-F1		種類	使用量																																																																																																																																																																																																						
S 4 S 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し)																																																																																																																																																																																																									
○ P 0 S I 工法	S(I)-F2 S(I)-M1																																																																																																																																																																																																									
S 4 S I 工法	S(I)-M2	表3.5.1																																																																																																																																																																																																								
S 3 S 工法	S(I)-F1	表3.5.2																																																																																																																																																																																																								
S 3 S I 工法	PC部材入隅増強 (有り 無し)	表3.5.3																																																																																																																																																																																																								
M 4 S 工法	S(I)-F2																																																																																																																																																																																																									
M 4 S I 工法	S(I)-M1 S(I)-M2																																																																																																																																																																																																									
P 1 S 工法	S-C1																																																																																																																																																																																																									
種 別 及 び 工 程		防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																						
P 0 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.1		種類	使用量																																																																																																																																																																																																					
L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.2																																																																																																																																																																																																								
P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.3																																																																																																																																																																																																								
P 2 Y 工法																																																																																																																																																																																																										
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																									
シーリング充填工法																																																																																																																																																																																																										
シーリング再充填工法	既存シーリング部 (PC版・RC' ョイト、建具廻り等共)																																																																																																																																																																																																									
拡幅シーリング再充填工法																																																																																																																																																																																																										
ブリッジ工法																																																																																																																																																																																																										
材 種	そ の 他																																																																																																																																																																																																									
ルーフトレン	ルーフトレン (JCW 301) 改修用塩ビドレン 取付け _____ 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する																																																																																																																																																																																																									
軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																																																																																																																									
たてどい	硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm																																																																																																																																																																																																									
谷どい																																																																																																																																																																																																										
とい受け金物、足金物	改修仕様 表 3.8.2 により溶融 垂れ止めつきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																									
備考						<p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p> <p>設計年月日 2025. 3 .</p> <p>図面番号 A — 02</p> <p>図面名 建築改修工事特記仕様書 2</p>																																																																																																																																																																																																				
吉村建築事務所		1級建築士登録第248236号 吉村 薫																																																																																																																																																																																																								

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
3 防水改修工事	内とい(V.P管は使用しない) たてとい及び横走り管 SGP 材 質 径 75mm とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融 多雪地域の軒といの 垂れ込みを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下 防露巻き 改修仕様表3.8.3による F 掃除口を設ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) 養生鉄管を設ける(径 厚さ 長さ) 既存といの撤去及び養生 () 網管製といの防露巻 (改修仕様表3.8.4による) たてとい受金物 () (表3.9.1)(表5.2.2) 種 類 幅 板厚(mm) 表面処理 備 考 250 形 250 1.6 AB-1種 AB-2種 隅角部及び突当たり部 300 形 300 1.8 AC-1種 AC-2種 等の役物は本体製所造 350 形 350 2.0 BA-1種 BA-2種 の仕様による。 BB-1種 BB-2種 曲げ材 2.0 BC-1種 BC-2種 W形形式 C種 Z形形式 既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示 SUS製) 行わない 下地補修の工法 図示 板材折曲げ形の笠木取付方法 図示 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による	4 外壁改修工事	(4.1.4) モルタル塗り仕上げ (4.3.5) 樹脂注入方法 ~ (4.3.8) 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 自動式低圧I [※] 樹脂注入工法 0.2以上1.0未満 200~300 130 手動式I [※] 樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式I [※] 樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130 コア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂	4 外壁改修工事	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない 抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル	4 外壁改修工事	アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 (4.2.4) (4.4.7) ~ (4.4.8) 工 法 1箇所の面積 (㎡) 材 料 施工箇所 タイル部分張替え 0.25 ポリマーセメントモルタル 工 法 未満 一液反応硬化形成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による) タイル張替え工法 張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない 抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル
	12 アルミニウム製 笠木 (3.9.2) (3.9.3)		1 施工数量調査 (1.6.2) 調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築士上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。		(4.1.4) タイル張り仕上げ (4.4.5) 樹脂注入方法 ~ (4.4.6) 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 自動式低圧I [※] 樹脂注入工法 0.2以上1.0未満 200~300 130 手動式I [※] 樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式I [※] 樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130 ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 タイル撤去後の補修 工 法 材 料 施工箇所 タイル部分張替え工法 ポリマーセメントモルタル 変性シリコン樹脂 ウレタン樹脂 タイル張替え工法		4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16) モルタル塗り仕上げ 工 法 アカベ [○] ン (本/m ²) 注入口 (箇所/m ²) 充填量 (箇所/m ²) 注入量 (箇所/m ²) 施工箇所 アカベ [○] ン [○] 部分 I [※] 樹脂注入工法 16 25 R C部 アカベ [○] ン [○] 全面 I [※] 樹脂注入工法 13 12 25 I [※] 樹脂注入工法 20 20 アカベ [○] ン [○] 全面 I [※] 樹脂注入工法 13 12 50 I [※] 樹脂注入工法 20 20 注入口付アカベ [○] ン [○] 部分 I [※] 樹脂注入工法 9 25 I [※] 樹脂注入工法 16 16 注入口付アカベ [○] ン [○] 全面 I [※] 樹脂注入工法 9 9 25 I [※] 樹脂注入工法 16 16 I [※] 樹脂注入工法 9 9 50 I [※] 樹脂注入工法 16 16 アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー 広がり 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 速度 (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ) (cm/s) (%) (N/mm ²) (N/mm ²) (%) (N/mm ²) 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以上 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 結調係数 0.50~1.00 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル張替え工法用材料 既製目地材 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示
4 外壁改修工事	2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7) コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 自動式低圧I [※] 樹脂注入工法 0.2以上1.0未満 200~300 130 手動式I [※] 樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式I [※] 樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130 コア抜き検査 ○ 行う 行わない (注入状況確認方法) 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 無収縮モルタル充填 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂	3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7) コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料 施工箇所 充填工法 エポキシ樹脂モルタル 基礎、PC版 ポリマーセメントモルタル ○ モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9) 工 法 材 料 施工箇所 ○ 充填工法 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル張替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15) タイル張り仕上げ 工 法 アカベ [○] ン (本/m ²) 注入口 (箇所/m ²) 充填量 (箇所/m ²) 注入量 (箇所/m ²) 施工箇所 アカベ [○] ン [○] 部分 I [※] 樹脂注入工法 16 25 アカベ [○] ン [○] 全面 I [※] 樹脂注入工法 13 12 25 I [※] 樹脂注入工法 20 20 アカベ [○] ン [○] 全面 I [※] 樹脂注入工法 13 12 50 I [※] 樹脂注入工法 20 20 注入口付アカベ [○] ン [○] 部分 I [※] 樹脂注入工法 9 25 I [※] 樹脂注入工法 16 16 注入口付アカベ [○] ン [○] 全面 I [※] 樹脂注入工法 9 9 25 I [※] 樹脂注入工法 16 16 I [※] 樹脂注入工法 9 9 50 I [※] 樹脂注入工法 16 16 注入口付アカベ [○] ン [○] 部分 I [※] 樹脂注入工法 9 25 I [※] 樹脂注入工法 16 16	7 Uカットシール材 充填工法 (4.2.6) シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う 8 アカベ [○] ン [○] 注入工法 (4.3.5) アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 9 注入口付アカベ [○] ン [○] 注入工法 (4.3.5) 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度 10 モルタル張替え工法 (4.3.5) モルタル 現場調査材料 既調査材料 () 既製目地材 使用する (形状)			

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項			
4 外壁 改修 工事	11 タイル部分張替え工法 及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)	施工箇所及び タイルの種類 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 耐滑り性その他 図示 磁器 無釉 有り 標準 有り せつ器 施釉 無し 特注 無し 陶器 既調合モルタル() タイルの試験張り 行わない 行う(施工箇所) タイルの見本焼 行わない 行う(範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験(タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない	4 外壁 改修 工事	15 マスチック塗材 塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1)	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製(SUS316) 形式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16-18メッシュ 防鳥網 設置する 外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1) 性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-4 水密性 W-4 W-5 枠見込み(mm) 図示 防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級 T-1 T-2) 断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8) ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL	5 建具 改修 工事	13 建具用金物 (5.8.2) ~ (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 3本1組(室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) 金物の種類 見え掛り部の材質 その他 シリンドラ-箱錠 握り玉:スチルス レバ-ノド:7%ニッケル合金、 (スチルス、 黄銅) 取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、スチルス建具) 耐じん性能のグレード 本締り錠 シリンドラ-:スチルス 取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、スチルス建具) 耐じん性能のグレード 空錠 握り玉:スチルス レバ-ノド:7%ニッケル合金、 (スチルス、 黄銅) 取付位置 () ケースハンドル錠 ステンレス 点検口錠 亜鉛合金程度、(スチルス) 丁番 スチルス、(黄銅) ピボットヒンジ 加-部:スチルス、(亜鉛合金) 亜鉛合金は木製建具用 のみ 点検口輪吊りヒンジ 建具製作所の仕様による 自閉装置付き フロアヒンジ 加-部:スチルス、(本体は鋼) ドアクローザー ヒンジ(加-部) 鋼(焼付け塗装) 連延閉り機能付き ヒンジ(加-部) 鋼(焼付け塗装) 連延閉り機能付き ドアクローザー 本体:7%ニッケル合金 7-4部:鋼(焼付け塗装) 閉鎖位置調整器 スチルス、(鋼) 押棒・押板 (スチルス、 黄銅、 合成樹脂) 取付位置 () 上げ落し (フランス落し) 亜鉛合金程度、(スチルス) 7-4部:鋼(加-部) 鋼(加-部) (スチルス) 戸当り 亜鉛合金程度、(スチルス、 黄銅) あおり止め付き
	12 窓下人研面台の 補修	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による	17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	5 建具 改修 工事	1 性能 (1.6.2)	「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 行う(建具金物 ガラス ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~ (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○) (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は改修仕による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ~ (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.1による(SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源
13 仕上塗材(4.1.5)	シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上げ塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系)	16 部分改修工法 (4.5.7)	5 建具 改修 工事	2 施工数量調査 (1.6.2)	行う(建具金物 ガラス ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) ~ (5.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する(A-3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 建具表による	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ~ (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.1による(SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源	
14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 ○ 高圧水洗工法(試験施工実施)(加圧力 ○ 30Mpa) 塗膜はく離剤工法(製造所:) 水洗い工法 (デッキラ 高圧ノズル 10~15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の(%) 別図に示す範囲	17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	5 建具 改修 工事	3 改修工法 (5.1.3)	既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法(カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法(はつり工法 引き抜き工法) 新規に建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開閉方法 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による	12 ステンレス製建具 (5.2.2) ~ (5.6.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1) 性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-3 A-4 水密性 W-4 W-5 枠見込み(mm) 図示 70 100 図示 表面処理 (表5.2.2) 種 別 色 施 工 箇 所 B/B-1種 標準 特注 図示による B/B-2種 標準 特注 図示による 標準 特注 標準 特注 標準 特注 防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級) 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ~ (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.1による(SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源	

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5 建具改修工事	<p>引き戸用検出装置性能値 改修標準 表5.9.3による</p> <table border="1"> <tr> <td>放射無線周波数</td> <td>耐電圧</td> <td>防 錆</td> <td>防 滴</td> <td>電 源</td> </tr> <tr> <td>電磁界耐性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 建具表による 引き戸検出装置の種類 表 5.9.4 () による 建具表による タッチスイッチの種類 無線式タッチスイッチ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房 大形押しボタンスイッチ 非接触スイッチ 凍結防止措置 行う</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>40以下</td> <td>40を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> </table> <p>性能等 品質・規格</p> <p>種 類 管理用シャッター (シャッターズ 設ける) 耐風圧強度 () 外壁用防火シャッター (シャッターズ 設ける) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター (シャッターズ 設ける) 屋内用防煙シャッター (シャッターズ 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3302</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> </table> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> <td>形 状</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z06又はF06を満足するもの</td> <td rowspan="2">インターロッキング形 オーバーラッピング形</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3322</td> <td>A290を満足するもの</td> </tr> </table> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ アルミ樹脂タイプ 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 滑輪垂鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板</p> <p>18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>種類等</td> <td>種 別</td> <td>種類等</td> </tr> <tr> <td>ガラス板ガラス</td> <td>強化ガラス</td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型板ガラス</td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td>複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス</td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線入板ガラス</td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合わせガラス</td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ (図5.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>面クリアランス</td> <td>エッジクリアランス</td> <td>掛り代</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム建具</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	放射無線周波数	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源	電磁界耐性					適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下	材 質	めっきの付着量	JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの	JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの	材 質	めっきの付着量	形 状	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形	JIS G 3322	A290を満足するもの	種 別	種類等	種 別	種類等	ガラス板ガラス	強化ガラス	熱線吸収板ガラス		型板ガラス	熱線吸収板ガラス	複層ガラス		網入板ガラス	熱線吸収板ガラス	倍強度ガラス		線入板ガラス	熱線吸収板ガラス			合わせガラス	倍強度ガラス			種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	鋼製建具				ステンレス建具				<p>20 ガラス留め材 (5.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <td>建具の種類</td> <td>材 質</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シーリング材 (SR-1) グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>シーリング材 (SR-1) パテ 1種 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>パテ (木製用)</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p> <p>21 ガラスブロック (5.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <td>寸 法 (mm)</td> <td>厚 さ (mm)</td> <td>色 調</td> <td>パ タ ー ン</td> <td>防 火 認 定</td> </tr> <tr> <td>x</td> <td>図示</td> <td>クリア 乳白 熱線反射</td> <td>か-()</td> <td>なし あり</td> </tr> </table> <p>品質規格はJIS A5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304 寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1 化粧目地モルタルの色 白 グレー 金属製化粧カバー 材質 SUS304 寸法・形状 図示による</p> <p>目地幅の寸法 平積みの場合 8mm以上、15mm以下 曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスの幅寸法の10倍以上)</p> <p>伸縮調整目地の位置 6mm以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 A種 B種 代用樹種の適用 可 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標準5.7.2(2)(イ)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <td>合板の種類</td> <td>規 格 等</td> <td>備 考</td> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する</p> <p>かまち戸 かまち樹種 () 鍍板樹種 () 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種別 鳥の子 型 上張り (押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ぶすま 表面板の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm</p> <p>23 ポリカーボネイト樹脂板</p> <p>種類 厚さ mm</p>	建具の種類	材 質	アルミニウム製	シーリング材 (SR-1) グレイジングチャンネル	樹脂製	グレイジングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材 (SR-1) パテ 1種 2種	木製	パテ (木製用)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定	x	図示	クリア 乳白 熱線反射	か-()	なし あり	合板の種類	規 格 等	備 考	普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)		天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)		特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)		MDF			<p>6 揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)</p> <p>2 他部分との取り合い等 (6.1.3)</p> <p>3 既存床の撤去等 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>工 法</td> <td>施 工 箇 所</td> </tr> <tr> <td>ビニル床シート等</td> <td>下地材の除去</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床材</td> <td>機械的除去工法 目荒し工法</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>フローリング張り床材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標準4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標準6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083 (製材) に基づく製材</p> <p>下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>樹 種</td> <td>寸 法</td> <td>等級</td> <td>含水率</td> <td>保存処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>樹 種</td> <td>寸 法</td> <td>等級</td> <td>含水率</td> <td>保存処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無節 上小節 小節 並</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>樹 種</td> <td>寸 法</td> <td>等級</td> <td>含水率</td> <td>保存処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特等</td> <td>10%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>樹 種</td> <td>寸 法</td> <td>材面の品質</td> <td>防虫処理</td> <td>含水率</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種 B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	工 法	施 工 箇 所	ビニル床シート等	下地材の除去	図示による	合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	フローリング張り床材			床タイル			床組			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				1級						2級			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				無節 上小節 小節 並			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				特等	10%以下					1等						2等			使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率				A種 B種			<p>6 使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマイルズ CO2京都の木認証書 (京都府産木材証明書及びウッドマイルズ CO2計算書) (注1) を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書 (京都府産木材証明書) (注2) を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の欄による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL : 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。</p> <p>工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書 (発行機関：(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。</p> <p>「集材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品 名</td> <td>樹 種</td> <td>見付材面数</td> <td>寸 法</td> <td>見付材面の品質</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品 名</td> <td>樹 種</td> <td>寸法</td> <td>化粧板厚</td> <td>見付材面数</td> <td>見付材面の品質</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>「集材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>樹 種</td> <td>寸 法</td> <td>見付材面の品質</td> <td>含水率</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>化粧樹種名</td> <td>芯材樹種名</td> <td>寸法</td> <td>化粧板厚</td> <td>見付材面の品質</td> <td>含水率</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品名</td> <td>寸法</td> <td>表面の品質</td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>寸法</td> <td>表面の品質</td> <td>含水率</td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td>14%以下</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 3079 (直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>品名</td> <td>曲げ性能 (強度等級)</td> <td>種別</td> <td>接着性能 (使用環境)</td> <td>樹種</td> <td>寸法 (mm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品名</td> <td>等級</td> <td>厚さ</td> <td>樹種名</td> <td>接着程度</td> <td>板面の品質</td> <td>保存処理</td> <td>その他処理</td> </tr> <tr> <td>押入れ、物入れ</td> <td></td> <td></td> <td>5.5mm</td> <td></td> <td>1類</td> <td>広葉樹</td> <td></td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2類</td> <td>2等以上</td> <td></td> <td>難燃処理 防炎処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>針葉樹 C・D以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品名</td> <td>等級</td> <td>厚さ</td> <td>樹種名</td> <td>接着程度</td> <td>板面の品質</td> <td>保存処理</td> <td>その他処理</td> </tr> <tr> <td>畳床下 地材、70- リッパ張 り下地材</td> <td></td> <td>2級</td> <td>12mm</td> <td></td> <td>1類</td> <td>C-D 以上</td> <td></td> <td>防虫処理 強度等級</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品名</td> <td>厚さ</td> <td>単板の樹種名</td> <td>接着程度</td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 特等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>化粧板に使用する 単板の樹種名</td> <td>厚さ</td> <td>接着程度</td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <td>使用箇所</td> <td>品名</td> <td>厚さ</td> <td>接着程度</td> <td>単板の樹種名</td> <td>化粧加工の方法</td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質						1等 2等	使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質							1等 2等	使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率					15%以下	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率							15%以下	使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理				表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない	使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理			表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない	施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)								使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	押入れ、物入れ			5.5mm		1類	広葉樹		防虫処理						2類	2等以上		難燃処理 防炎処理							針葉樹 C・D以上			使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	畳床下 地材、70- リッパ張 り下地材		2級	12mm		1類	C-D 以上		防虫処理 強度等級	使用箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理					1類 特等		使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ	接着程度	防虫処理				1類 2類		使用箇所	品名	厚さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理				1類 2類				<p>備考</p> <p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事 設計年月日 2025. 3 . 図面名 建築改修工事特記仕様書 5 編尺</p> <p>図面番号 A — 05</p>
放射無線周波数	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
電磁界耐性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
手動開き力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
手動閉じ力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
材 質	めっきの付着量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材 質	めっきの付着量	形 状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
JIS G 3322	A290を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	種類等	種 別	種類等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ガラス板ガラス	強化ガラス	熱線吸収板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
型板ガラス	熱線吸収板ガラス	複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
網入板ガラス	熱線吸収板ガラス	倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
線入板ガラス	熱線吸収板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
合わせガラス	倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鋼製建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ステンレス建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
建具の種類	材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
アルミニウム製	シーリング材 (SR-1) グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂製	グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材 (SR-1) パテ 1種 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
木製	パテ (木製用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
x	図示	クリア 乳白 熱線反射	か-()	なし あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合板の種類	規 格 等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
MDF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 別	工 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ビニル床シート等	下地材の除去	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
フローリング張り床材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
床組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			1級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			無節 上小節 小節 並																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			特等	10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			1等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
					1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
						1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
						15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
押入れ、物入れ			5.5mm		1類	広葉樹		防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					2類	2等以上		難燃処理 防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						針葉樹 C・D以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
畳床下 地材、70- リッパ張 り下地材		2級	12mm		1類	C-D 以上		防虫処理 強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				1類 特等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			1類 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	品名	厚さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1類 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

吉村 建築事務所

1級建築士登録第248236号 吉村 薫

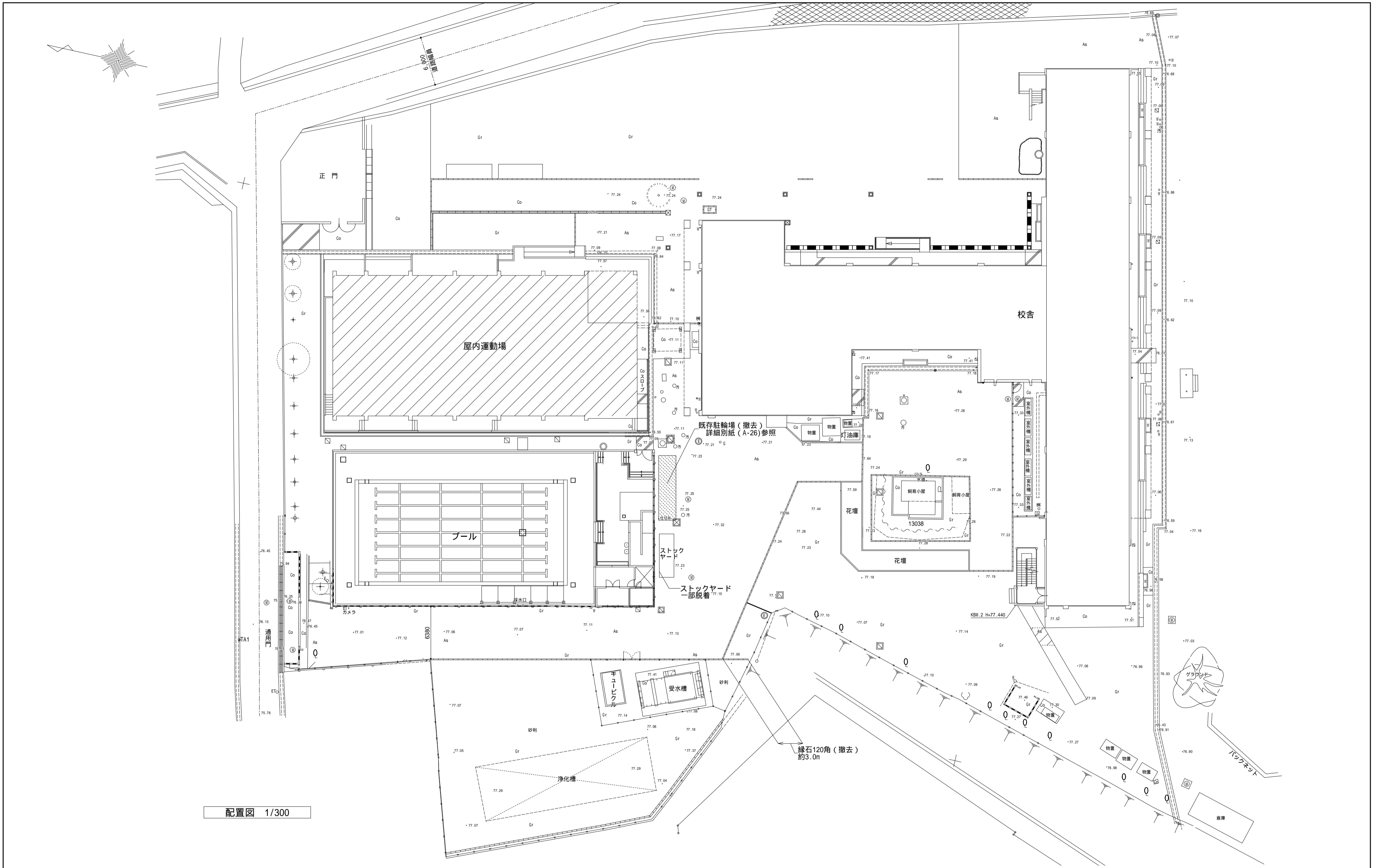
建築改修工事特記仕様書 5

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
6	内装改修工事	パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS 0360 に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ MDF 使用箇所 厚さ 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂鉛めっきの種類】のF種程度の垂鉛めっきを施したもの 防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 K2 K3 K4 K2 K3 K4 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 防虫処理 行う (範囲:タワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない 6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4) 野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型 野縁受け・フリボルト・インサートの間隔 mm 周辺部の端からの寸法 mm 野縁の間隔 mm はずれ留め補強 有り 無し 既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う (箇所以上、 N/箇所) 行わない 開口補強 フリボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による (3m超える) 図示による 天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない 7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による 8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) ビニル床シート 区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 工法 施工箇所 発泡層無 単層ビニル床シート TS 2.5 無地 熱溶接 仕上表による 複層ビニル床シート FS 2.0 マーブル 柄物 発泡層有 発泡複層ビニル床シート HS クッションフロア KS	6	内装改修工事	ビニル床タイル 区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 寸法 施工箇所 複層形 コンクリート系床タイル KT 2.0 無地 300×300 単層ビニル床タイル TT 2.0 ○柄物 ○450×450 複層ビニル床タイル FT 2.0 500×500 置敷きビニル床タイル FOA 4.0 ○ 薄型置敷きビニル床タイル FOB 帯電防止床シート 帯電防止タイル 種類 性能 厚さ(mm) 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 塩化ビニル系 300mm角 レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はせっき質タイル 耐動荷重性床シート 種類 厚さ(mm) 備考 防滑性床シート 防滑性床タイル 種類 寸法 厚さ(mm) ビニル幅木 種類 高さ(mm) 厚さ(mm) 乾質 硬質 60 75 100 1.5 2.0 ゴム床タイル張り 色柄 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 単層品 積層品 織じゅうたん 種類 織り方 パイル形状 帯電性 色柄 接合法 施工箇所 A種 トラバーチン模様 B種 (軽鉄下地は専用のものとする) C種 トラバーチン模様 模様なし タフテッドカーペット パイル形状 厚さ(mm) 工法 帯電性 施工箇所 グラブ工法 適用 全面接着工法 タイルカーペット 種類 パイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所 一種 ループパイル 500×500 6.5 二種 タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き 階段部分 模様流し 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm 見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による 厚膜型塗床材 (6.10.2) 弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚(mm) エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ工法 (平滑 防滑) 厚膜流しのべ工法 (平滑 防滑) 樹脂モルタル工法 (平滑 防滑) 薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F	6	内装改修工事	11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6) フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6) 種類 樹種 厚さ(mm) 大きさ 工法 備考 加-01等 なら 15 表6.11.1 釘留め工法 8 表6.11.3 根太張り工法 12 表6.11.5 直張り工法 接着工法 加-02等 なら 8 接着工法 防水処理足金物付 15 複合フローリング 種類 樹種 厚さ(mm) 工法 種別 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 釘留め工法 A種 15 根太張り工法 B種 直張り工法 C種 接着工法 接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート 仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワックス塗り(1液形)B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り 12 畳敷き (6.12.2) 種別 A種 B種 C種 D種 (KT-) 衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2) 13 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3) MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による 種類 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1) 種類 規格、厚さ(mm)等 せッコウボード(GB-R) 12.5(不燃) 9.5(準不燃) 化粧せッコウボード(GB-D) 杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする) 不燃積層せッコウボード(GB-NC) トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし シーリングせッコウボード(GB-S) 15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃) 強化せッコウボード(GB-F) 21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃) ロックウール吸音ボード(RW-B) 25 グラスウール吸音ボード(GW-B) 25 吸音あきせッコウボード(GB-P) 9.5(準不燃) ロックウール化粧吸音板(DR) 内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2(無糸綿) 8.0 6.0 メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 1.2 難燃木セメント板 30 25 20 15 断熱木セメント板 30 25 20 15 火山性ガラス質被覆層板 研磨品 (3 6 9 9.5) 無研磨品 (3 6 9 9.5) 普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 板面の品質 防虫処理 行う 天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおし 防虫処理 行う 特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う その他下張り用合板 合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 せッコウボードの目地処理 (表6.13.5) 縫目処理 突付け 目透かし 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) ペベルエッジ スクエアエッジ	6	内装改修工事	14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3) 防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による 施行箇所 防火性能 品質・規格 素地ごしらえ モルタル及びせッコウプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せッコウボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7) 15 天井廻り縁 材質 アルミニウム製 塩化ビニル製 16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6) モルタル 現場調査材料 既製目地材 既製材料() 設ける (形状) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 目地割り 2m程度 最大目地間隔 3m程度 17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4) 伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと 壁面 図示による タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない タイルの種類 施工箇所・形状・寸法(mm) 生地 種別 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 工法 その他 磁器 無釉 有り 有り 標準 陶器 施釉 無し 無し 特注 磁器 無釉 有り 有り 標準 陶器 施釉 無し 無し 特注 磁器 無釉 有り 有り 標準 陶器 施釉 無し 無し 特注 壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 既製合モルタル 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3) 塗厚(mm) 10 15 ① 塗装材料 (7.1.3) 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F ② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7) 塗替えて下地調整の種類がB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7) 素地 種別 備考 木部 RA種 不透膜塗料塗りの場合はRB種 RC種 鉄鋼面 RA種 RB種 RC種 亜鉛めっき鋼面 RA種 RB種 RC種 モルタル及びせッコウプラスター面 RA種 RB種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及びALCパネル面 RA種 RB種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない コンクリート面及び押出成形セメント面 RA種 RB種 ひび割れ部の補修 適用する 適用しない せッコウボード及びその他ボード面 RA種 RB種	
		備考			吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫			工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事 図面名 建築改修工事特記仕様書 6			設計年月日 2025. 3. 編尺	図面番号 A-06

章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7 塗装改修工事	<p>③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)</p> <p>(表7.3.2) ~ (表7.3.7)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">下地面等</td> <td colspan="2">種 別</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>A種</td> <td>B種 C種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鉄鋼面 (DP)</td> <td>A種</td> <td>B種 C種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">珪素面及びせつこうアスター面 (DP)</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリート面 (DP以外) 及びALCN® 積面</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">押出成形モルタル板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">せつこうボード面及びその他のボード面</td> <td>目地: 継目処理工法</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>目地: 継目処理工法以外</td> <td>A種 B種</td> </tr> </table> <p>④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)</p> <p>錆止め塗料の種類別</p> <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">SOP (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> <td>C種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛け</td> <td>A種</td> <td>C種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>B種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>A種 B種</td> <td>C種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">E-P-G (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>塗替え</td> <td>A種 B種</td> <td>A種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛け</td> <td>A種 B種</td> <td>B種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ)</td> <td>B種 (下地調整済)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>(a)による</td> <td>○C種 (下地調整済)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">DP (工程の種類は表7.4.4)</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ)</td> <td>○A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>(a)による</td> <td>○A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>A種 B種</td> <td>C種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>A種 B種</td> <td>A種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td>C種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>C種</td> <td>A種</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)</p> <p>工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">SOP</td> <td rowspan="3">合成樹脂系 ベイト塗り</td> <td>木部</td> <td>新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 (外部の場合工程3, 工程4は行わない) C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">種類 1種</td> <td rowspan="3">鋼製建具等</td> <td>新規</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>その他塗替え・新規</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>C/L</td> <td>外壁/塗り</td> <td>A種 (着色塗料の種類) B種</td> </tr> <tr> <td colspan="3">屋根遮熱塗装: 超耐久型珪素樹脂系屋根用遮熱塗料 ICA-化研 (株) 及び同等品 下地調整はR B種とする</td> </tr> <tr> <td>NA/D</td> <td>珪素系非水分散形塗料塗り</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td rowspan="2">耐候性塗料塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上塗り</td> <td rowspan="2">1級 ふっ素樹脂系等</td> <td>コンクリート面及び押出成形モルタル板面</td> <td>A-1種 B-1種 C-1種 A-2種 B-2種 C-2種</td> </tr> <tr> <td>2級 シリコン系等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3級 ポリウレタン系等</td> <td rowspan="2">E-P-G</td> <td>珪素系, せつこうアスター面, 珪素面, せつこうボード面, その他ボード面</td> <td>A種 B種 C種 しみ止め</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td rowspan="2">E-P</td> <td>合成樹脂 ベイト塗り</td> <td>A種 B種 C種 しみ止め</td> </tr> <tr> <td>しみ止めシナー (B種及びC種の場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">U/C</td> <td rowspan="2">珪素系2塗り</td> <td>A種 B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビート塗り (表7.13.1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">WP</td> <td rowspan="2">木材保護塗料塗り</td> <td>オイル塗り (OS)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>A種 B種</td> </tr> </table> <p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 適用する(着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤) 適用しない ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 適用する 適用しない オイルステイン塗りの工程等</p>	下地面等		種 別		木部	不透明塗料塗りの場合	A種	B種	透明塗料塗りの場合	A種	B種	鉄鋼面 (DP以外)		A種	B種 C種	鉄鋼面 (DP)		A種	B種 C種	亜鉛めっき鋼面		A種	B種	珪素面及びせつこうアスター面 (DP)		A種	B種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCN® 積面		A種	B種	押出成形モルタル板面及びコンクリート面 (DP)		A種	B種	コンクリート面 (DPのみ)		A種	B種	せつこうボード面及びその他のボード面		目地: 継目処理工法	A種 B種			目地: 継目処理工法以外	A種 B種	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	A種	C種	○	新規見え掛け	A種	C種	○	新規見え隠れ	A種	B種	○	塗替え	A種 B種	C種	○	E-P-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	A種 B種	A種	○	新規見え掛け	A種 B種	B種	○	塗替え	7.4.2(1)(イ)	B種 (下地調整済)		新規	(a)による	○C種 (下地調整済)		DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ)	○A種		新規	(a)による	○A種		塗替え	A種 B種	C種	○	新規	A種 B種	A種	○	亜鉛めっき鋼面	塗替え	C種	C種	○	新規	C種	A種	○	塗替え	B種			新規	B種			記号	名称	種 別	SOP	合成樹脂系 ベイト塗り	木部	新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 (外部の場合工程3, 工程4は行わない) C種	鉄鋼面	A種 B種 C種	亜鉛めっき鋼面	A種 B種 C種	種類 1種	鋼製建具等	新規	A種 B種 C種	塗替え	A種 B種 C種	その他塗替え・新規	A種 B種 C種	C/L	外壁/塗り	A種 (着色塗料の種類) B種	屋根遮熱塗装: 超耐久型珪素樹脂系屋根用遮熱塗料 ICA-化研 (株) 及び同等品 下地調整はR B種とする			NA/D	珪素系非水分散形塗料塗り	A種 B種	DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面		亜鉛めっき鋼面		上塗り	1級 ふっ素樹脂系等	コンクリート面及び押出成形モルタル板面	A-1種 B-1種 C-1種 A-2種 B-2種 C-2種	2級 シリコン系等		3級 ポリウレタン系等	E-P-G	珪素系, せつこうアスター面, 珪素面, せつこうボード面, その他ボード面	A種 B種 C種 しみ止め	木部	新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種	鉄鋼面	E-P	合成樹脂 ベイト塗り	A種 B種 C種 しみ止め	しみ止めシナー (B種及びC種の場合)		U/C	珪素系2塗り	A種 B種		ビート塗り (表7.13.1)		WP	木材保護塗料塗り	オイル塗り (OS)		亜鉛めっき鋼面	A種 B種	<p>8-1 耐震補強工事 (鉄筋工事)</p> <p>1 鉄筋の種類 (8.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>異形鉄筋</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD295</td> <td>SD 2 9 5</td> <td>D 1 6 以下</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>SD 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">SD295はF c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する</td> </tr> </table> <p>2 溶接金網 (8.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 (mm) _____</p> <p>3 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>接 合 方 法</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">重ね継手</td> <td>ガス圧接継手</td> <td>D 1 9 以上</td> </tr> <tr> <td>機械式継手</td> <td rowspan="2">D 1 6 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">溶接継手</td> <td>ガス圧接継手</td> <td rowspan="2">D 1 6 以下</td> </tr> <tr> <td>機械式継手</td> <td>溶接継手</td> </tr> </table> <p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)</p> <p>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ</p> <p>構造図による 表8.3.6による(次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所 等</th> <th>最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>5 圧接完了後の試験 (8.3.8)</p> <p>試験方法</p> <p>超音波探傷試験を全圧接部で行う。</p> <p>6 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7)</p> <p>形状 _____ スパイラル筋 _____ 種類の記号 SR235 または SIM-P _____ 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による (_____) _____</p>	異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考	SD295	SD 2 9 5	D 1 6 以下		SD 3 4 5	D 1 9 以上	SD295はF c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する		部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手	ガス圧接継手	D 1 9 以上	機械式継手	D 1 6 以下	溶接継手	ガス圧接継手	D 1 6 以下	機械式継手	溶接継手	施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)	_____	_____	<p>8-2 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>3 構造体強度補正值 (8.2.5)</p> <p>気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>予想平均気温 ()</th> <th>補正值 (S)</th> <th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通</td> <td rowspan="2">早強</td> <td>南部地域</td> <td>中部地域</td> <td>北部地域</td> </tr> <tr> <td>3/6 ~ 6/31</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>N/mm2</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/ 6 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm2</td> <td></td> <td>11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> </table> <p>南部地域 (京都市の一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む)</p> <p>4 構造体用モルタル (8.2.6)</p> <p>モルタル圧縮強度 _____ フロー値 _____</p> <p>5 型枠 (せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コンクリート用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) 1 2</p> <p>打放し仕上げのせき板 (表8.1.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>板 面 の 品 質</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>8.2.7(2)(7)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>8.2.7(2)(4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>8.2.7(2)(4)</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板せき板を用いない場合 せき板の材料 _____</p> <p>コンクリートの仕上げの平坦さ</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td></td> </tr> </table> <p>スリーブの材種 (表8.2.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>適 用 箇 所</th> <th>材 種 (規 格 そ の 他)</th> </tr> <tr> <td>水密を要する地中部分等</td> <td>つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm 以上、つば幅50mm以上の鋼管を溶接したもの)</td> </tr> <tr> <td>水密を要しない地中部分等</td> <td>硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)</td> </tr> <tr> <td>上記以外の円形スリーブ</td> <td>溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm 以上)</td> </tr> </table> <p>円形スリーブ (溶融亜鉛めっき鋼板) は、筒形の両側を外型に折り曲げてつばを設ける。 硬質ポリ塩化ビニル管は、防災区画を貫通する場合には使用しない。 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による 2 0 mm シアコネクタとセパレーターの兼用 可 不可</p> <p>6 コンクリートの試験 (8.8.2) ~ (8.8.5)</p> <p>フレッシュコンクリートの試験 省略する</p> <p>7 軽量コンクリート (8.9.1)</p> <p>常時土又は水に直接接する部分の使用 種類 1種 2種 可 不可</p> <p>気乾単位容積質量 _____ t/m3</p> <p>8 暑中コンクリート (8.10.2)</p> <p>暑中における構造体強度補正值 (S)</p> <table border="1"> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超える期間 (打設日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7月 1 1日 ~ 8月 3 1日</td> <td rowspan="2">6 N/mm2 3 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7月 2 1日 ~ 8月 3 1日</td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7月 1 日 ~ 9月 1 0日</td> <td></td> </tr> </table> <p>9 寒中コンクリート</p> <p>予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第3節 (寒中コンクリート) による。</p>	予想平均気温 ()	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)			普通	早強	南部地域	中部地域	北部地域	3/6 ~ 6/31	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10	8以上	5以上	N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2		11/ 1 ~ 3/10	種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所	A種	8.2.7(2)(7)		B種	8.2.7(2)(4)		C種	8.2.7(2)(4)		種 別	適 用 箇 所	a種		b種		c種		適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)	水密を要する地中部分等	つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm 以上、つば幅50mm以上の鋼管を溶接したもの)	水密を要しない地中部分等	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)	上記以外の円形スリーブ	溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm 以上)	地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月 1 1日 ~ 8月 3 1日	6 N/mm2 3 N/mm2	中 部 地 域	7月 2 1日 ~ 8月 3 1日	南 部 地 域	7月 1 日 ~ 9月 1 0日		<p>8-3 耐震補強工事 (あと施工アンカー工事)</p> <p>1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>金属系アンカー</th> <th>引張耐力</th> <th>せん断耐力</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>径</th> <th>埋込み長さ</th> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>セット方式</td> <td>本体打込み式改良型</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>接合筋</th> <th>種類</th> <th>長さ</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>径</th> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>接着系アンカー</p> <table border="1"> <tr> <th>引張耐力</th> <th>せん断耐力</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>カプセル型回転・打撃式</td> </tr> <tr> <th>アンカー筋</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>改修標仕表8.2.1の異形鉄鋼</td> </tr> <tr> <th>径</th> <th>埋込み長さ</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>径</th> <th>埋込み長さ</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>埋め込み配管等の調査</p> <table border="1"> <tr> <th>範囲</th> <td>あと施工アンカー施工部分全て</td> </tr> <tr> <th>方法</th> <td>鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 図示による</td> </tr> </table> <p>2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.12.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能確認試験</th> <th>行わない</th> <th>行う</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>施工確認試験</th> <td>行わない</td> <td>行う (引張試験機による引張試験 確認強度 _____)</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <th>1ロット試験の箇所数</th> <td>1日に施工されたものの径及び仕様ごと</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>1ロットに対し3本、無作為に抜き取る</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>監督職員の承諾する工場</th> <th>使用 箇 所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J) グレード以上</td> <td>_____</td> <td>JIS G 3101 JIS G 3106 JIS G 3136</td> </tr> </table> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用する</th> <th>適用しない</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>3 鋼材の種類 (8.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用 箇 所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>_____</td> <td>JIS G 3101</td> </tr> <tr> <td>SM400A</td> <td>_____</td> <td>JIS G 3106</td> </tr> <tr> <td>SN400A</td> <td>_____</td> <td>JIS G 3136</td> </tr> </table> <p>図示による</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>ボルトの種類</th> <th>トルシア形高力ボルト (建築基準法の認定品)</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>JIS B 1186) 2種 (F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト (建築基準法の認定品、1種 (F8T))</td> </tr> </table> <p>ねじの呼び _____ すべり係数試験 (対試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による JIS B 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さかねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 _____</p>	金属系アンカー	引張耐力	せん断耐力	_____	_____	_____	径	埋込み長さ	_____	セット方式	本体打込み式改良型	_____	接合筋	種類	長さ	_____	_____	_____	径	_____	_____	引張耐力	せん断耐力	_____	_____	種類	カプセル型回転・打撃式	アンカー筋	種類	_____	改修標仕表8.2.1の異形鉄鋼	径	埋込み長さ	_____	_____	径	埋込み長さ	_____	_____	範囲	あと施工アンカー施工部分全て	方法	鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 図示による	性能確認試験	行わない	行う	_____	_____	_____	施工確認試験	行わない	行う (引張試験機による引張試験 確認強度 _____)	_____	_____	_____	1ロット試験の箇所数	1日に施工されたものの径及び仕様ごと	_____	_____	1ロットに対し3本、無作為に抜き取る	_____	監督職員の承諾する工場	使用 箇 所	規格等	建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J) グレード以上	_____	JIS G 3101 JIS G 3106 JIS G 3136	適用する	適用しない	_____	_____	種類の記号	使用 箇 所	規格等	SS400	_____	JIS G 3101	SM400A	_____	JIS G 3106	SN400A	_____	JIS G 3136	ボルトの種類	トルシア形高力ボルト (建築基準法の認定品)	_____	JIS B 1186) 2種 (F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト (建築基準法の認定品、1種 (F8T))
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
木部	不透明塗料塗りの場合	A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	透明塗料塗りの場合	A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面 (DP以外)		A種	B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面 (DP)		A種	B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面		A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
珪素面及びせつこうアスター面 (DP)		A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート面 (DP以外) 及びALCN® 積面		A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
押出成形モルタル板面及びコンクリート面 (DP)		A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート面 (DPのみ)		A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
せつこうボード面及びその他のボード面		目地: 継目処理工法	A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		目地: 継目処理工法以外	A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	A種	C種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	新規見え掛け	A種	C種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	新規見え隠れ	A種	B種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	塗替え	A種 B種	C種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
E-P-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	A種 B種	A種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	新規見え掛け	A種 B種	B種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	塗替え	7.4.2(1)(イ)	B種 (下地調整済)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	新規	(a)による	○C種 (下地調整済)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ)	○A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	新規	(a)による	○A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	塗替え	A種 B種	C種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	新規	A種 B種	A種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
亜鉛めっき鋼面	塗替え	C種	C種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	新規	C種	A種	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	塗替え	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	新規	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
記号	名称	種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
SOP	合成樹脂系 ベイト塗り	木部	新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 (外部の場合工程3, 工程4は行わない) C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		鉄鋼面	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		亜鉛めっき鋼面	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類 1種	鋼製建具等	新規	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		塗替え	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		その他塗替え・新規	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
C/L	外壁/塗り	A種 (着色塗料の種類) B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
屋根遮熱塗装: 超耐久型珪素樹脂系屋根用遮熱塗料 ICA-化研 (株) 及び同等品 下地調整はR B種とする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
NA/D	珪素系非水分散形塗料塗り	A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		亜鉛めっき鋼面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
上塗り	1級 ふっ素樹脂系等	コンクリート面及び押出成形モルタル板面	A-1種 B-1種 C-1種 A-2種 B-2種 C-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		2級 シリコン系等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3級 ポリウレタン系等	E-P-G	珪素系, せつこうアスター面, 珪素面, せつこうボード面, その他ボード面	A種 B種 C種 しみ止め																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		木部	新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面	E-P	合成樹脂 ベイト塗り	A種 B種 C種 しみ止め																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		しみ止めシナー (B種及びC種の場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
U/C	珪素系2塗り	A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		ビート塗り (表7.13.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
WP	木材保護塗料塗り	オイル塗り (OS)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		亜鉛めっき鋼面	A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
SD295	SD 2 9 5	D 1 6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SD 3 4 5	D 1 9 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SD295はF c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
部 位	接 合 方 法	径 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
重ね継手	ガス圧接継手	D 1 9 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	機械式継手	D 1 6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
溶接継手	ガス圧接継手		D 1 6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	機械式継手	溶接継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
予想平均気温 ()	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通	早強	南部地域	中部地域	北部地域																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		3/6 ~ 6/31	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
8以上	5以上	N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 10/31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
8未満	5未満	N/mm2		11/ 1 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
A種	8.2.7(2)(7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
B種	8.2.7(2)(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
C種	8.2.7(2)(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 別	適 用 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
a種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
b種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
c種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
水密を要する地中部分等	つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm 以上、つば幅50mm以上の鋼管を溶接したもの)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
水密を要しない地中部分等	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
上記以外の円形スリーブ	溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm 以上)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
北 部 地 域	7月 1 1日 ~ 8月 3 1日	6 N/mm2 3 N/mm2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
中 部 地 域	7月 2 1日 ~ 8月 3 1日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
南 部 地 域	7月 1 日 ~ 9月 1 0日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
金属系アンカー	引張耐力	せん断耐力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
_____	_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
径	埋込み長さ	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
セット方式	本体打込み式改良型	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
接合筋	種類	長さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
_____	_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
径	_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
引張耐力	せん断耐力																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	カプセル型回転・打撃式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
アンカー筋	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	改修標仕表8.2.1の異形鉄鋼																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
径	埋込み長さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
径	埋込み長さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
範囲	あと施工アンカー施工部分全て																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
方法	鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
性能確認試験	行わない	行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
_____	_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工確認試験	行わない	行う (引張試験機による引張試験 確認強度 _____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
_____	_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1ロット試験の箇所数	1日に施工されたものの径及び仕様ごと	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
_____	1ロットに対し3本、無作為に抜き取る	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
監督職員の承諾する工場	使用 箇 所	規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J) グレード以上	_____	JIS G 3101 JIS G 3106 JIS G 3136																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用する	適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	_____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類の記号	使用 箇 所	規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
SS400	_____	JIS G 3101																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
SM400A	_____	JIS G 3106																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
SN400A	_____	JIS G 3136																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ボルトの種類	トルシア形高力ボルト (建築基準法の認定品)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
_____	JIS B 1186) 2種 (F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト (建築基準法の認定品、1種 (F8T))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
備考		工務名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日 2025. 3 .	図面番号 A — 07																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	吉村 建築事務所	図面名 建築改修工事特記仕様書 7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1級建築士登録第248236号 吉村 薫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

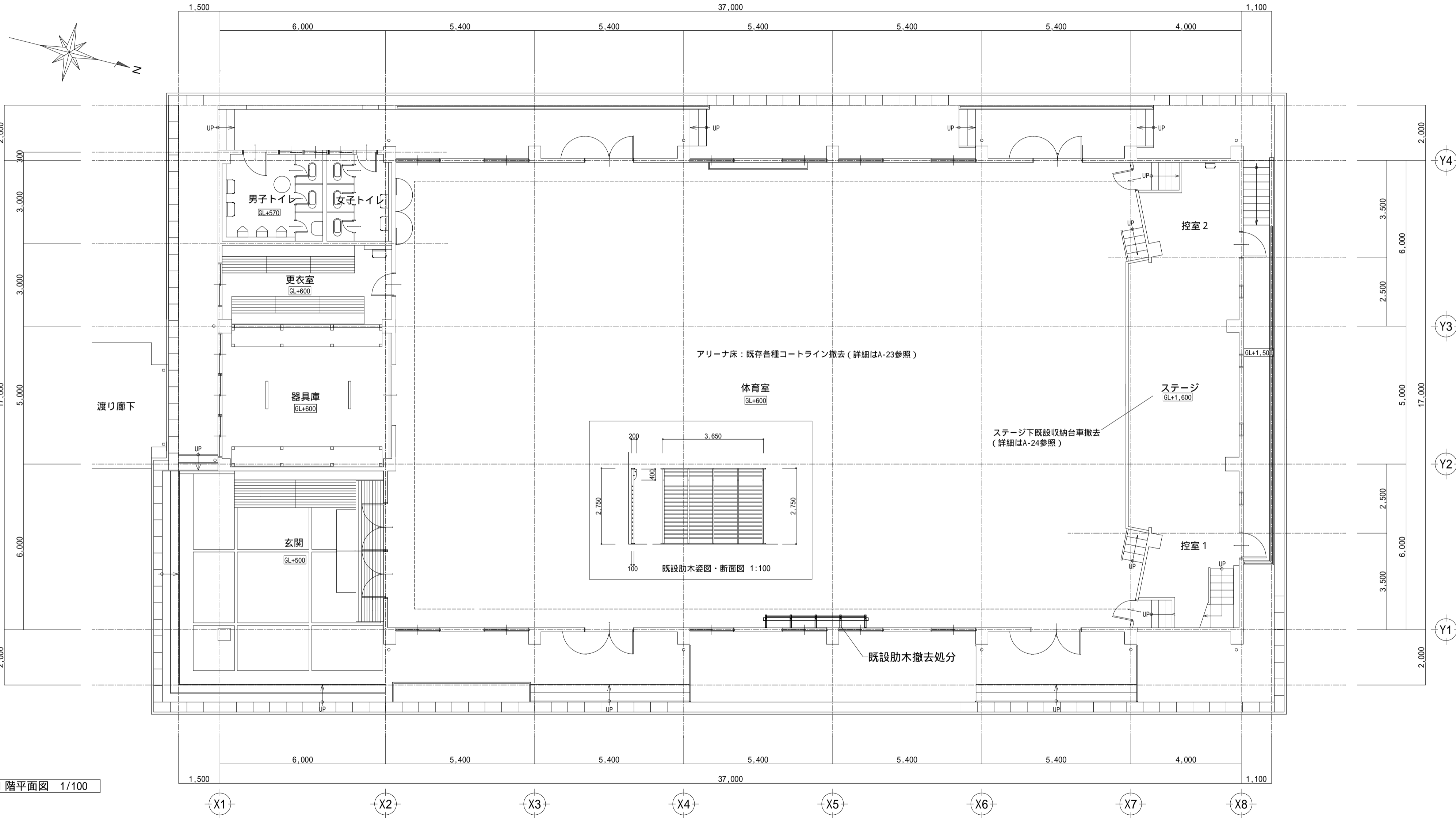
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																															
814 耐震補強工事(鉄骨工事)	<p>5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)</p> <p>6 溶接材料 (8.2.10)</p> <p>7 スタッド (8.2.11)</p> <p>8 工作図 (8.13.2)</p> <p>9 ボルト孔 (8.13.8)</p> <p>10 仮組</p> <p>11 技能資格者</p> <p>12 溶接接合 (8.15.4)(8.15.7)</p> <p>13 溶接部の試験 (8.15.12)</p> <p>14 錆止め塗料 (7.4.2)(8.17.2)(8.17.4)</p>	<p>814 耐震補強工事(鉄骨工事)</p> <p>15 耐火被覆 (8.18.2)-(8.18.9)</p> <p>16 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>815 耐震補強工事(グラウト)</p> <p>1 グラウト材 (8.2.12)</p> <p>2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)</p>	<p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 料 ・ 工 法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>双張り珪藻土塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性 能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table> <p>適用</p> <p>構造用アンカーボルト 材質 SNR400B アンカーフレームの形状及び寸法 図示による</p> <p>建方用アンカーボルト 材質 SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> <tr> <td>柱底均しモルタルの厚さ</td> <td>50mm</td> <td>30mm</td> </tr> </table> <p>1 グラウト材 早強型特殊セメント系無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの調合 製造所で調合されたプレミックスタイプ 現場調合形</p> <p>無収縮グラウト材の品質</p> <table border="1"> <tr> <td>圧縮強度 (N/mm²)</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄筋コンクリート壁増設工事の壁部)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コクサラン-J140-値(秒)</td> <td>6-10</td> </tr> <tr> <td>乾燥収縮 (10⁻⁴)</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>グラウト材の品質管理は次による</p> <table border="1"> <tr> <td>圧縮強度試験</td> <td>行う</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <td>コンシステンシー試験</td> <td>行う</td> <td>行わない</td> </tr> </table> <p>2 柱底等の均しモルタル モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の調合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ 図示による</p> <p>工法 A種 B種</p>	種 類	材 料 ・ 工 法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		双張り珪藻土塗り	-		耐火塗料	-		性 能	適用箇所(部位・部分)	30分耐火		1時間耐火		2時間耐火		3時間耐火		種別	A種	B種	柱底均しモルタルの厚さ	50mm	30mm	圧縮強度 (N/mm ²)	30以上	一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄筋コンクリート壁増設工事の壁部)		コクサラン-J140-値(秒)	6-10	乾燥収縮 (10 ⁻⁴)	0	圧縮強度試験	行う	行わない	コンシステンシー試験	行う	行わない	<p>816 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.21.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.21.3)</p> <p>4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)</p> <p>5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)</p> <p>6 既存構造体との取合い (8.21.9)</p> <p>7 仕上げ (8.21.10)</p> <p>817 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.22.2)</p>	<p>817 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.22.3)</p> <p>4 既存構造体との取合い (8.22.7)</p> <p>5 仕上げ (8.22.9)</p> <p>818 耐震補強工事(柱補強工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.23.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.23.3)(8.24.3)</p> <p>4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)</p> <p>5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)</p>	<p>3 既存部分の処理 (8.22.3)</p> <p>4 既存構造体との取合い (8.22.7)</p> <p>5 仕上げ (8.22.9)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.23.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.23.3)(8.24.3)</p> <p>4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)</p> <p>5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)</p>
種 類	材 料 ・ 工 法	適用箇所(部位・部分)																																																				
耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																																																					
耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板																																																					
耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																																					
双張り珪藻土塗り	-																																																					
耐火塗料	-																																																					
性 能	適用箇所(部位・部分)																																																					
30分耐火																																																						
1時間耐火																																																						
2時間耐火																																																						
3時間耐火																																																						
種別	A種	B種																																																				
柱底均しモルタルの厚さ	50mm	30mm																																																				
圧縮強度 (N/mm ²)	30以上																																																					
一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄筋コンクリート壁増設工事の壁部)																																																						
コクサラン-J140-値(秒)	6-10																																																					
乾燥収縮 (10 ⁻⁴)	0																																																					
圧縮強度試験	行う	行わない																																																				
コンシステンシー試験	行う	行わない																																																				

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項									
818 耐震補強工事(柱補強工事)	6 連続繊維補強工法 (8.2.13)(8.24.6)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 材料 炭素繊維 アラミド繊維 ガラス繊維 性能 引張強度 N/mm ² ヤング係数 N/mm ² 製造所 _____ 製品名 _____ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ 炭素繊維シート 20mm以上 アラミド繊維シート 10mm以上 仕上げモルタルの除去 構造躯体まで除去する E7/8除去は行わない ひび割れ部改修 コーティング仕上げ 樹脂注入工法 E7/8塗り仕上げ 樹脂注入工法 炭素繊維の目付量 図示による 炭素繊維シートの巻数 図示による 引張強度試験 行う 試験数量 () 行わない 付着強度試験 行う 試験数量 () 行わない	4 仕上げ (8.26.13) 図示による 5 耐火被覆 (8.26.14) 仕様 _____ 6 耐火被覆 (8.26.15) 仕様 _____ 工法 _____ 7 検査 (8.26.16) 項目 _____ 数量 _____ 8 維持管理要領 (8.26.17) 維持管理要領に記載する項目 維持管理の目的 _____ 点検の実施時期 _____ 点検・検査結果の保管 _____ 維持管理に必要な計測機器の設置 地震計 (仕様 _____) 下げ振り (仕様 _____) けがき板 (仕様 _____) 別置き試験体 (仕様 _____) (仕様 _____)	1 既存部分の処理等 (8.28.2) 既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による () 杭頭部の処理 図示による () 既存杭の補強 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 図示による () 2 埋戻し及び盛土 (8.28.3) 埋戻し及び盛土の種類 改修標準仕様書8.28.1による A種 適用箇所 () B種 適用箇所 () C種 適用箇所 () D種 (細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 () その他 (材料 _____ 工法 _____) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼矢板等の抜き跡の処理 図示による 山留め壁等の存置箇所 (図示 _____) 3 杭地業 (8.2.15)(8.28.4) 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施行方法等 図示による () 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施行方法 図示による () 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 図示による () 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法 (切断ともなう補強方法含む) 図示による () 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方向の位置ずれ 径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 図示による ()	3 可動間仕切 (20.2.3) 種 類 _____ 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 寸法・形状 パネル式 _____ スタッ式 _____ スクリーン式 _____ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F 4 移動間仕切 (20.2.4) パネル操作方法による種類/パネル表面材・仕上/パネル圧接装置の操作方法/遮音性能 ハンガーレールの取付け下地の補強 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。 パネルをランナーに取り付ける部品 ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの あと施工アンカー 材質 _____ 寸法 _____ 引抜耐力試験 行う	819 耐震補強工事(耐震スリット)	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 垂直方向 完全(全貫通型)スリット 耐火型 有り 水平方向 せん断型部分スリット 非耐火型 無し 品質・規格 _____ 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄筋の処理 切り出し 存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ 図示による 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 既存部分の撤去の補修 図示による	811 耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.27.2) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の撤去 範囲 図示による 方法 図示による 既存鉄骨の処置方法 _____ 2 既存部分の処理 (8.27.3) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 3 減衰材 (8.27.4) 減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 _____ 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	810 耐震補強工事(免震改修)	1 既存部分の撤去 (8.26.5) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 2 既存部分の処理 (8.26.6) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 3 支承材・減衰材 (8.26.7)(8.26.10) 支承材 材質 _____ 諸元 _____ 減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 _____ 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による	812 耐震補強工事(基礎工事)	4 砂利地業等 (8.2.15) 材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂 5 捨コンクリート地業 (8.28.4) 捨コンクリートの厚さ 50mm 9 1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及び「パーティクルボード」等のホルムアルデヒド等の放散量 F 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 「パーティクルボード」等の放散量 F 含まれる可塑剤 7/8酸-7/8等を含有しない、難揮発性のもの 2 フリーアクセスフロア (20.2.2) 建設技術評価制度「耐震型パーティクルボードの開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい性能 抵抗 スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル あり (固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標準19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 _____ 耐衝撃性能 _____ ローリングロード性能 _____ 耐燃焼性能 _____	9 ユニット及びその他の工事	5 トイレブース (20.2.5) 表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 幅木型 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F ドアエッジの材質 トイレブース製造所の仕様による 6 手すり (20.2.6) SUS304(表面処理 HL程度 _____) 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(表14.2.2)による種別()種 アルミニウム 表面処理(表14.2.1)による種別()種 種別()種()種()種 色合等 標準色()種 特注色()種 手すりの握り部分 材 種 表面仕上げ 直径(mm) 取付場所 備考 集成材 ○クリアラッカー 35程度 (材種:) 45程度 ビニル製 35程度 45程度 7 階段滑り止め (20.2.7) 材種 ステンレス製(SUS304) 幅 約35mm 形状 ビニルタイヤ入り 両端フットあり(ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法 8 黒板及びホワイトボード (20.2.9) 区分 種 類 色彩 備 考 黒板 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ホワイトボード ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ホワイトボード ほうろう白板 白 曲面 スクリーン付引分け 耐熱金属 アルミ製 (表面処理の種別 B-2 B-1) 品質・規格 _____ 9 鏡 (20.2.10) 厚さ(mm) 5 _____



配置図 1/300

備考	<p>吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	<p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p>	<p>設計年月日 2025.03</p>	<p>図面番号 A-11</p>
		<p>図面名 現況 配置図</p>	<p>縮尺 1/300</p>	



1階平面図 1/100

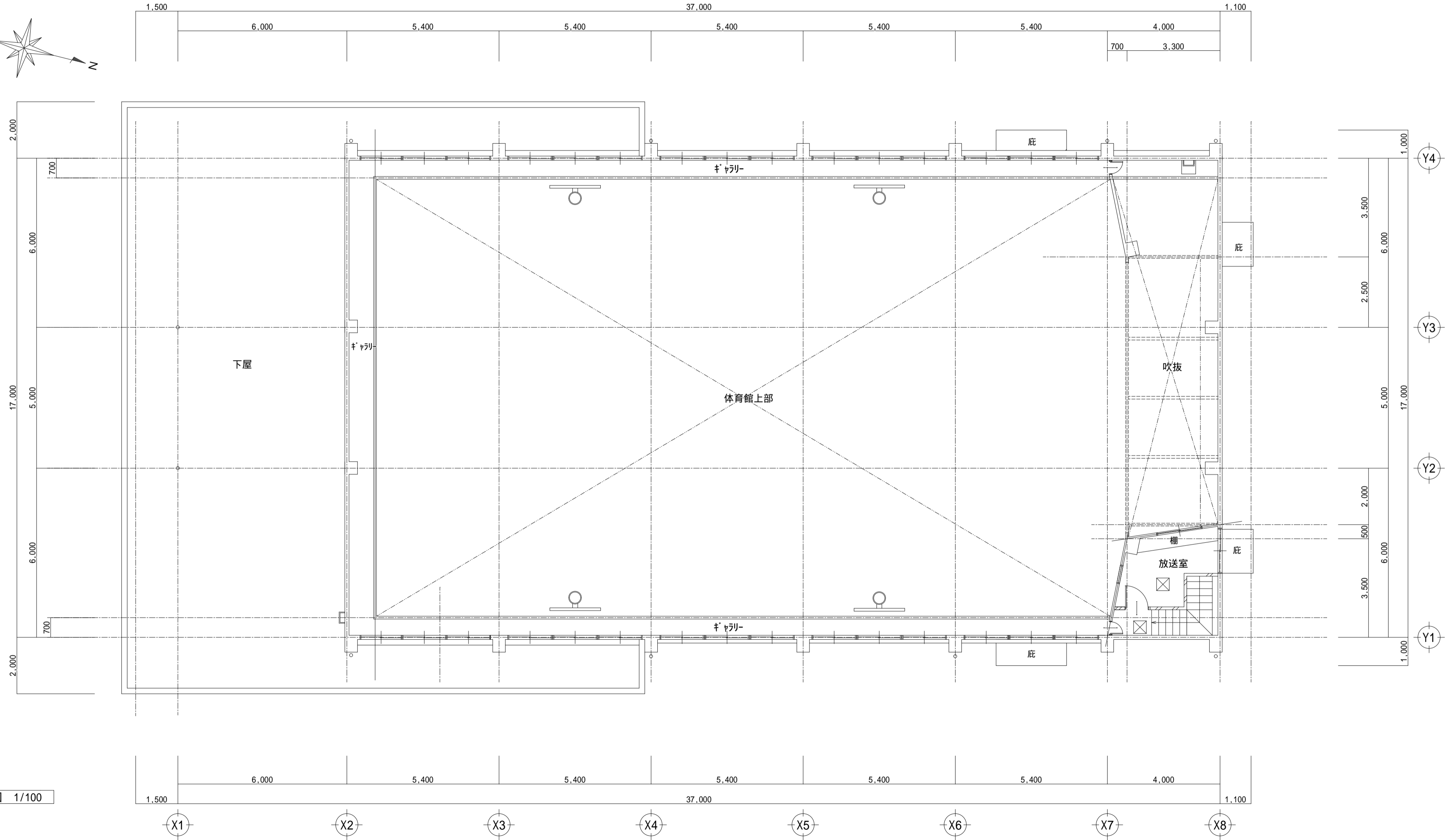
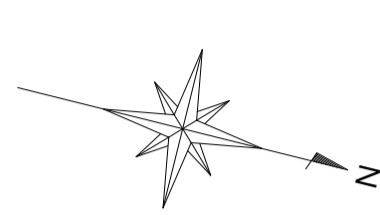
備考	

吉村建築事務所
1級建築士登録第248236号 吉村 薫

工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名 現況 1階平面図

設計年月日 2025.03
縮尺 1/100

図面番号 A-12



2階平面図 1/100

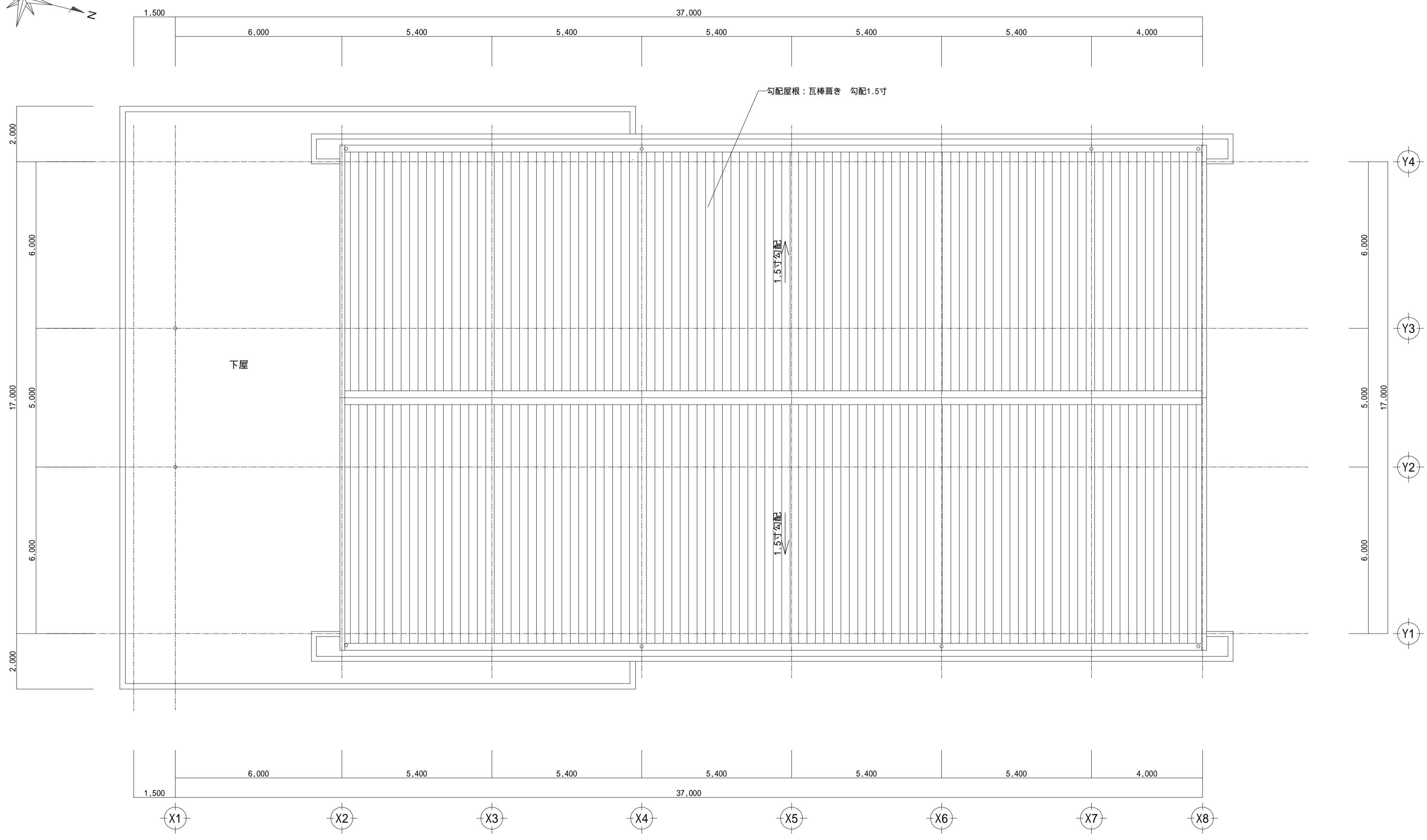
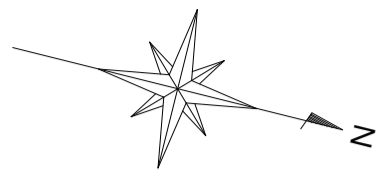
備考	

吉村建築事務所
1級建築士登録第248236号 吉村 薫

工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名 現況 2階平面図

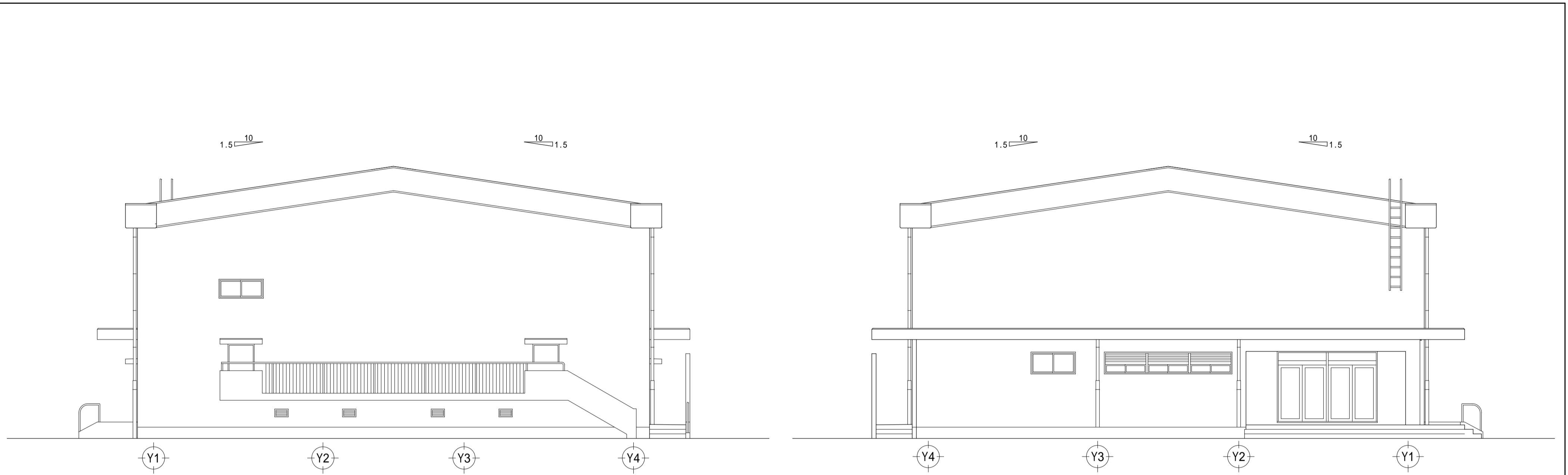
設計年月日 2025.03
縮尺 1/100

図面番号 A-13



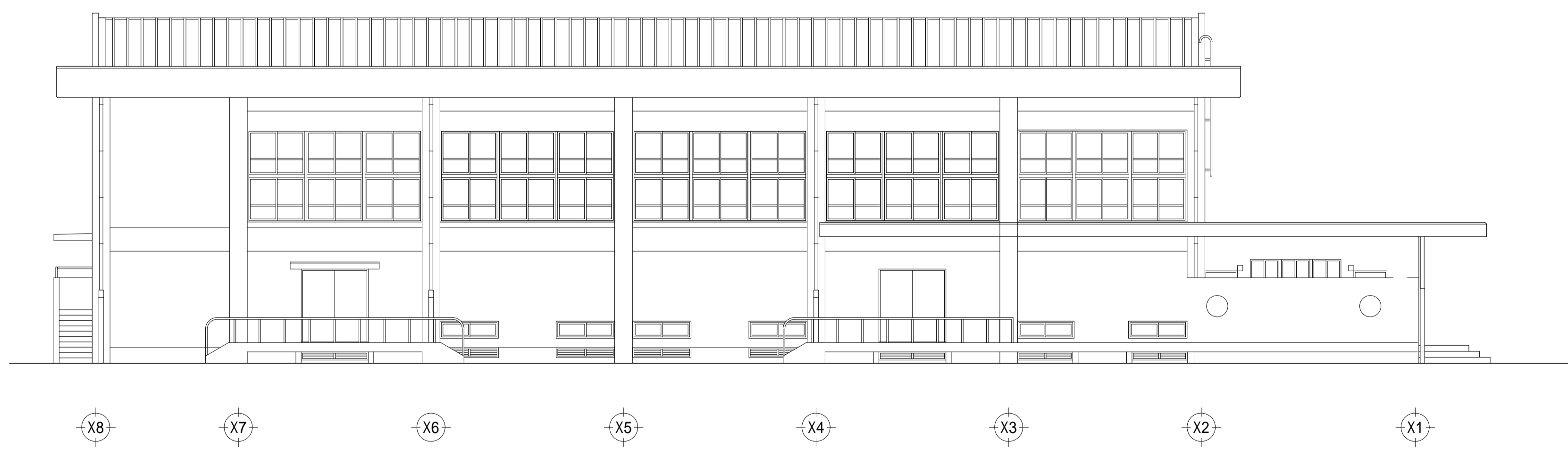
屋根伏図 1:100

備考	<p>吉村建築事務所</p> <p>1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	<p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p>	<p>設計年月日 2025. 3 .</p>	<p>図面番号 A — 14</p>
		<p>図面名 現況 屋根伏図</p>	<p>縮尺 1/100</p>	



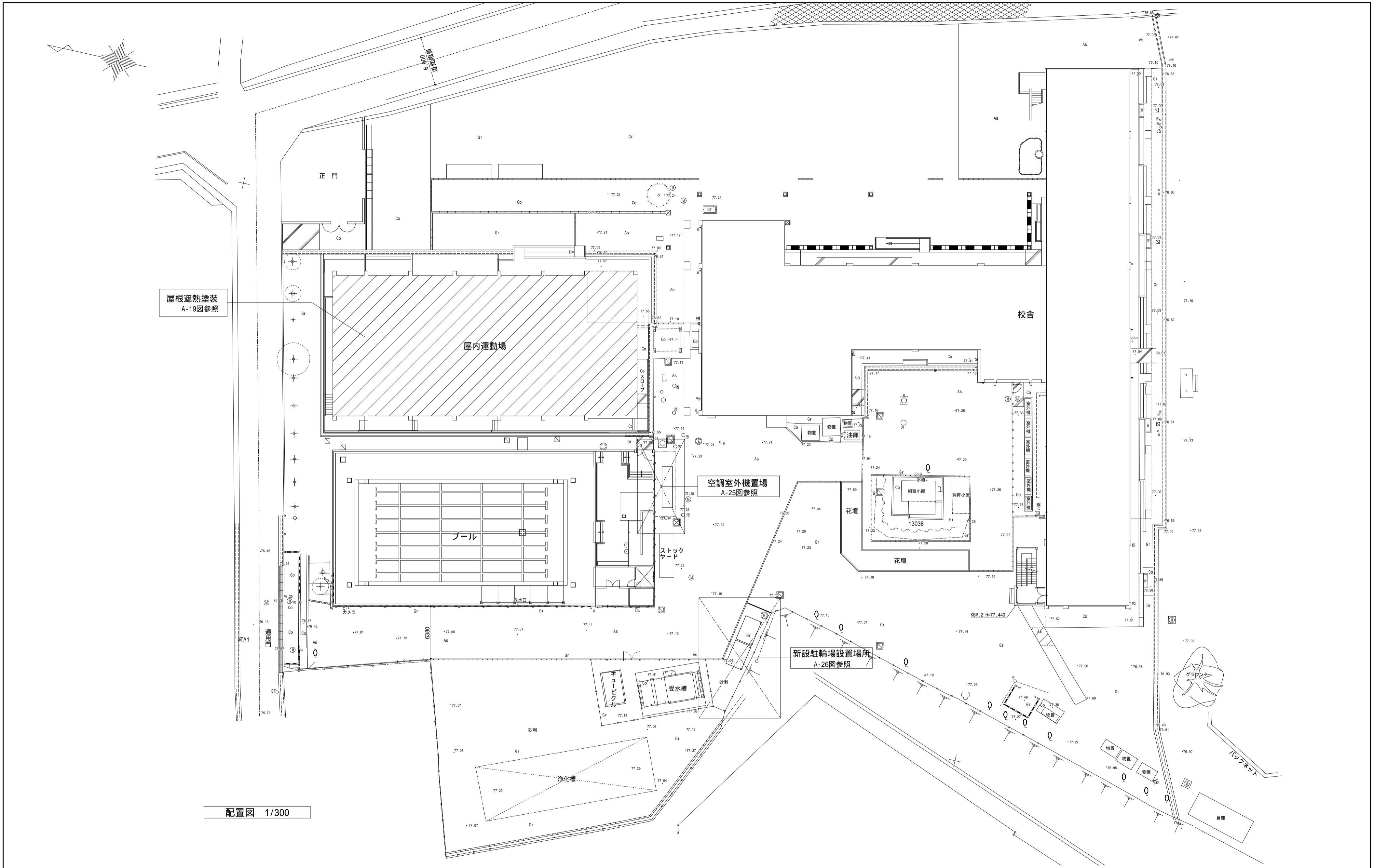
北側立面図 1:100

南側立面図 1:100



西側立面図 1:100

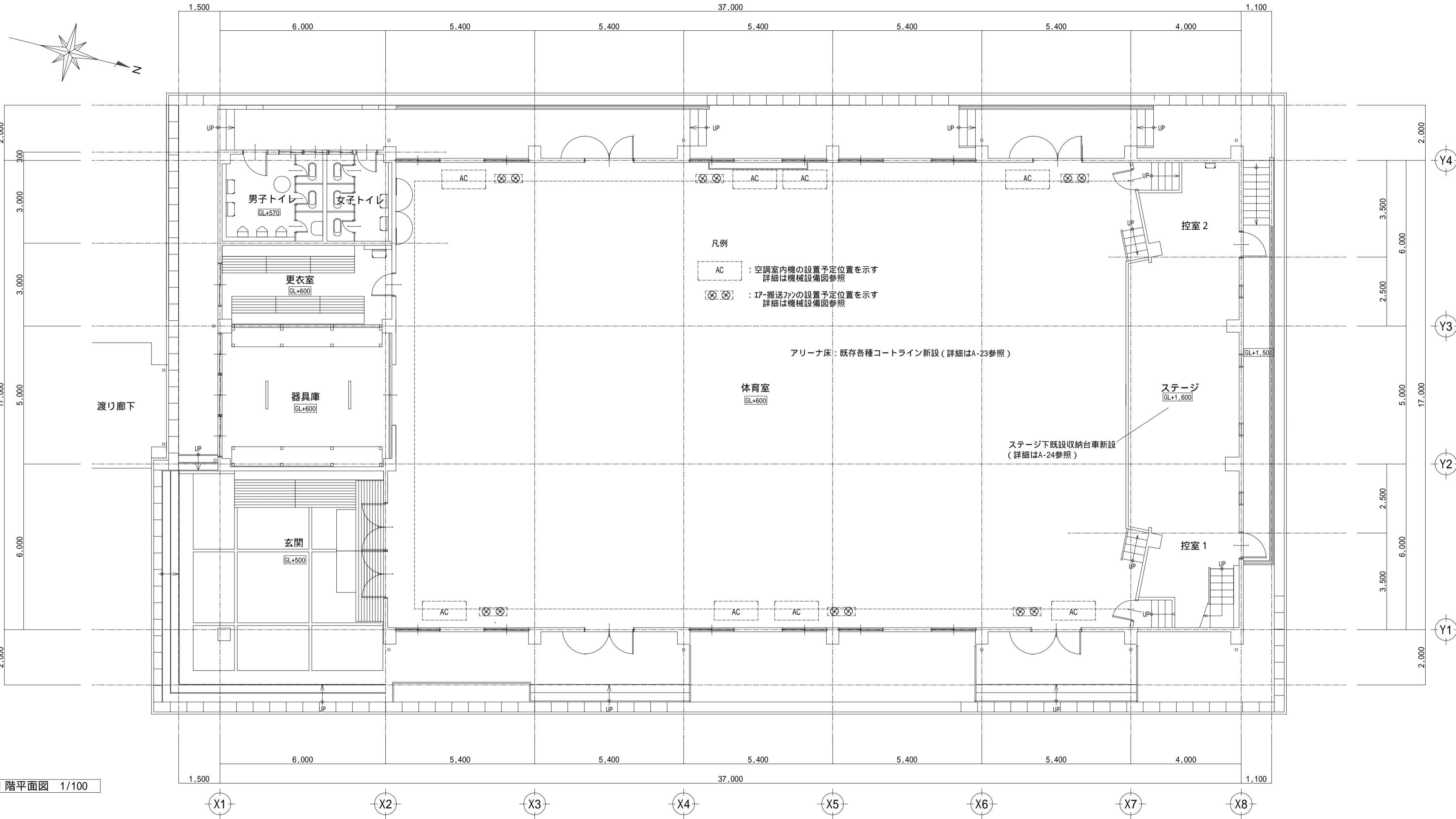
備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025. 03 .	図面番号 A — 15
		図面名	現況 北・南・西 立面図	縮尺	1/100	



屋根遮熱塗装
A-19図参照

配置図 1/300

備考	<p>吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	<p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p>	<p>設計年月日 2025.03</p>	<p>図面番号 A-16</p>
		<p>図面名 改修 配置図</p>	<p>縮尺 1/300</p>	



1階平面図 1/100

備考	

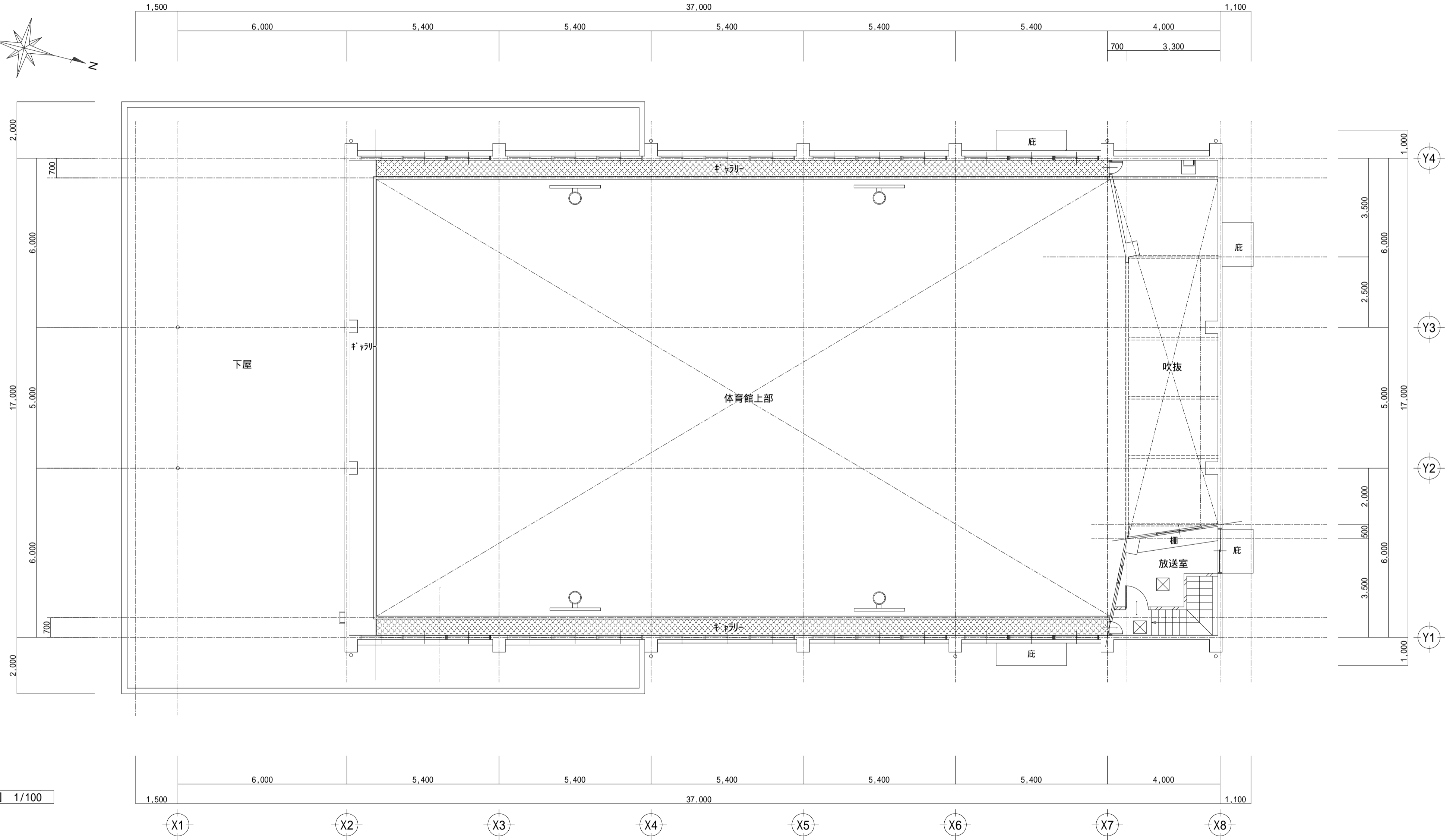
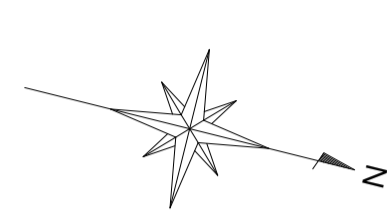
吉村建築事務所
 1級建築士登録第248236号 吉村 薫

工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事
 図面名 改修 1階平面図

設計年月日 2025.03
 縮尺 1/100

図面番号 A-17

鉄筋等探査調査範囲



2階平面図 1/100

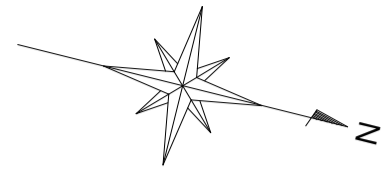
備考	

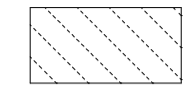
吉村建築事務所
1級建築士登録第248236号 吉村 薫

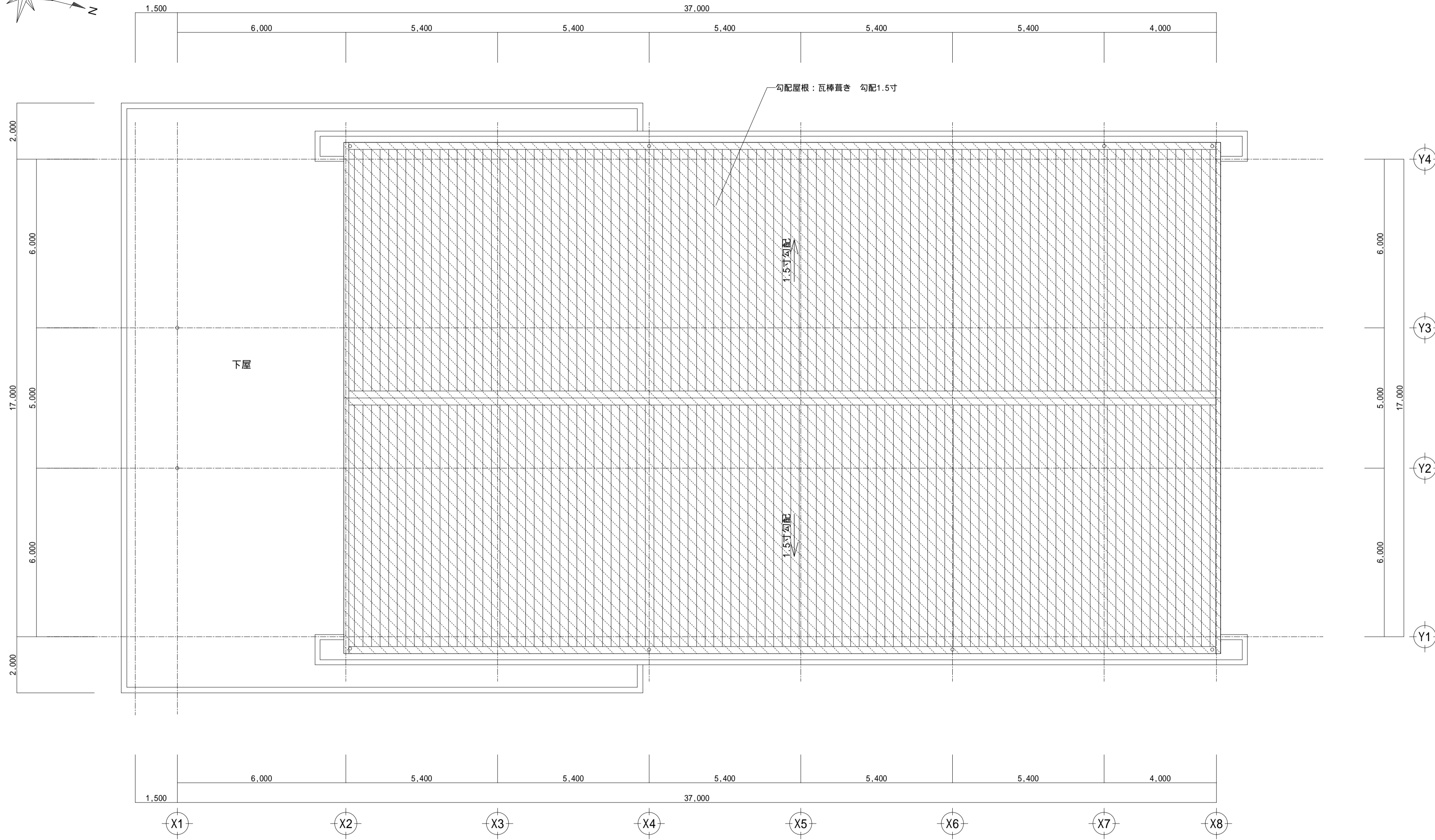
工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事
図面名 改修 2階平面図

設計年月日 2025.03
縮尺 1/100

図面番号 A-18

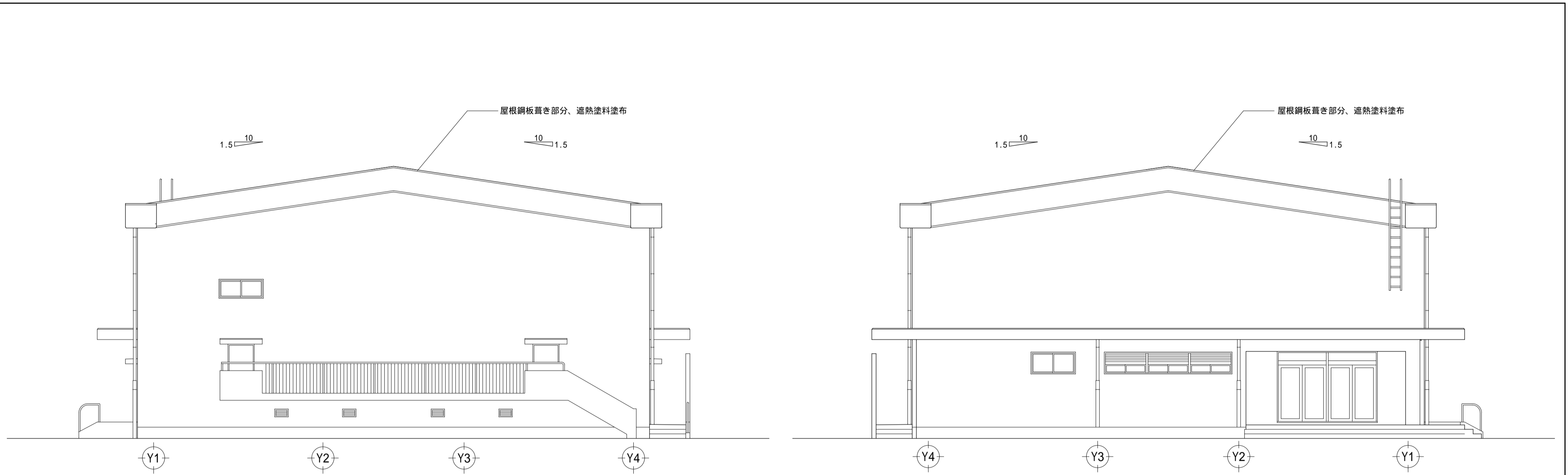


 : 屋根鋼板葺き部分、遮熱塗料塗布



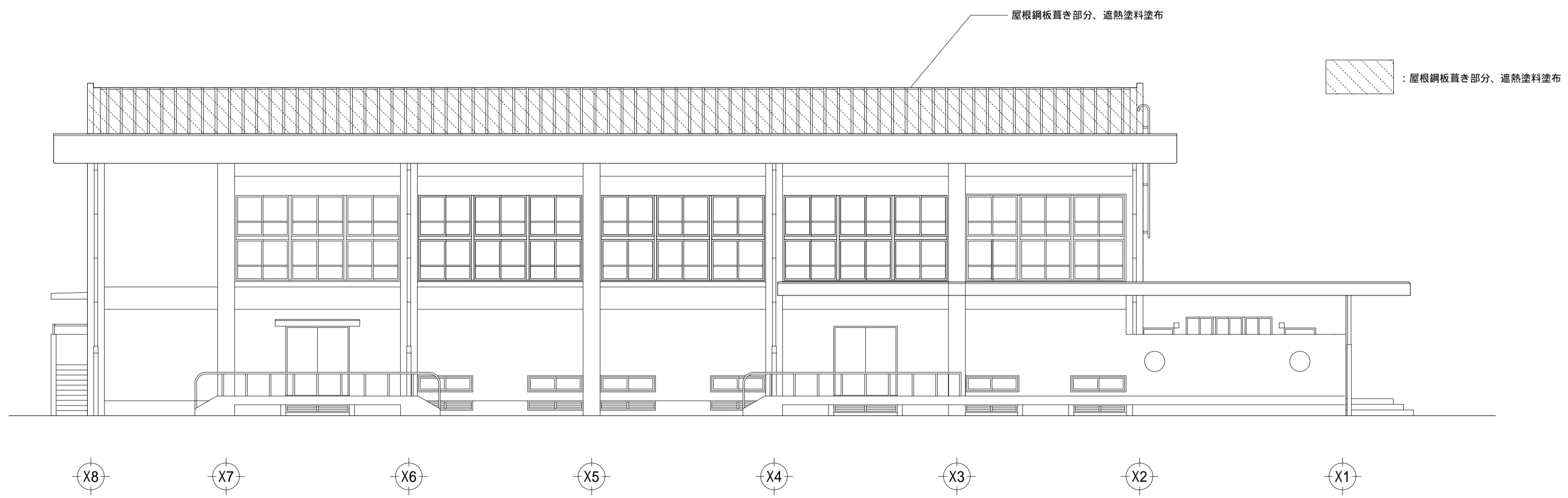
屋根伏図 1:100

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025.03	図面番号 A-19
		図面名	改修 屋根伏図	縮尺	1/100	



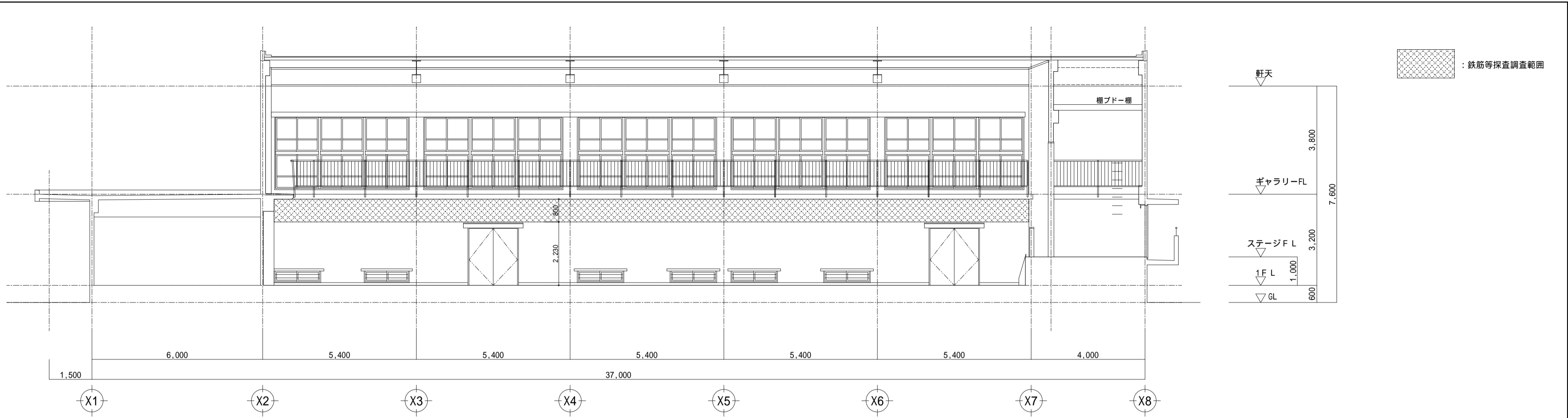
北側立面図 1:100

南側立面図 1:100

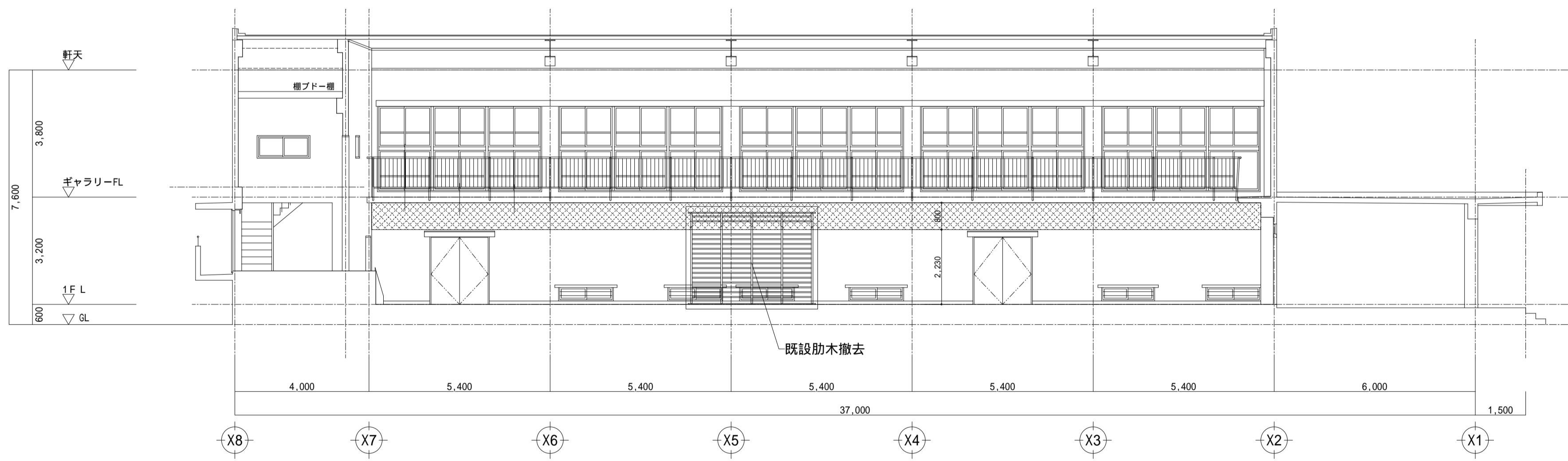


西側立面図 1:100

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025.03	図面番号 A-20
		図面名	改修 北・南・西 立面図	縮尺	1/100	

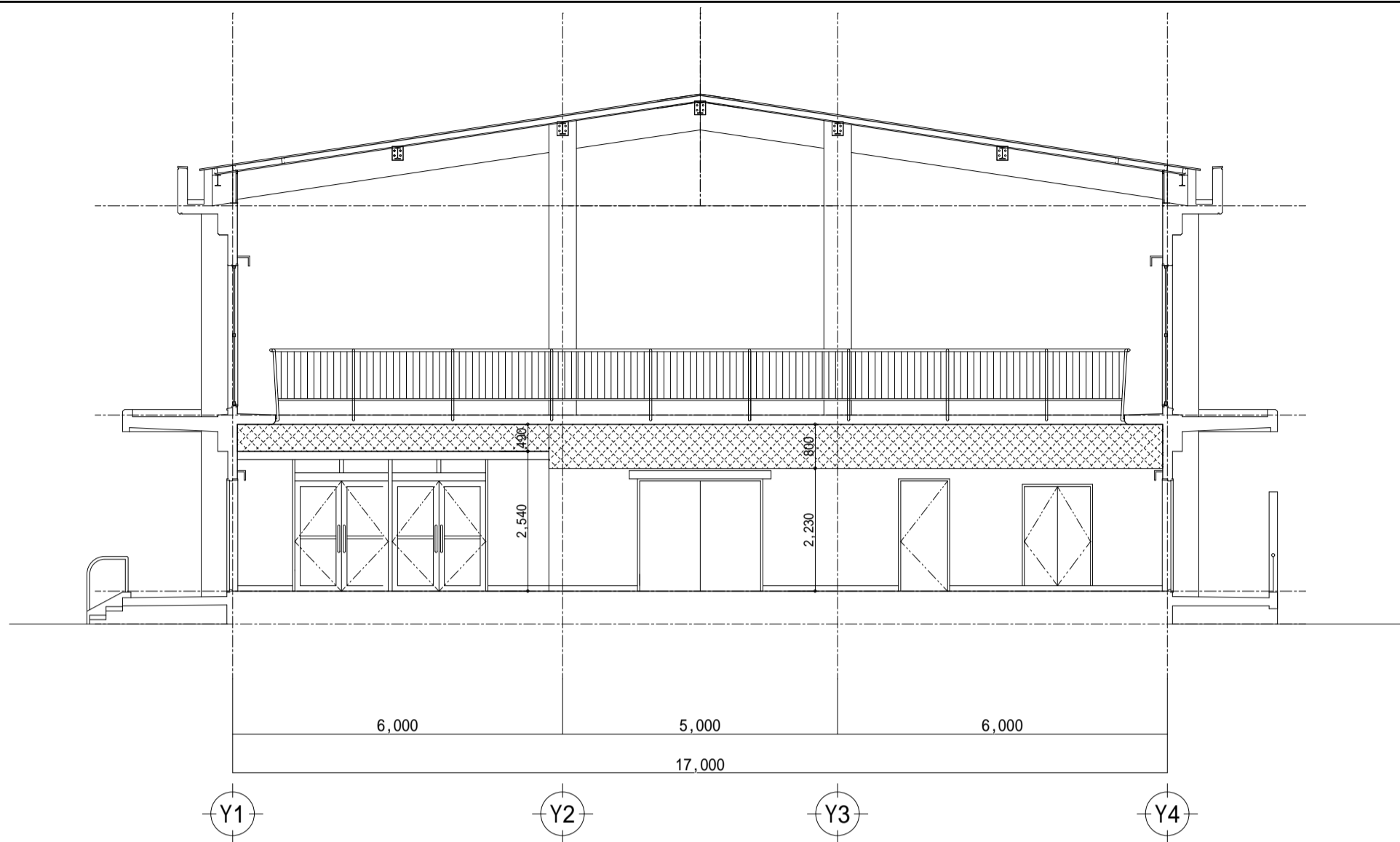


東面 展開図



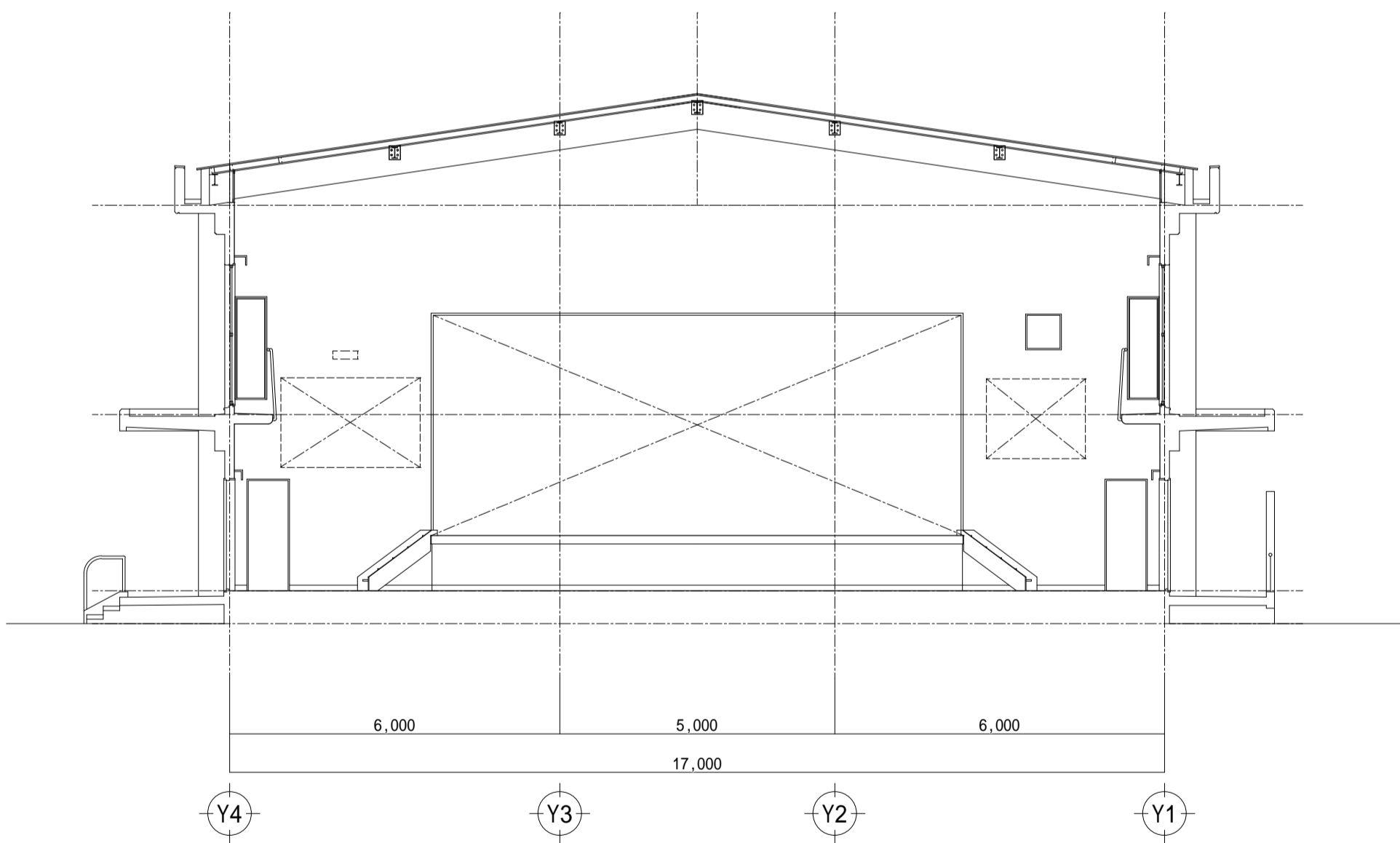
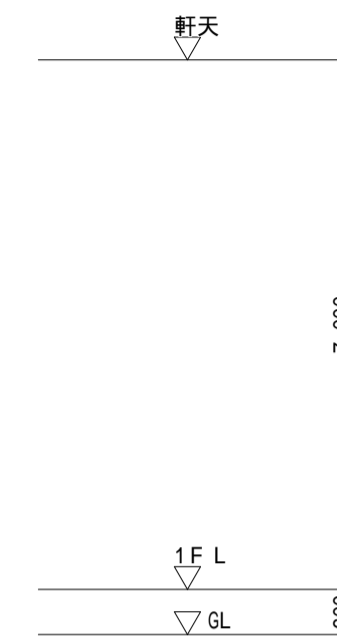
西面 展開図

備考	<p>吉村建築事務所</p> <p>1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	<p>工事名</p> <p>大開小学校体育館空調設置ほか改修工事</p>	<p>設計年月日</p> <p>2025. 03 .</p>	<p>図面番号</p> <p>A — 21</p>
		<p>図面名</p> <p>改修 東・西展開図</p>	<p>縮尺</p> <p>1/100</p>	



南面 展開図 S : 1/100

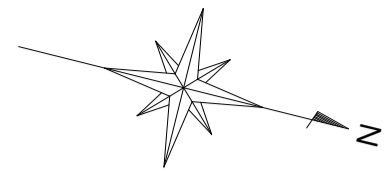
鉄筋等探査調査範囲



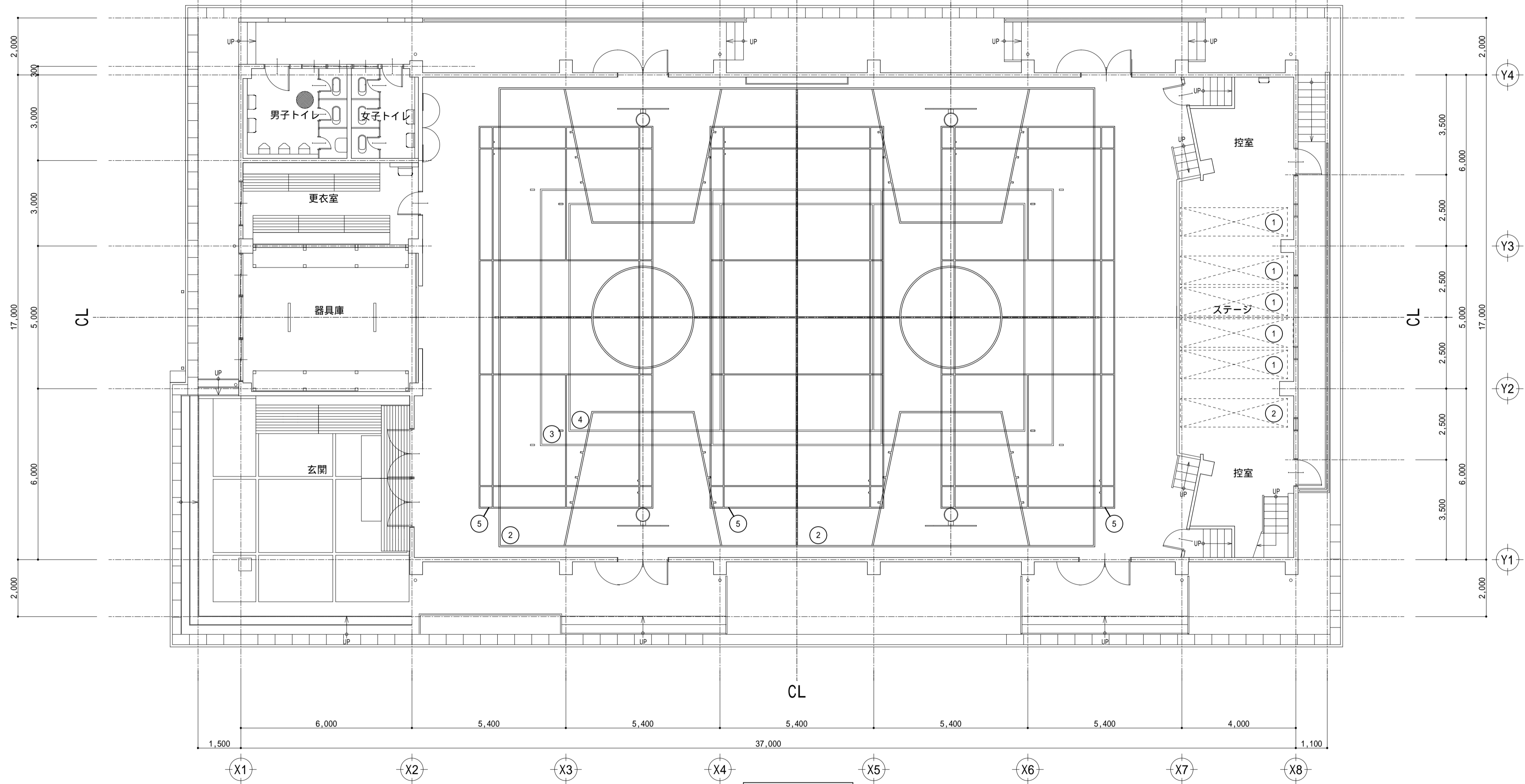
北面 展開図 S : 1/100



備考	<p>吉村建築事務所</p> <p>1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025. 03 .	図面番号	A - 22
		図面名	改修 南・北展開図	縮尺	1/100		



CL
 (サ)既存ボードに準ずる (サ)既存ボードに準ずる



1階平面図 1:100

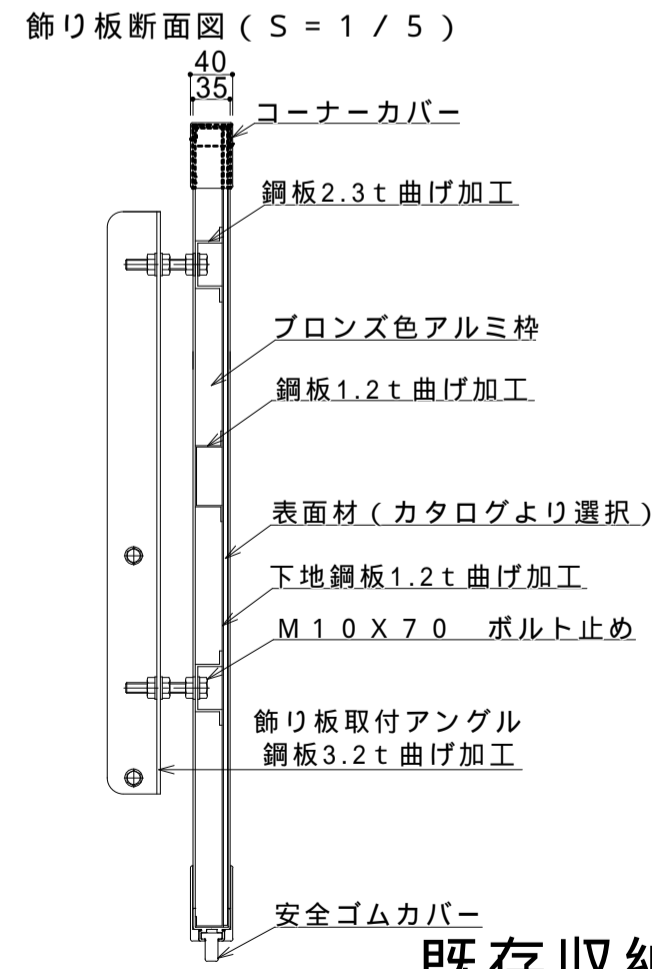
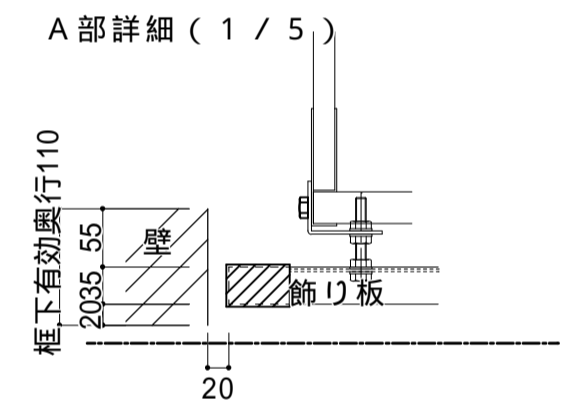
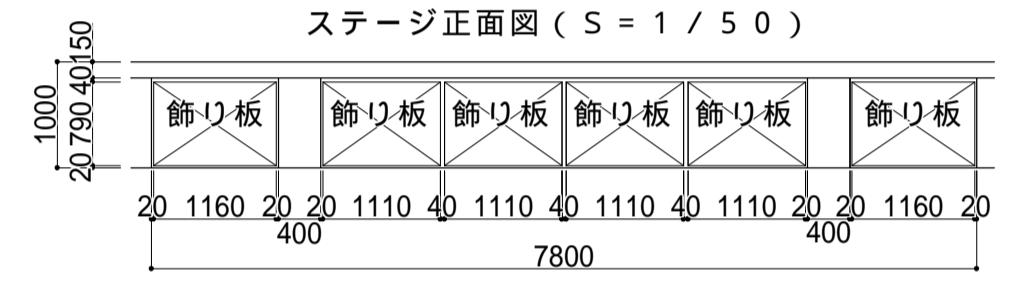
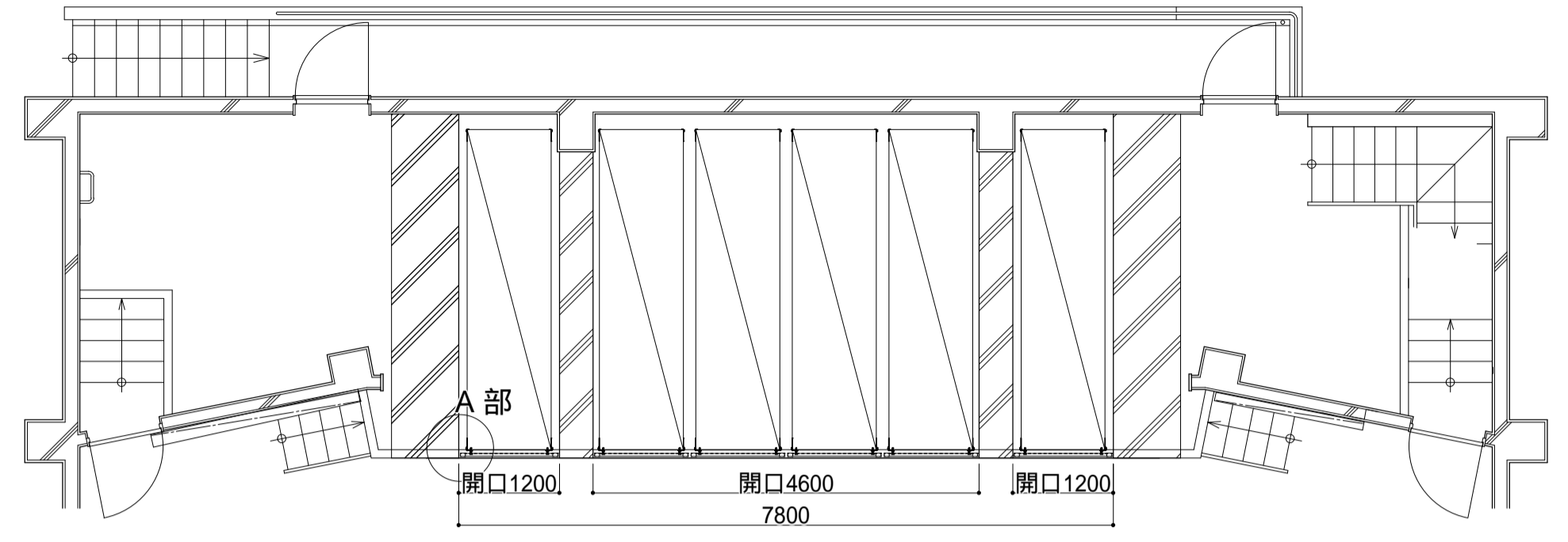
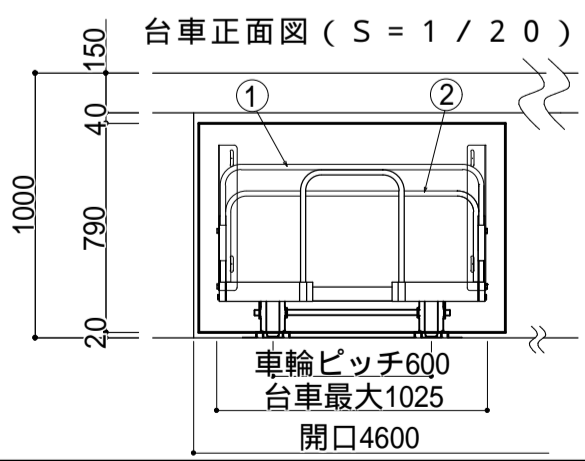
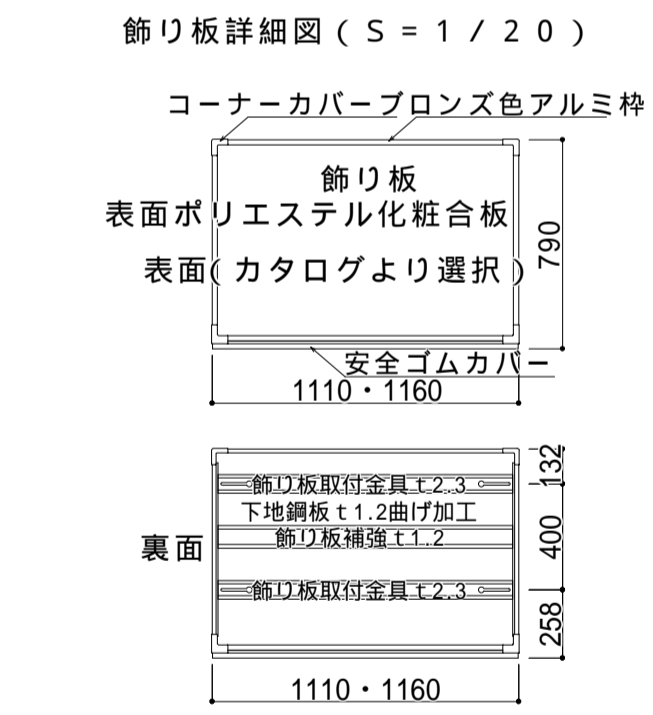
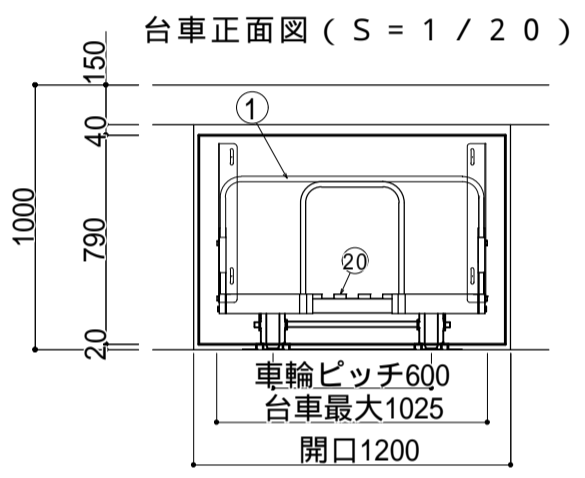
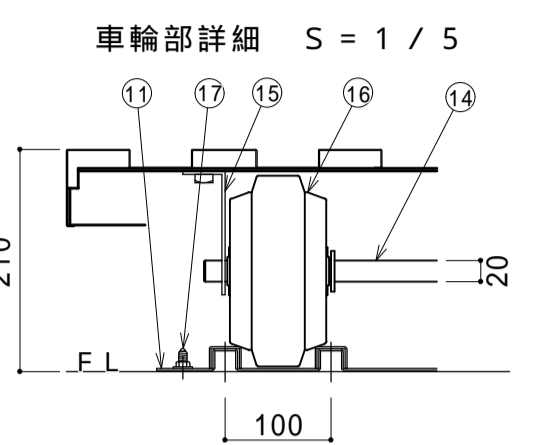
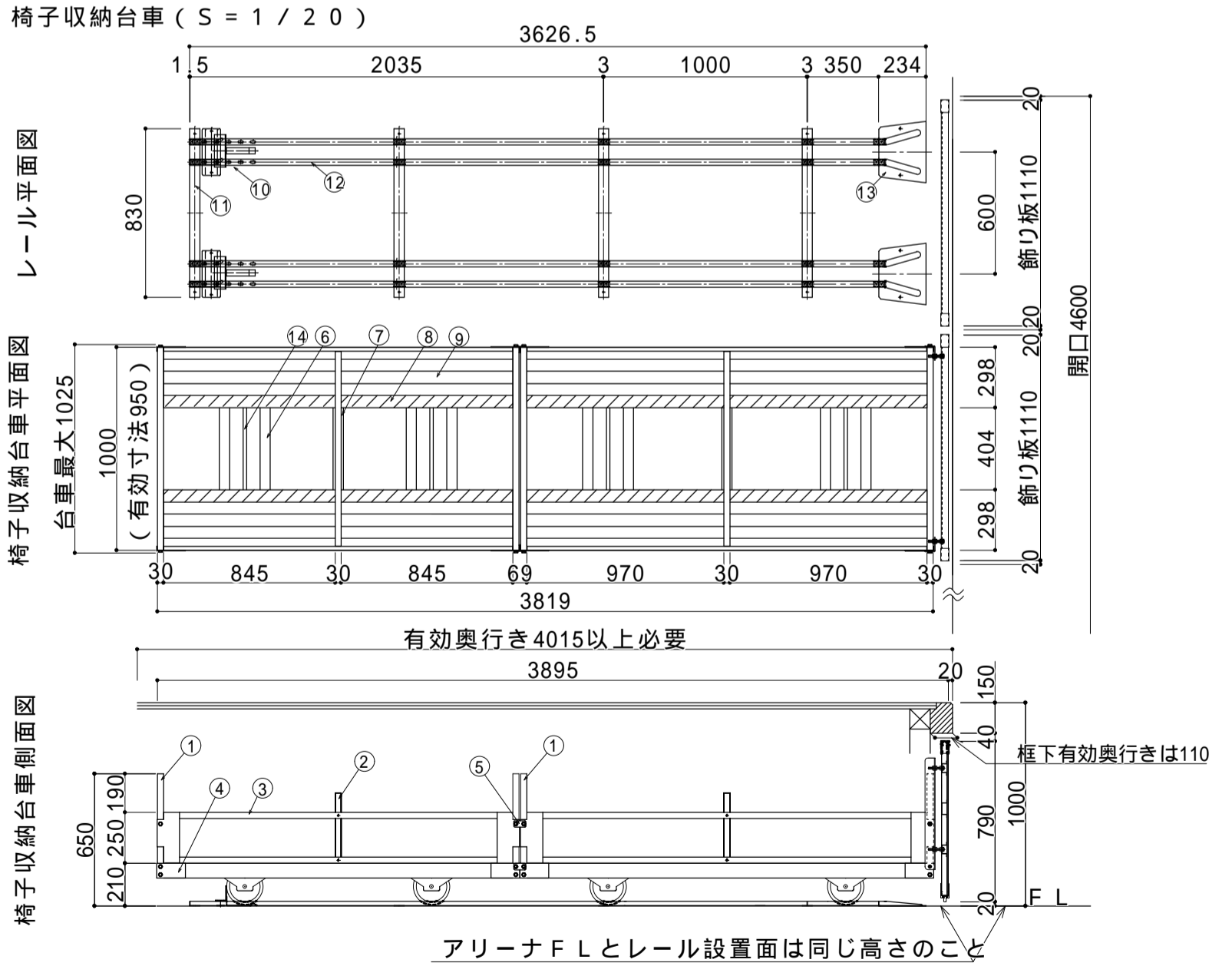
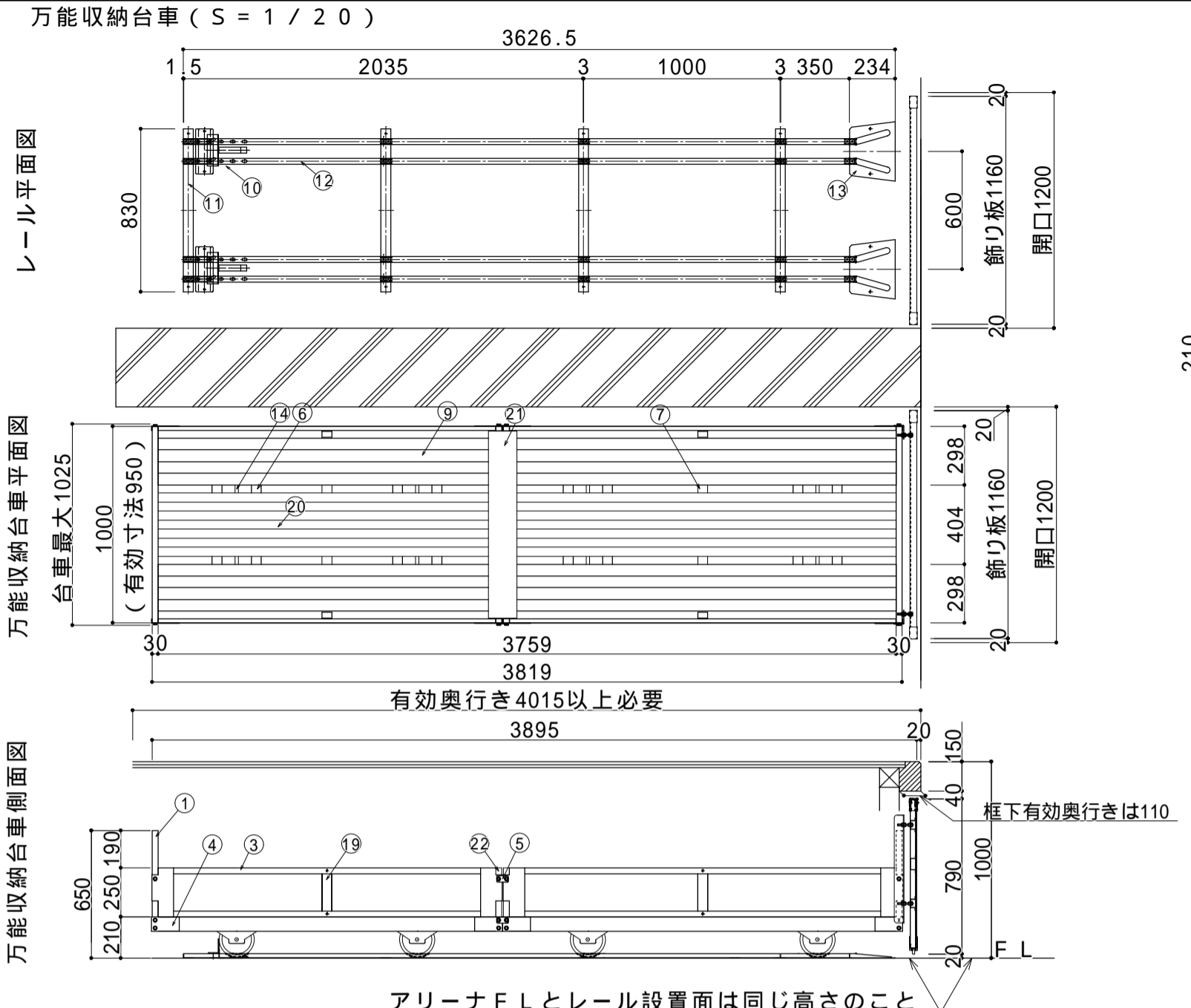
体育施設工事一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様
1	SS707	5台	椅子収納台車 キャスター浮上式 L=3,750
2	SS708	1台	万能台車 キャスター浮上式 L=3,750
3		519㎡	サンダー掛け ウレタン塗装 3回塗 (アリーナ・ステージ・控室)

コートライン一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
2	SL212	2面	(サブ)ミニバスケットボールコート 16,000×10,000 実線		50mm	
3	SL213	1面	(メイン)一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 実線		50mm	
4	SL213	1面	(メイン)小学6人制バレーボールコート 16,000×8,000 実線		50mm	
5	SL215	3面	(サブ)バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 実線		40mm	

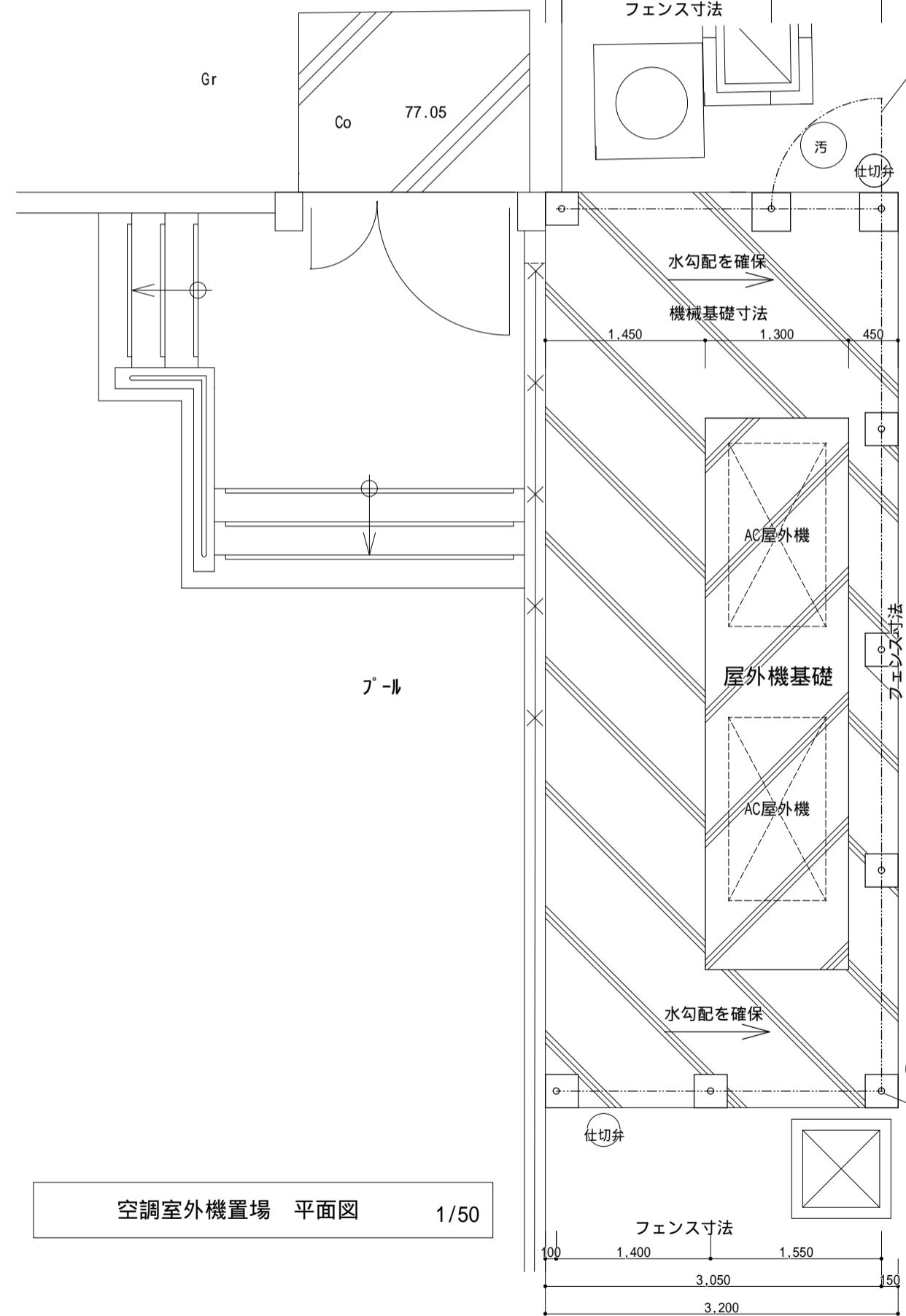
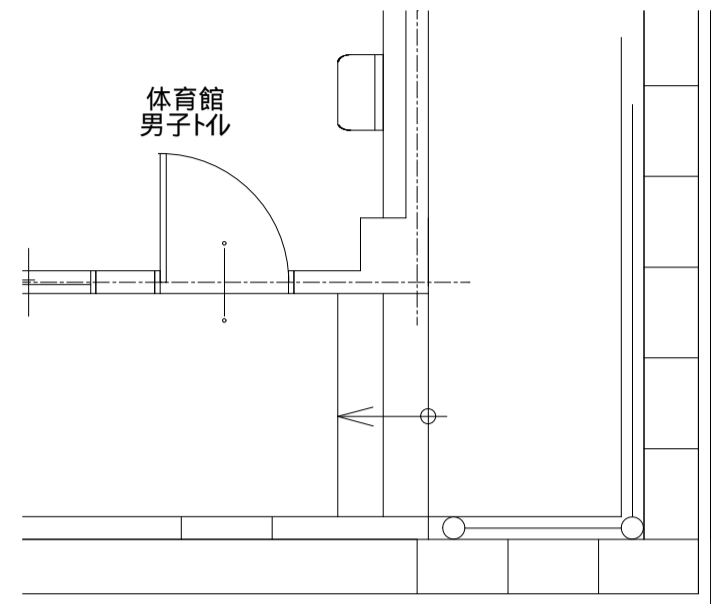
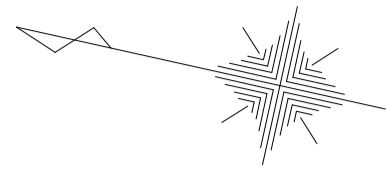
既存バスケット台、床金具芯に合わせること



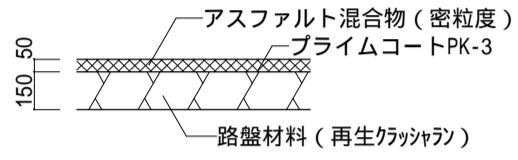
- 仕様
- MTトラック 椅子収納台車 5ビット5台
寸法 W1000 x L3750 x H650
 - MTトラック 万能収納台車 1ビット1台
寸法 W1000 x L3750 x H650
 - 飾り板 6ビット6枚
 - レール下地(モルタル金ゴテ仕上げ)は別途工事

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押手	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
2	椅子倒れ止め	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
3	サイド枠	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結PLT1	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8	椅子滑り止め	ポリエチレンシート	
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪ガイドベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車軸	丸棒 20	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 180 MTトラック専用車輪	本体は亜鉛メッキ
17	オ-ルアンカ-	M8 x 40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面ポリエステル化粧合板(カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付
19	サイド枠倒れ止	鋼材 4.5t	亜鉛メッキ
20	中床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
21	連結PLT2	鋼板 2.3t	黒色焼付
22	パイプ	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ

既存収納台車及びレール撤去の上新設

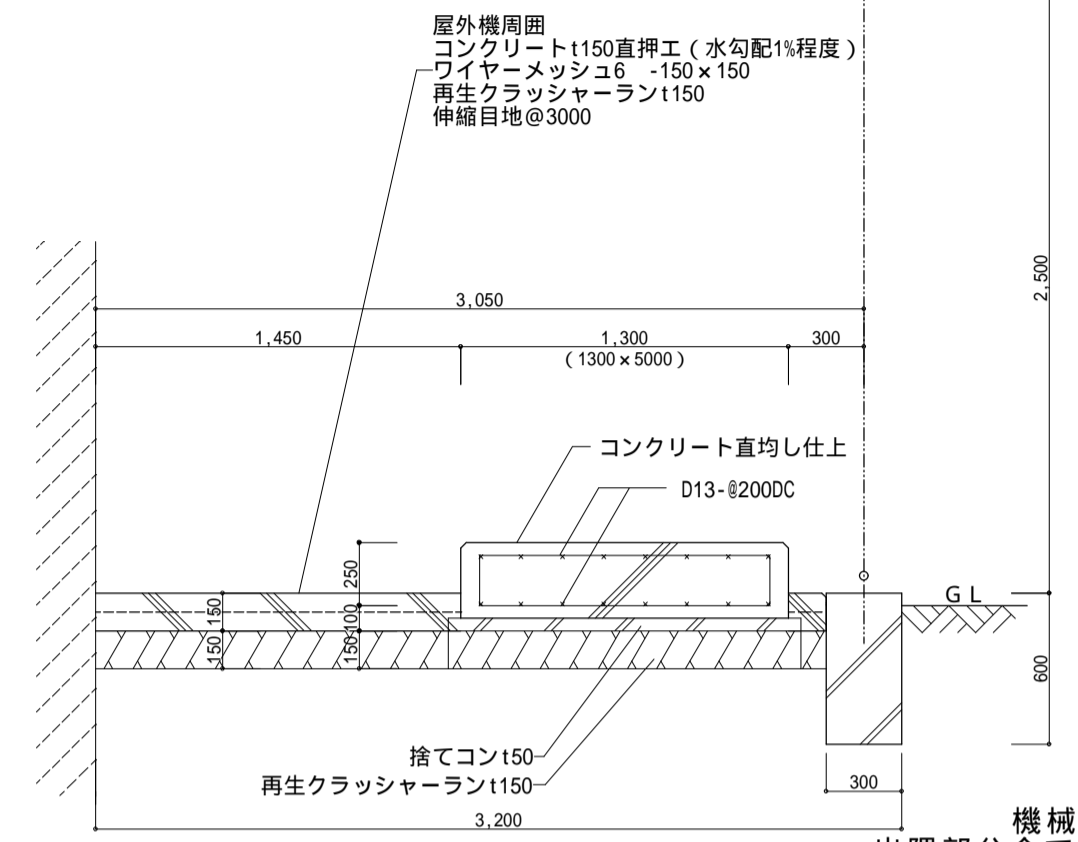


□ : アスファルト舗装撤去(路盤含む)



アスファルト舗装 詳細図 1/30

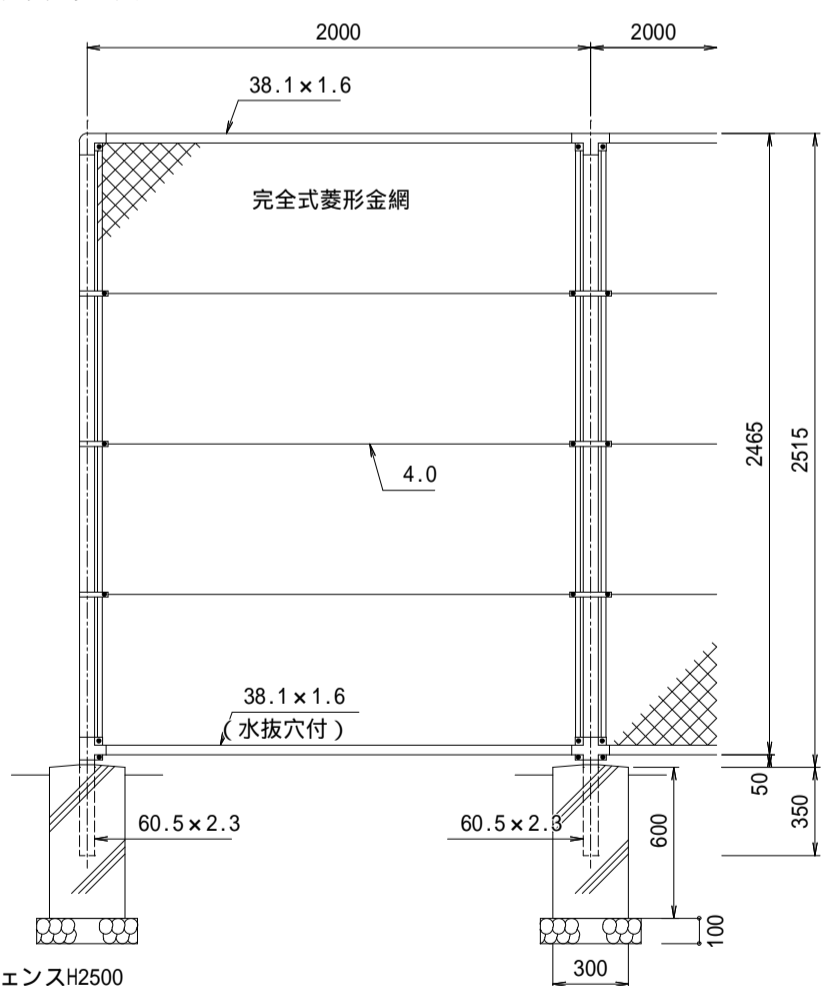
ネットフェンス片開き門W1000×H2500
戸当り付き両面回転施錠,南京錠付
独立既成コンクリート基礎: 350×350×H600



機械基礎詳細図 1/30

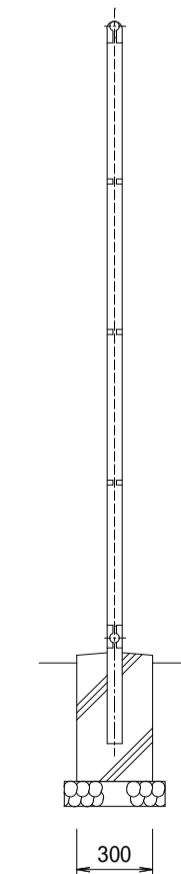
主要材料
コンクリート Fc=21-15-20
鉄筋 D16以下 SD295

アスファルト舗装(復旧)
密粒度アスコンA-5-15
アスファルト混合物t50
プライムコートPK-3
再生クラッシャーランt150

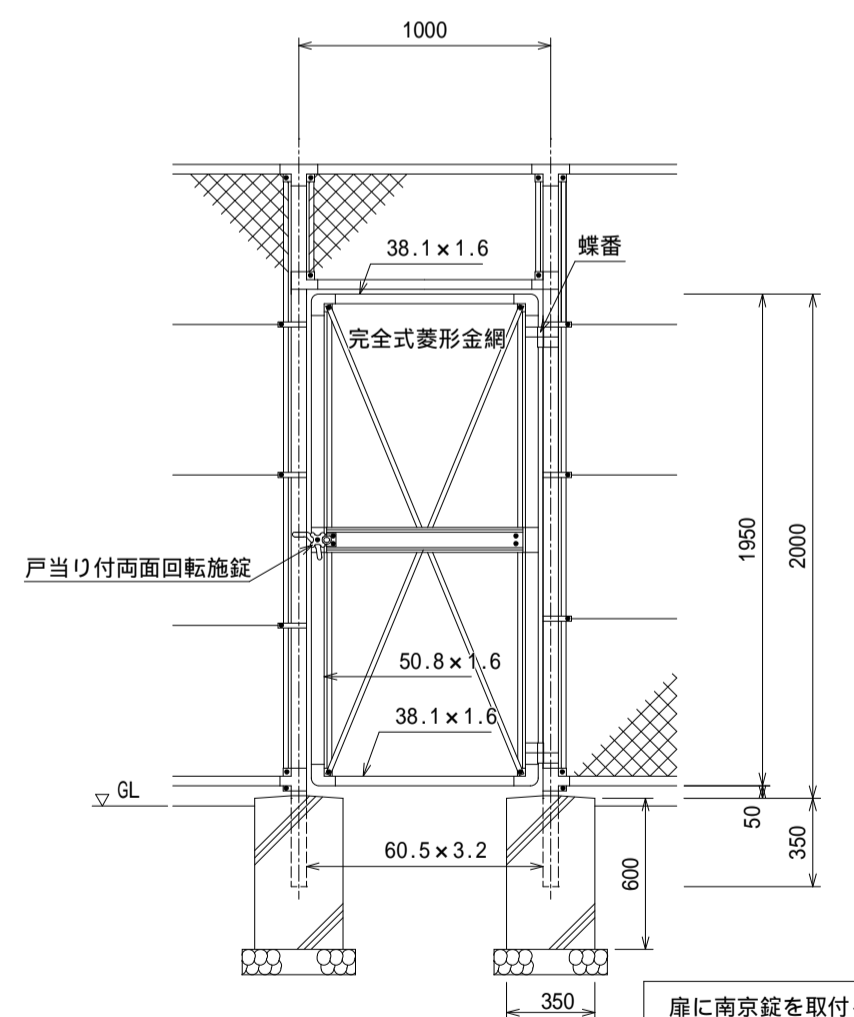


フェンス詳細図 1/30

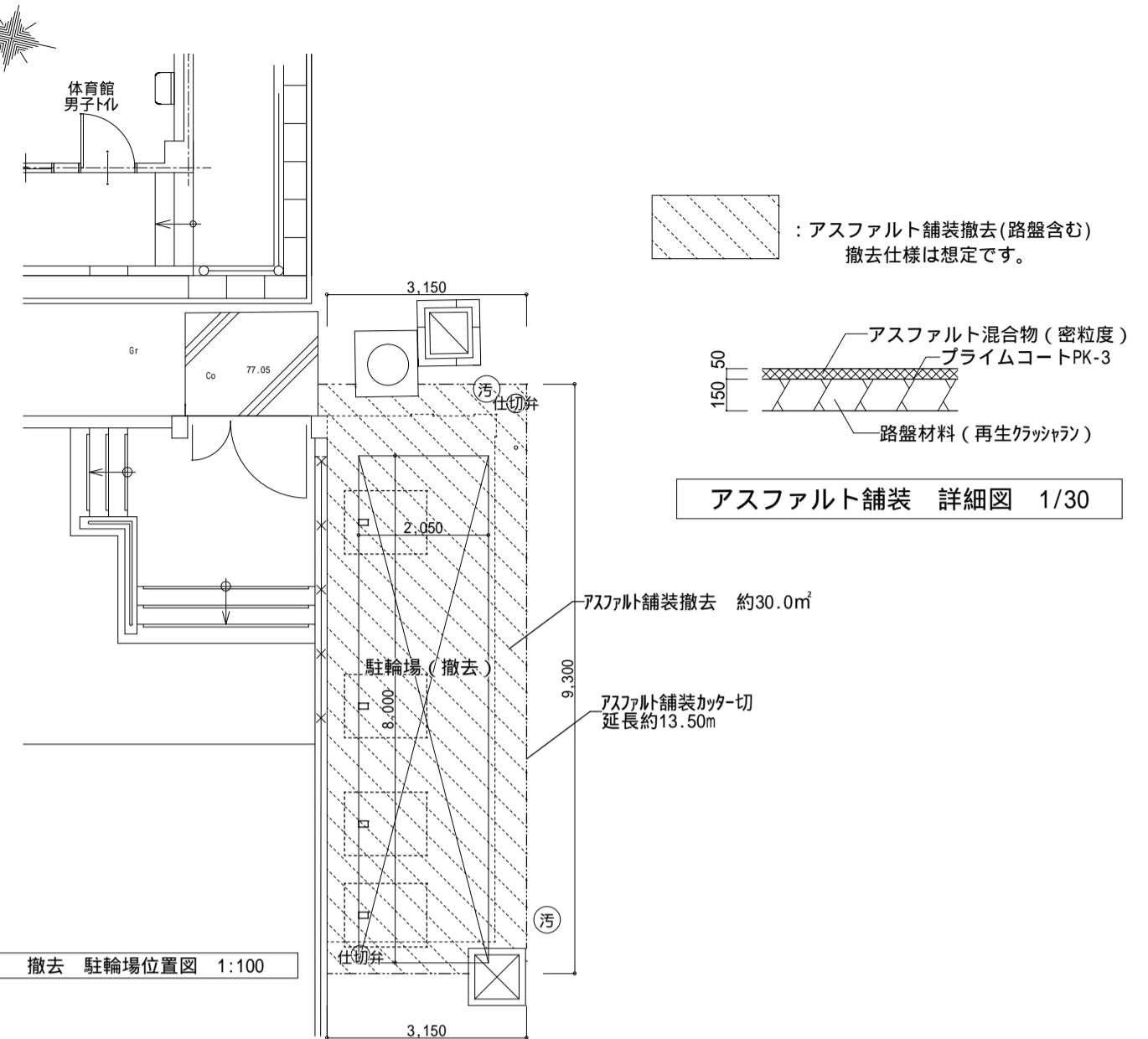
ネットフェンスH2500
独立既成コンクリート基礎: 300×300×H600



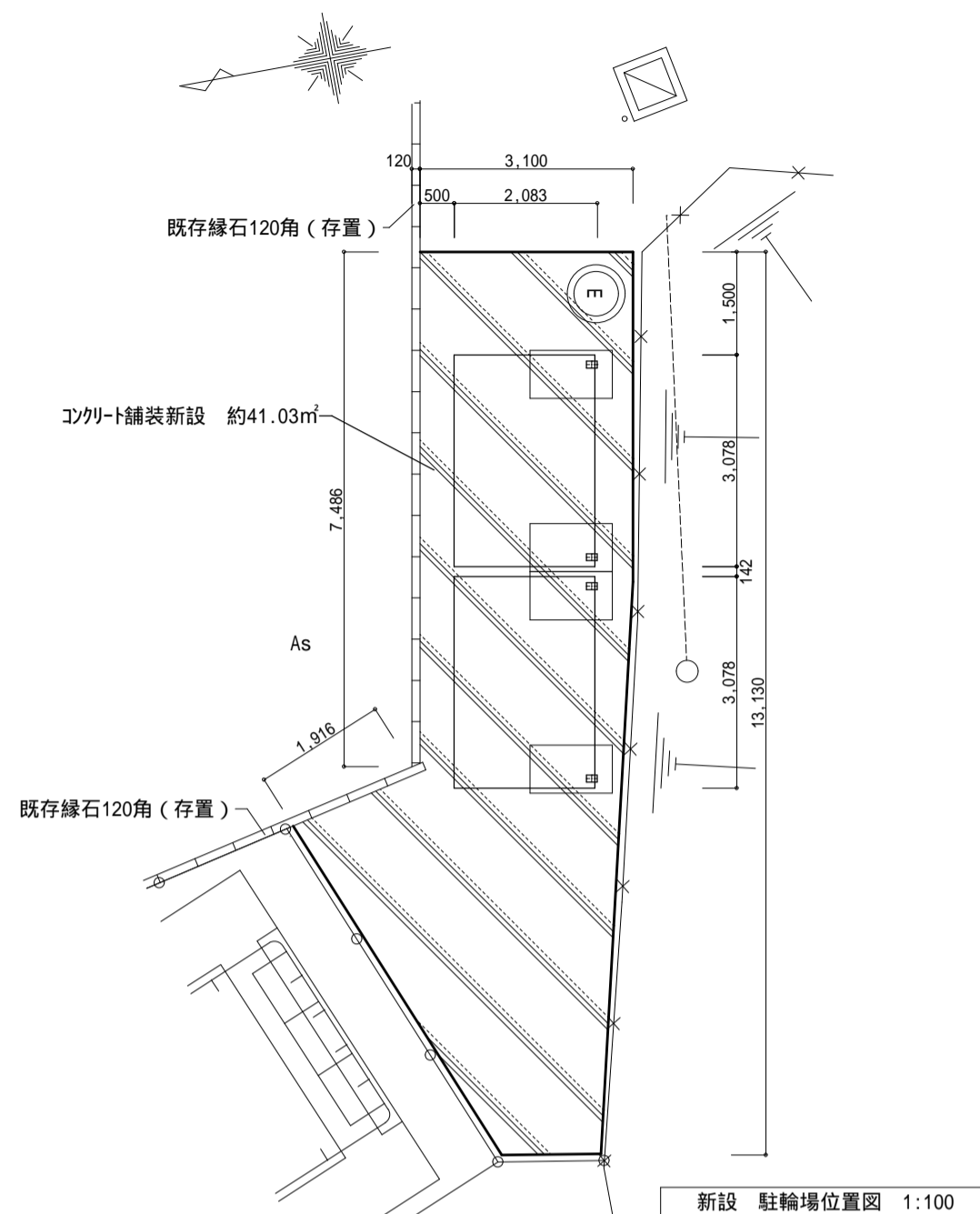
ネットフェンスH2500: 朝日スチール工業PCフェンス同等品
(亜鉛メッキ仕上げ, 金網規格 3.2×40)



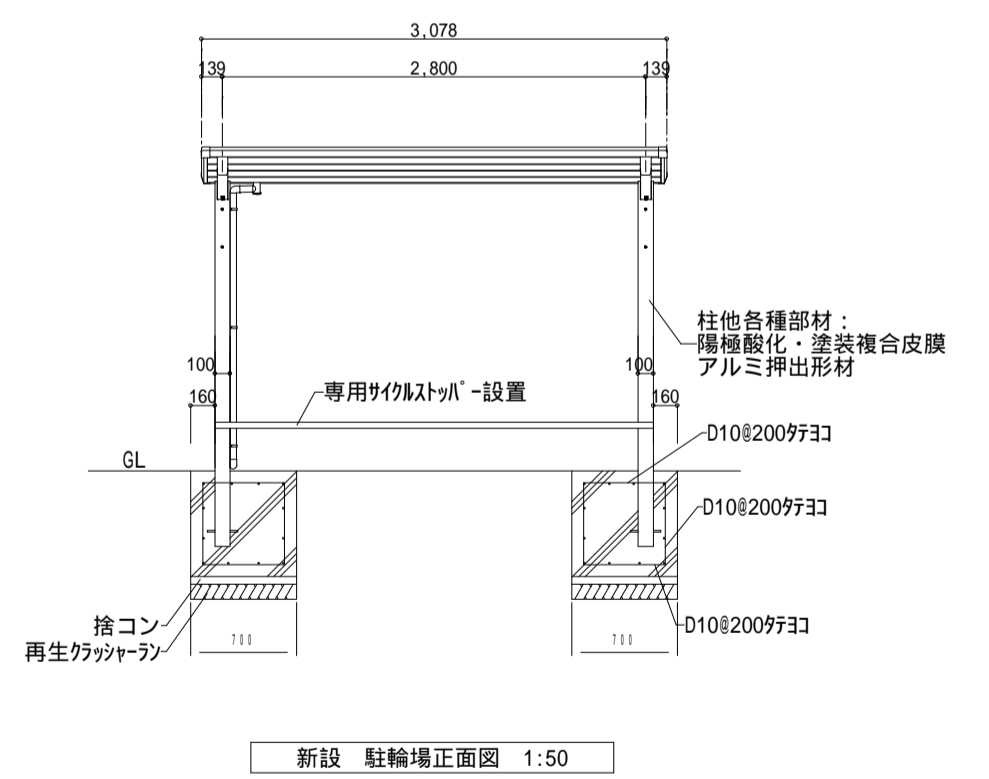
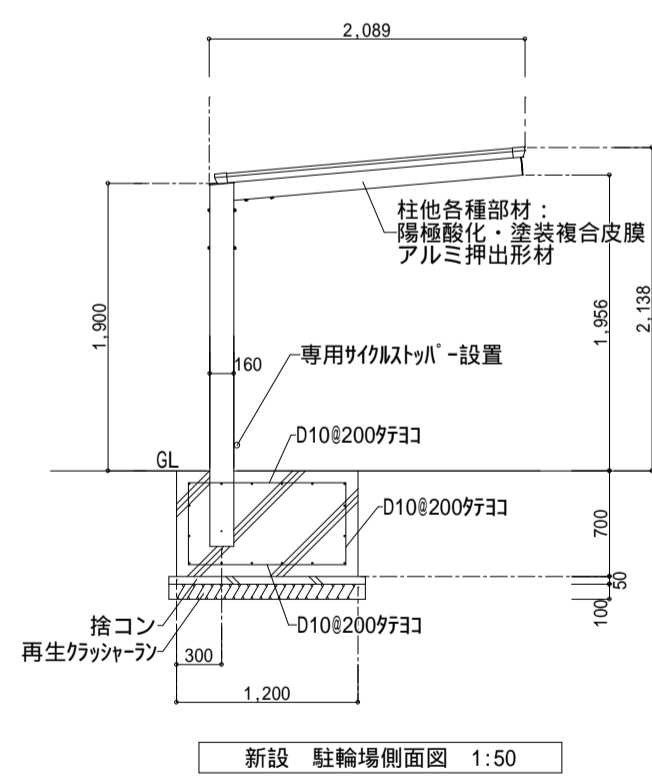
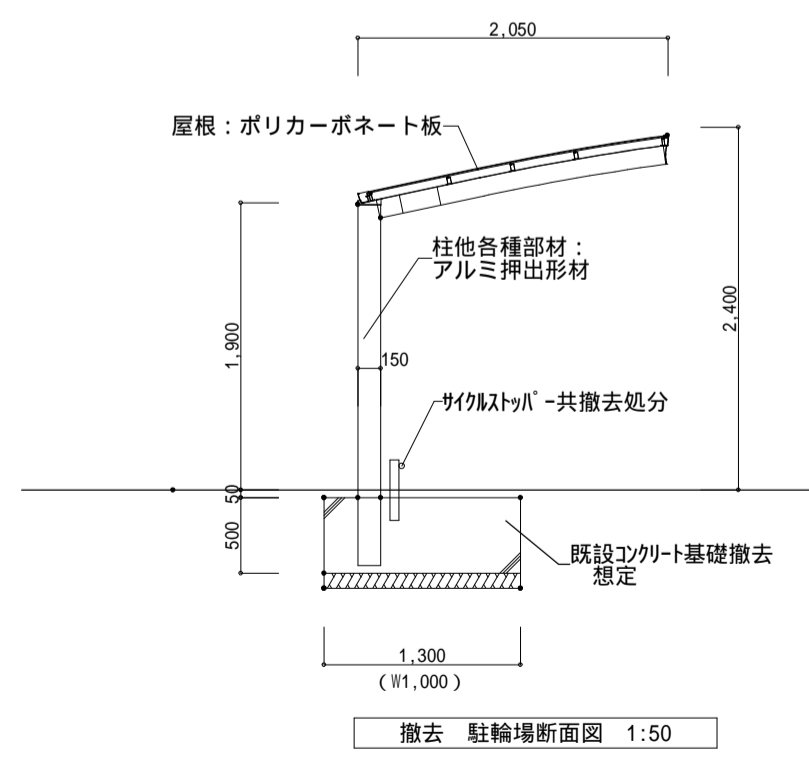
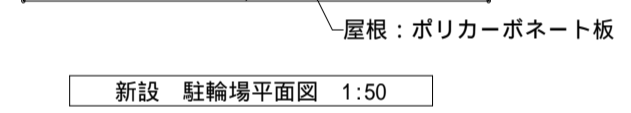
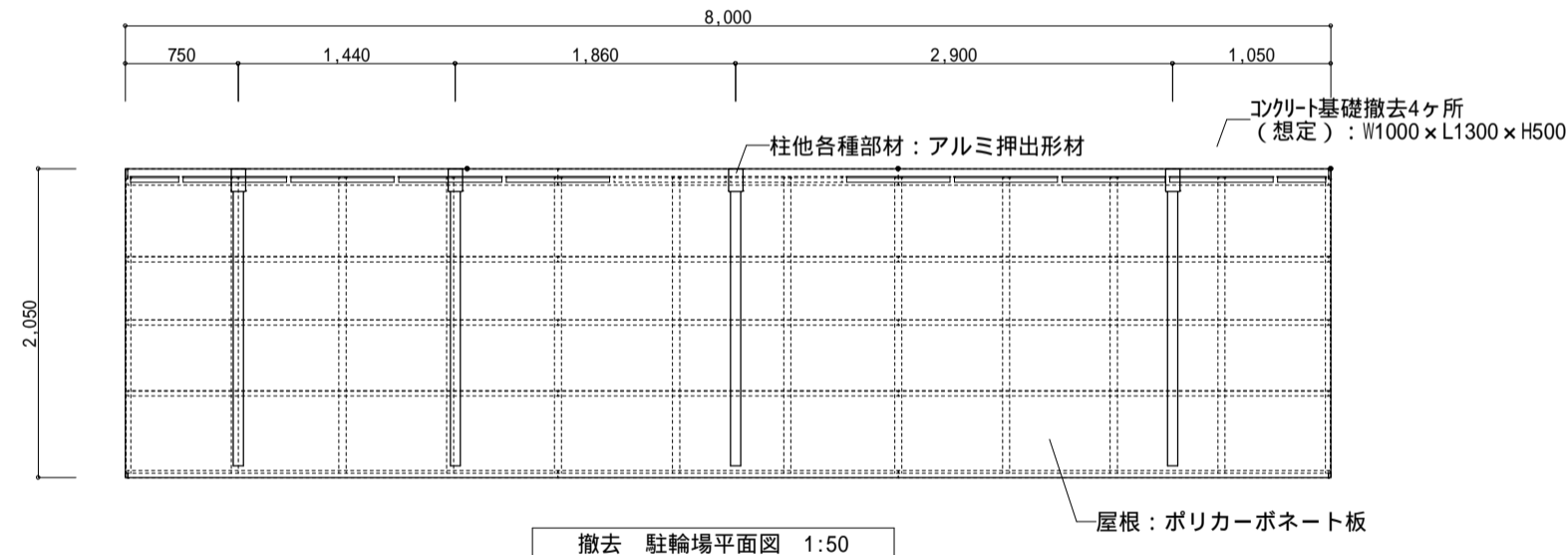
フェンス扉詳細図 1/30



アスファルト舗装 詳細図 1/30



コンクリート舗装 詳細図 1/30

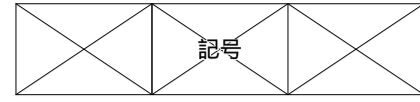


主要材料
コンクリート Fc=21-15-20
鉄筋 D16以下 SD295

アルミ製サイクリストップパ- オーフソタイプ ホリカ屋根600N/m²
+専用サイクリストップパ-
四国化成工業「VFC-P2131」同等品

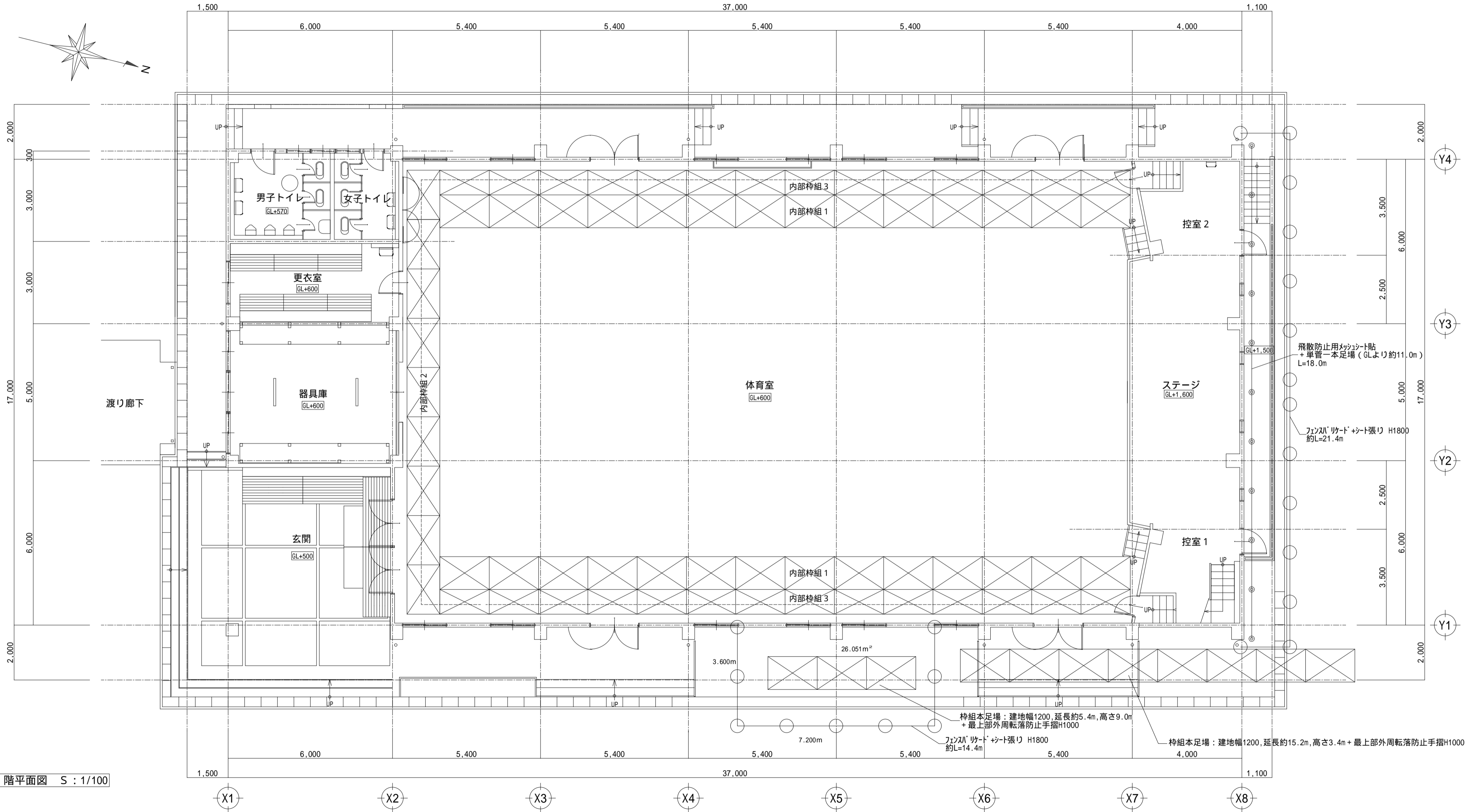
備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025. 3 .	図面番号 A - 26
		図面名	駐輪場詳細図	縮尺	1/100・1/50・1/30	

【凡例】



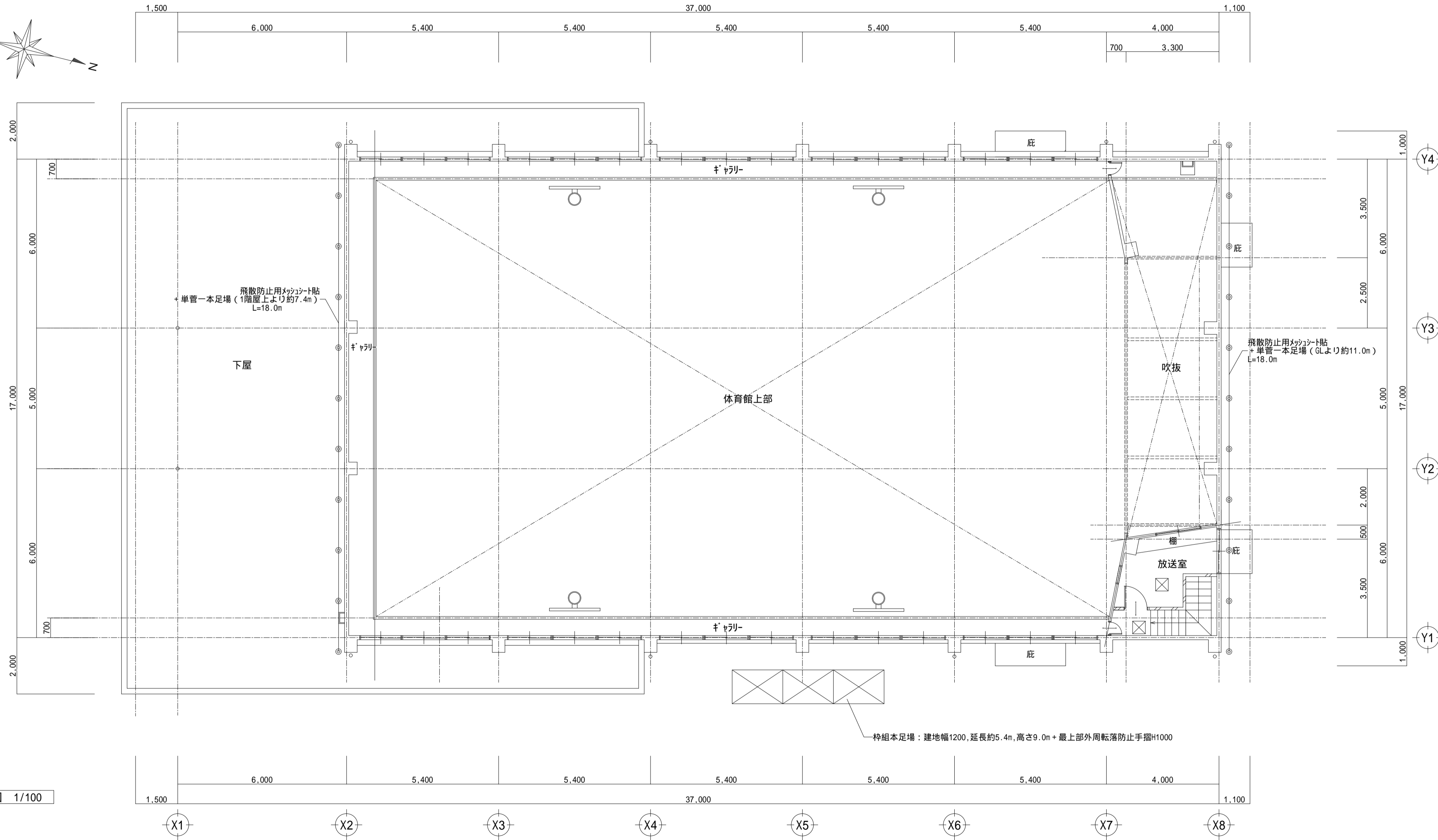
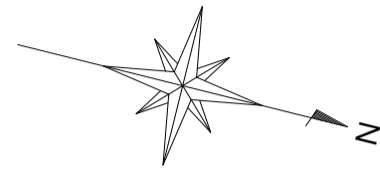
体育室アリーナについて、足場より外側1m程度の範囲について床養生をする。
(ビニルシートの上、合板厚12mm)

- 内部枠組 1 枠組本足場：建地幅1200, 延長約50.4m, 高さ1800 + 最上部外周転落防止手摺H1000
- 内部枠組 2 枠組本足場：建地幅1200, 延長約16.2m, 高さ1800 + 最上部外周転落防止手摺H1000 内部枠組 1 と連結
- 内部枠組 3 枠組本足場：建地幅900, 延長約50.4m, 高さ1800 + 最上部外周転落防止手摺H1000 内部枠組 1, 2 と連結



1階平面図 S : 1/100

<p>備考</p>	<p>吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	<p>工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事 図面名 仮設計画 1階平面図 (参考図)</p>	<p>設計年月日 2025.03 縮尺 1/100</p>	<p>図面番号 A-27</p>
-----------	--	--	-----------------------------------	------------------



2階平面図 1/100

備考

吉村建築事務所
1級建築士登録第248236号 吉村 薫

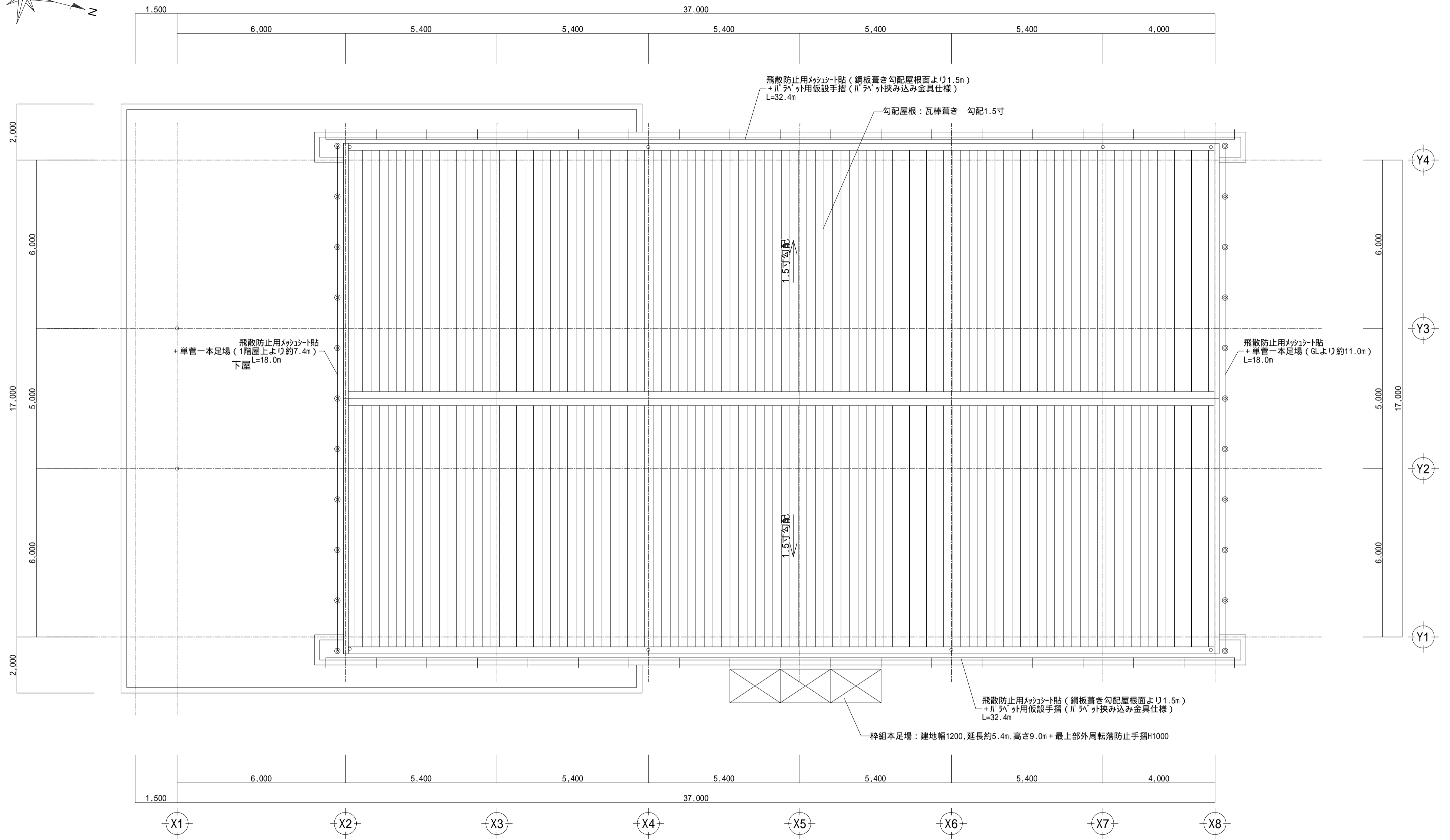
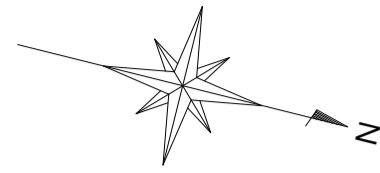
工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事

図面名 仮設計画2階平面図 (参考図)

設計年月日 2025.03

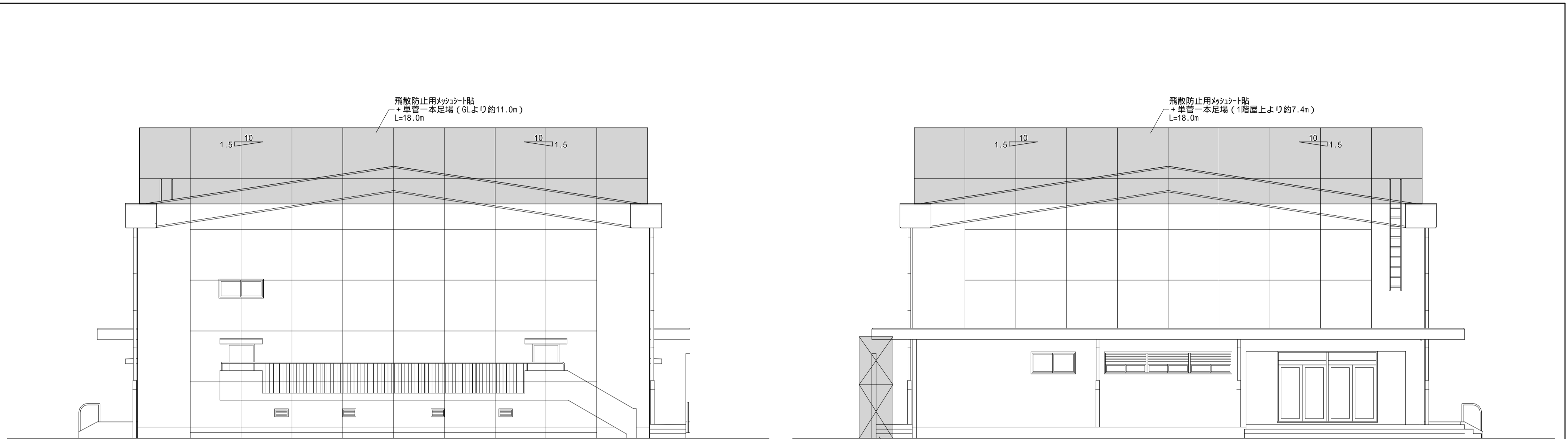
縮尺 1/100

図面番号 A-28



屋根伏図 1:100

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名 大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日 2025.03	図面番号 A-29
		図面名 仮設計画屋根伏図 (参考図)	縮尺 1/100	



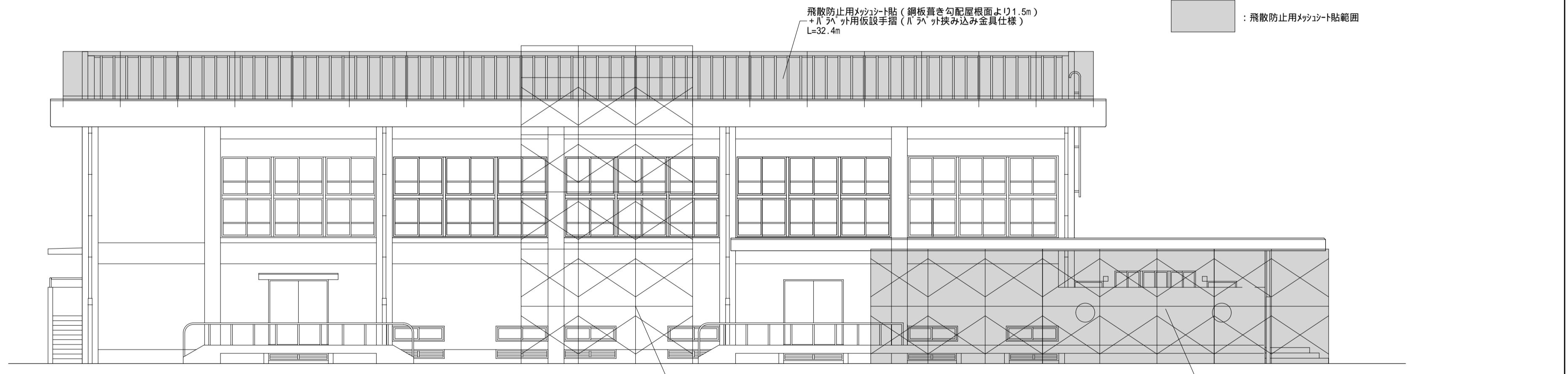
Y1 Y2 Y3 Y4

北側立面図 1:100

Y4 Y3 Y2 Y1

南側立面図 1:100

— 桝組本足場：建地幅1200, 延長約15.2m, 高さ3.4m + 最上部外周転落防止手摺H1000



X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

西側立面図 1:100

飛散防止用メッシュ貼 (鋼板葺き勾配屋根面より1.5m)
+ 八ヶ刈用仮設手摺 (八ヶ刈外挟み込み金具仕様)
L=32.4m

■ : 飛散防止用メッシュ貼範囲

— 桝組本足場：建地幅1200, 延長約5.4m, 高さ9.0m + 最上部外周転落防止手摺H1000

— 桝組本足場：建地幅1200, 延長約15.2m, 高さ3.4m + 最上部外周転落防止手摺H1000

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025.03	図面番号 A-30
		図面名	仮設計画北・南・西立面図 (参考図)	縮尺	1/100	

電気設備工事特記仕様書 - 1

【工事概要】

- 1 工事場所 宇治市広野町大開35
2 建物概要

Table with columns: 建物名, 構造, 階数, 延床面積(m2), 消防法令別表第一耐震安全性の分類, 備考. Includes rows for 甲乙 and 工事区分記載.

3 工事科目

Table with columns: 工事科目, 体育館, 印をついたものを適用し、各一式とする. Lists various electrical equipment items like 電灯設備, 動力設備, etc.

【特記事項】

- 1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」...
2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
2 特記事項
項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for equipment, safety, and construction methods.

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for safety, performance, and equipment specifications.

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Contains detailed technical requirements for safety, performance, and equipment specifications.

電気設備工事特記仕様書-2

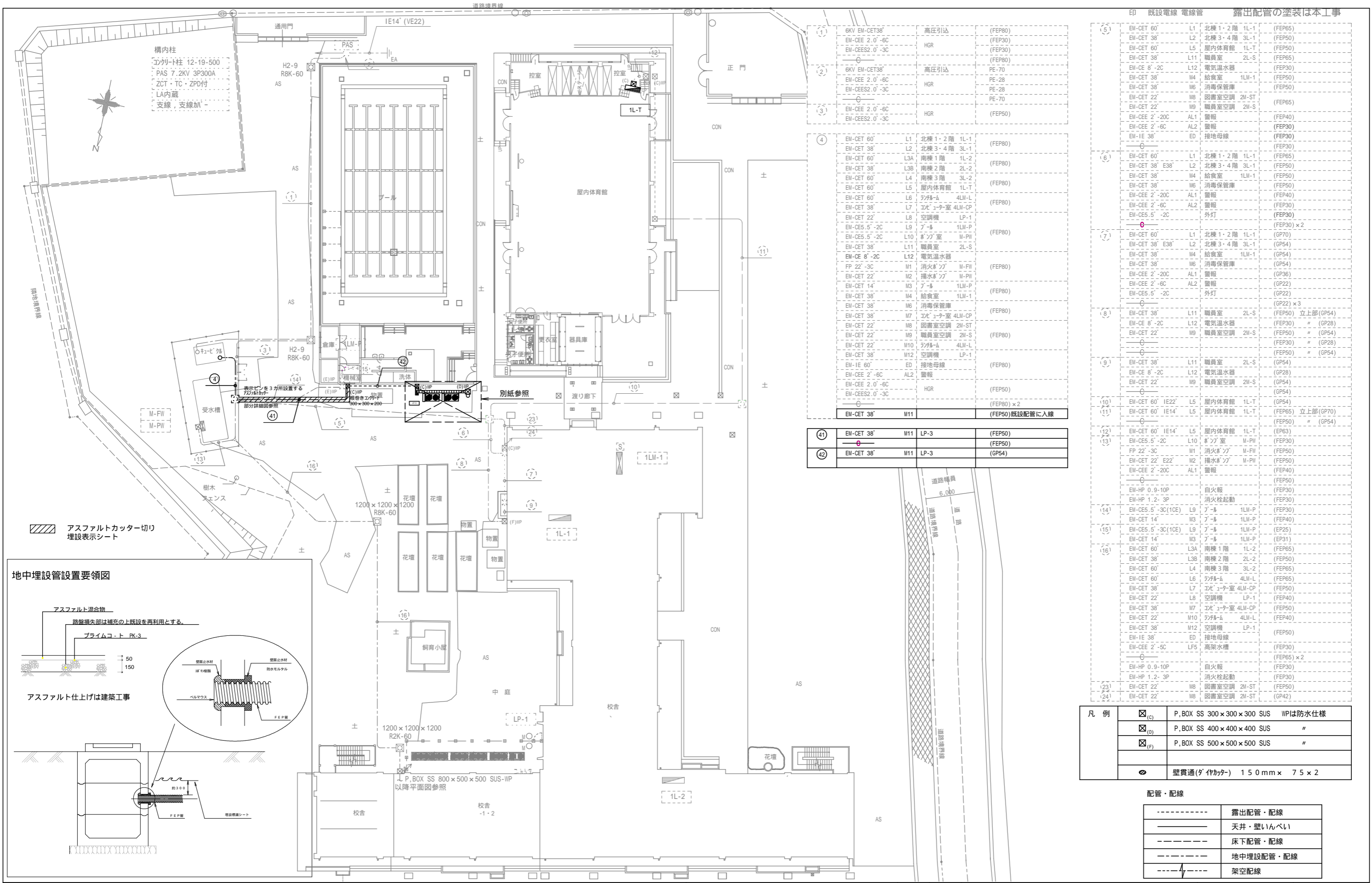
章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	直流電源装置	用途 建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 その他 過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。
	交流無停電電源装置(UPS)	用途 () 方式 一般形 簡易形
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	形式	オープン形 簡易形 キュービクル
	連続運転可能時間	10時間(乙) 72時間(甲)
	発電機	電気方式 三相3線式 電圧 210V 6.6kV 415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	原動機	種別 ガスタービン ディーゼル機関 ガスエンジン マイクロガスタービン 燃料電池 コージェネレーション kW(PS)以上
	燃料	電気式 空気式 ラジエーター式 水槽循環式 現地負荷試験 行う 行わない
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視盤による監視
太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下(長辺 m×短辺 m)	
	系統連系	受動 能動
	パワーコンディショナ出力	相 線式 V kW以上
	逆潮流	有 無
	交流出力電圧	100V 200V
	出力電気方式	三相3線式 単相3線式 単相2線式
	外部移相	有 無
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線
	保安器用接地	本工事 別途工事
構内交換設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	形式	電子交換機 ボタン電話装置
	工事種類	マルチサイン装置 出退表示設備 時刻表示設備
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	親時計及び付属装置	CR-PM CW-PM プログラマタイマ(カード式) キー式
	子時計	特記なきものは SWA33-GPB2
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	増幅器	用途 全館放送用(一般放送 非常放送) ローカル放送用 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
拡声設備	スピーカー	特記なきものは SC6Hi-1V3-M
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事内容	音声誘導装置 検出方式(磁気式 無線式 画像認識) インターホン 電話式 相互式 テレビインターホン 親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。 トイレ等呼出し装置 1室 3室 5室 呼出しボタン 壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする) 壁付押しボタン(押しボタンの長さは1.2m程度とする) 通話機能 受付呼出し装置 誘導音
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV
	アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼管 一般構造用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ) 圧力配管用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)
	電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項目	特記事項
監視カメラ	工事範囲	配管 配線 機器取付
	画像	カラー 白黒
	伝送方式	ネットワーク伝送方式 デジタル同軸伝送方式 ○
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	車両検出方式	ループコイル方式 光線方式
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置 入退室管理制御装置
	自動火災報知装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 形 級 回路 壁掛形 自立形 単独形 複合形 副受信機 窓 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 光警報装置 消火ポンプ始動 消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。) 機器収容箱 耐火柱一体形 単独形
	自動閉鎖装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 運動制御器 同線【予備電源(蓄電池)内蔵】 単独 自火報受信機と一体
	自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
火災報知設備	非常警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 電気方式 DC24V 電源装置 非常電源(蓄電池) 自動火災報知設備と兼用
	ガス漏れ火災警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 単独形 自火報受信機と一体 ガスの種類 都市ガス(13A) 液化石油ガス
	諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	監視方式	警報盤 監視制御装置
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	非接地電源用分電盤	キャビネット 鋼製 ステンレス製
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出しボタン 有線式 無線式 防湿 防湿
	その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	工事範囲	配管 配線 機器取付
構内配線	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V 単2線式 (100V 200V)
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP) 埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面)から300mm以上とする。 架空線 電柱 速心カプレストレストコンクリートポール
	区分開閉器	高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 架空引込用 地中引込用 構 耐中埋じん用 耐重埋じん用 形式 引外し装置付き(SOG形) 引外し装置なし 避雷器内蔵
	マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押し型)」による(○よらない)
	余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
	端子、高圧ケーブル端未処理	一般用 耐塩用 重耐塩用
	避雷器	屋外形 耐塩形
	装柱材	一般用 耐塩形
	外灯	基礎 本工事 別途工事 外灯ポールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。
構内通信線	工事範囲	配管 配線 機器取付
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP) 埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面)から300mm以上とする。 架空線 電柱 速心カプレストレストコンクリートポール
	マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 蓋の文字 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。

章	項目	特記事項
電力調査	調査範囲	測定のみ 対策工事実施設計書作成まで 工事前 工事中 完成後
	測定時期	箇所
	測定箇所	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。
	測定内容	
	別表 付属品・予備品	イーザーキャビネット 箱 キーボックス テスター マンホールフック 工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スパナ、ハンマー) 受変電設備・盤 ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。
	試験・検査一覧	工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。 検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。 受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの 工事着手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。 工事前・工事後に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。) 着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 後施工アンカ・の施工確認試験(引張試験による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。 例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等
	その他	試験機器類の校正記録を提出する。 停電工事の必要な時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。 尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。 工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。 分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針(令和4年度版)の資料5(P1119)に基づき施工する。 鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探直機で開口位置を確認する。 整備不良の電動工具等持ち込まない。 構外搬出適切産廃処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。 交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。 カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。 主要なケーブル内にはケーブル札を取り付ける。

機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
取引用計器	地上-上端	2,000	端子盤	床下-上端	1,900
引込開閉器	〃	1,800	保安器函	天井下-上端	200
			壁付位置ボックス	床上-中心	300
			〃(和室)	〃	150
壁掛型制御盤	床上-上端	1,900			
手元開閉器	床上-中心	1,500	壁掛スピーカー	天井下-上端	200
操作スイッチ	〃	1,300	アッテネーター	床上-中心	1,300
			壁掛型親時計	床上-上端	1,900
			子時計	天井下-上端	200
分電盤	床上-上端	1,900			
スイッチ(一般)	床上-中心	1,300	壁掛インターホン	床上-中心	1,500
〃(身障者便所)	〃	900	〃(身障者)	〃	1,100
コンセント(一般)	〃	300	壁付位置ボックス	〃	300
〃(和室)	〃	150	〃(和室)	〃	150
〃(台上)	台上-中心	300			
〃(土間)	床上-中心	1,300	インターホン		
ブラケット(一般)	〃	2,100	機器収納函	天井下-上端	200
〃(踊場)	〃	2,500	直列ユニット	床上-中心	300
〃(鏡上)	鏡上端-中心	150	〃(和室)	〃	150



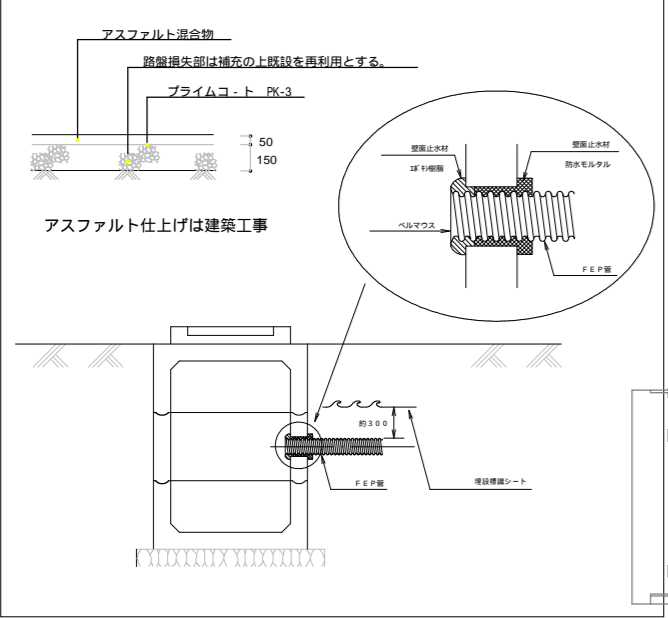
印 既設電線 電線管 露出配管の塗装は本工事

(5)	EM-CET 60	L1	北棟 1・2 階 1L-1	(FEP65)
	EM-CET 38	L2	北棟 3・4 階 3L-1	(FEP50)
	EM-CET 60	L5	屋内体育館 1L-T	(FEP50)
	EM-CET 38	L11	職員室 2L-S	(FEP65)
	EM-CE 8'-2C	L12	電気温水器	(FEP30)
	EM-CET 38	M4	給食室 1LM-1	(FEP50)
	EM-CET 38	M6	消毒保管庫	(FEP50)
	EM-CET 22	M8	図書室空調 2M-ST	(FEP65)
	EM-CET 22	M9	職員室空調 2M-S	(FEP50)
	EM-CEE 2'-20C	AL1	警報	(FEP40)
	EM-CEE 2'-6C	AL2	警報	(FEP30)
	EM-IE 38'	ED	接地母線	(FEP30)
				(FEP30)
(6)	EM-CET 60	L1	北棟 1・2 階 1L-1	(FEP65)
	EM-CET 38 E38	L2	北棟 3・4 階 3L-1	(FEP50)
	EM-CET 38'	M4	給食室 1LM-1	(FEP50)
	EM-CET 38'	M6	消毒保管庫	(FEP50)
	EM-CEE 2'-20C	AL1	警報	(FEP40)
	EM-CEE 2'-6C	AL2	警報	(FEP30)
	EM-CE5.5'-2C		外灯	(FEP30) × 2
(7)	EM-CET 60	L1	北棟 1・2 階 1L-1	(GP70)
	EM-CET 38 E38	L2	北棟 3・4 階 3L-1	(GP54)
	EM-CET 38'	M4	給食室 1LM-1	(GP54)
	EM-CET 38'	M6	消毒保管庫	(GP54)
	EM-CEE 2'-20C	AL1	警報	(GP36)
	EM-CEE 2'-6C	AL2	警報	(GP22)
	EM-CE5.5'-2C		外灯	(GP22) × 3
(8)	EM-CET 38'	L11	職員室 2L-S	(FEP50) 立上部 (GP54)
	EM-CE 8'-2C	L12	電気温水器	(FEP30) " (GP28)
	EM-CET 22	M9	職員室空調 2M-S	(FEP50) " (GP54)
				(FEP30) " (GP28)
				(FEP50) " (GP54)
(9)	EM-CET 38	L11	職員室 2L-S	(GP54)
	EM-CE 8'-2C	L12	電気温水器	(GP28)
	EM-CET 22	M9	職員室空調 2M-S	(GP54)
				(GP54)
(10)	EM-CET 60 IE22	L5	屋内体育館 1L-T	(GP54)
(11)	EM-CET 60 IE14	L5	屋内体育館 1L-T	(FEP65) 立上部 (GP70)
				(FEP50) " (GP54)
(12)	EM-CET 60 IE14	L5	屋内体育館 1L-T	(EP63)
(13)	EM-CE5.5'-2C	L10	ポンプ室 M-PW	(FEP30)
	FP 22'-3C	M1	消火ポンプ M-FW	(FEP50)
	EM-CET 22 E22	M2	揚水ポンプ M-PW	(FEP50)
	EM-CEE 2'-20C	AL1	警報	(FEP40)
				(FEP50)
	EM-HP 0.9-10P		自火報	(FEP30)
	EM-HP 1.2-3P		消火栓起動	(FEP30)
(14)	EM-CE5.5'-3C(1CE)	L9	ポンプ 1LM-P	(FEP30)
	EM-CET 14'	M3	ポンプ 1LM-P	(FEP40)
(15)	EM-CE5.5'-3C(1CE)	L9	ポンプ 1LM-P	(EP25)
	EM-CET 14'	M3	ポンプ 1LM-P	(EP31)
(16)	EM-CET 60	L3A	南棟 1 階 1L-2	(FEP65)
	EM-CET 38	L3B	南棟 2 階 2L-2	(FEP50)
	EM-CET 60	L4	南棟 3 階 3L-2	(FEP65)
	EM-CET 60	L6	ラヂオ室 4LM-L	(FEP65)
	EM-CET 38	L7	コピユーチヤ室 4LM-CP	(FEP50)
	EM-CET 22	L8	空調機 LP-1	(FEP40)
	EM-CET 38	M7	コピユーチヤ室 4LM-CP	(FEP50)
	EM-CET 22	M10	ラヂオ室 4LM-L	(FEP40)
	EM-CET 38	M12	空調機 LP-1	(FEP50)
	EM-IE 38'	ED	接地母線	(FEP50)
	EM-CEE 2'-5C	LFS	高架水槽	(FEP30)
				(FEP65) × 2
	EM-HP 0.9-10P		自火報	(FEP30)
	EM-HP 1.2-3P		消火栓起動	(FEP30)
(23)	EM-CET 22	M8	図書室空調 2M-ST	(FEP50)
(24)	EM-CET 22	M8	図書室空調 2M-ST	(GP42)

(41)	EM-CET 38'	M11	LP-3	(FEP50)
				(FEP50)
(42)	EM-CET 38'	M11	LP-3	(GP54)

アスファルトカッター切り埋設表示シート

地中埋設管設置要領図

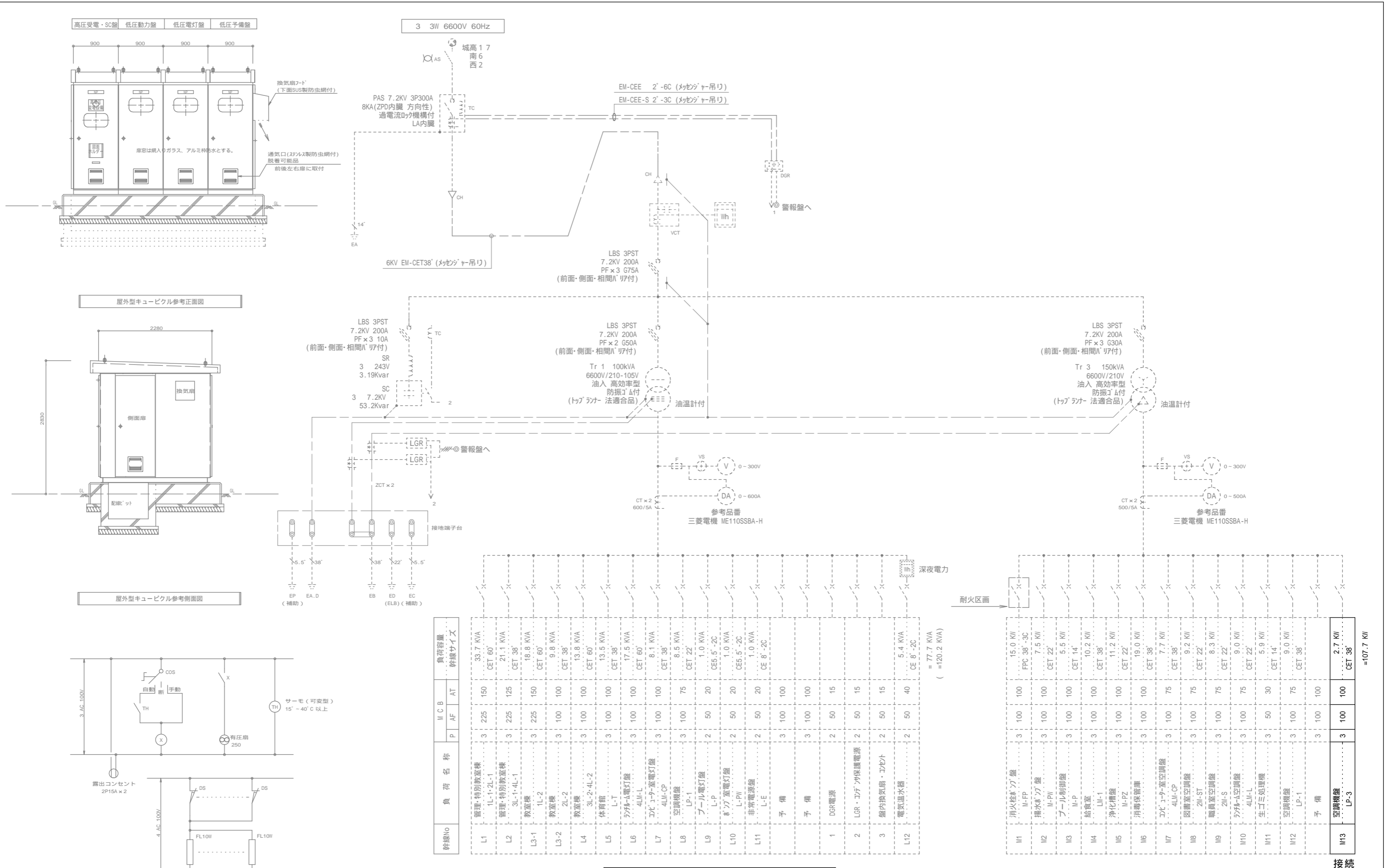


凡例

☒ _(C)	P,BOX SS 300×300×300 SUS	WIは防水仕様
☒ _(D)	P,BOX SS 400×400×400 SUS	"
☒ _(F)	P,BOX SS 500×500×500 SUS	"
⊖	壁貫通(ダケカッター) 150mm×75×2	

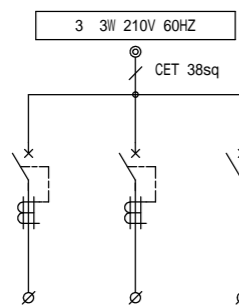
配管・配線

---	露出配管・配線
---	天井・壁いんべい
---	床下配管・配線
---	地中埋設配管・配線
---	架空配線



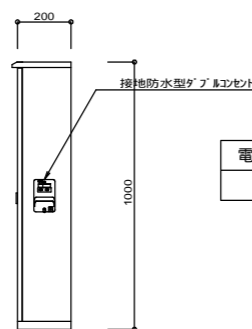
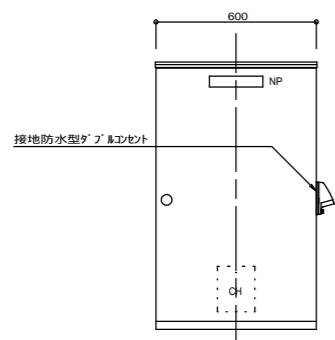
既設 屋外型高圧キュービクル 単線結線図

分電盤結線図 LP-3 新設



記号	GHP-560	GHP-560	予備
負荷名称	空調室外機	空調室外機	
開閉器	ELCB	ELCB	MCCB
(AF/AT)	3P 50/30	3P 50/30	3P 100/75
容量(KW)	1.33	1.33	

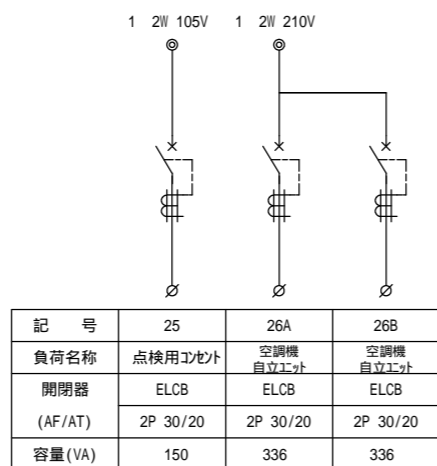
TOTAL=2.66KW



電灯動力分電盤 (LP-3)
鋼板製屋外自立型
盤寸法は参考

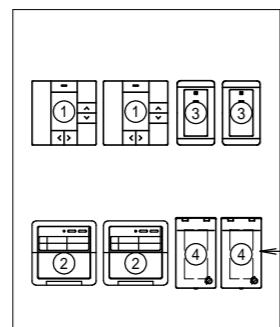
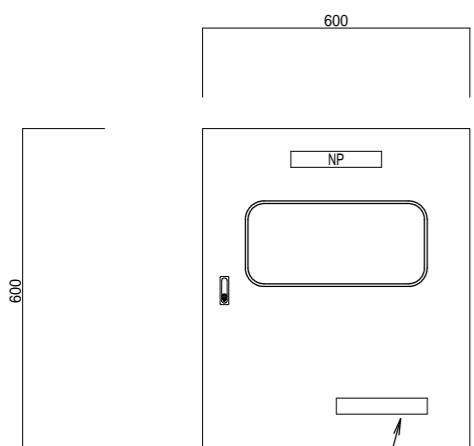
(注記) 分岐開閉器は協約形 (コンパクトサイズ) とする。

◎ ED
◎ ED ELB



記号	25	26A	26B
負荷名称	点検用コンセント	空調機自立ユニット	空調機自立ユニット
開閉器	ELCB	ELCB	ELCB
(AF/AT)	2P 30/20	2P 30/20	2P 30/20
容量(VA)	150	336	336

空調機リモコン盤 1R-1 新設



鍵付プレート
WTC7871K 同等品
WN13185R x 2
非常用コンセント シール貼り付け

- ① 空調機リモコン (空調工事) x 2個
- ② スケジュールタイマー (空調工事) x 2個
- ③ 搬送ファンリモコン (空調工事) x 2個
- ④ コネクト (発電回路) (電気工事) x 2個

①②③④ 盤内マルチ-BOX (電気工事) に取付

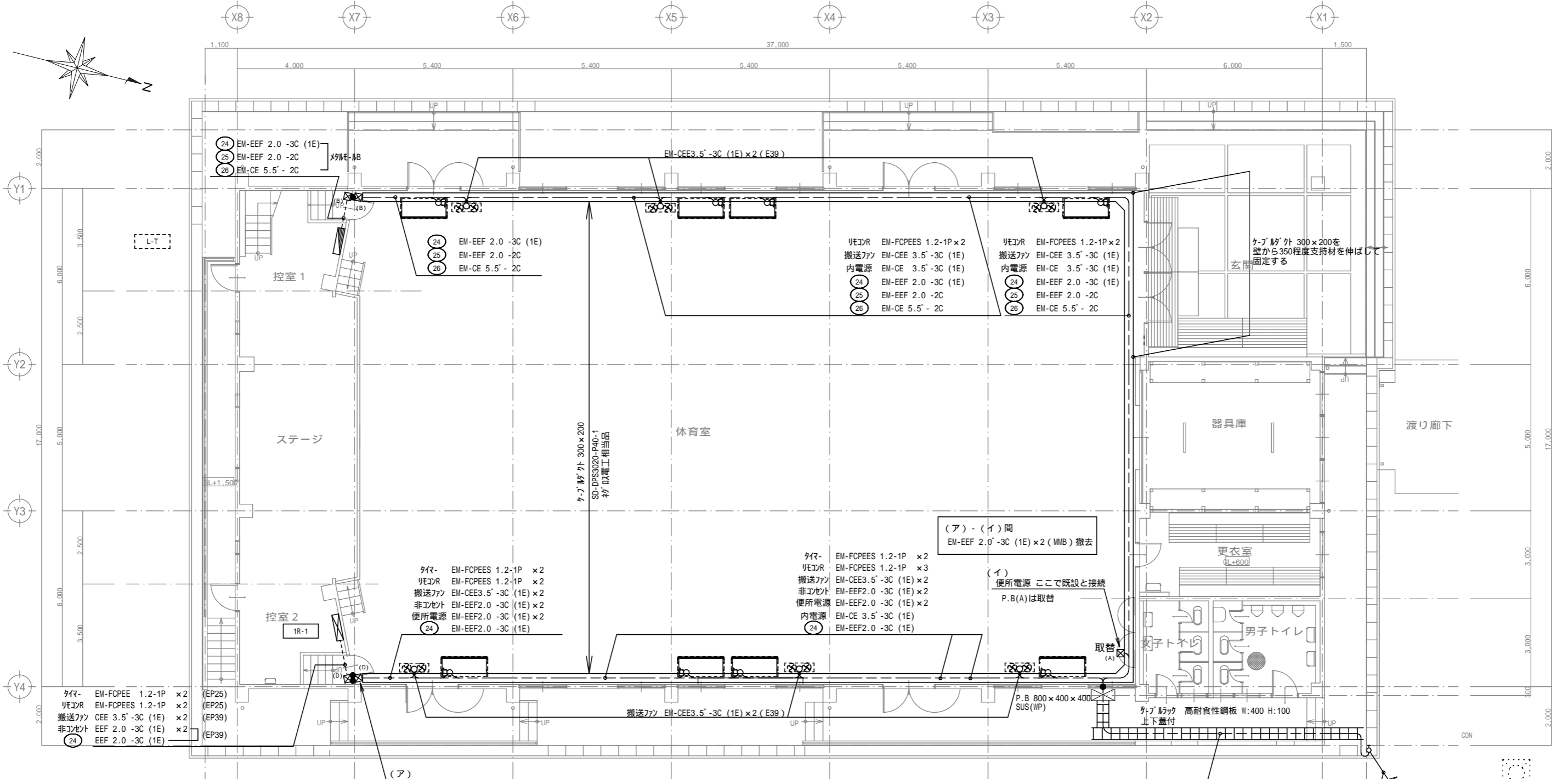
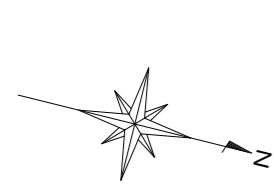
窓付、鍵付
板厚 (函体、扉) 1.6 t
製造者標準仕様

盤寸法は参考

既設分電盤

盤名称 盤形式	主回路	回路	負荷名称	負荷容量 (VA)	分岐開閉器					備考			
					MCB	ELB	P	AF	AT		電圧		
1L-T 屋内露出形	AC1 3W 100/200V リコントランス x 1 リコン リレ x 5 (100V) リコン リレ x 9 (200V) EM-CET 38' MCB 3P 100/100A =14.57 KVA 伝送ユニット x 1 リコントランス x 1 リコン リレ x 5 (100V) リコン リレ x 9 (200V)		リコントランス		○		2	30	20	100			
		1	既設		○						200		
		2	既設		○								
		3	既設		○								
		4	既設		○								
		5	既設		○							100	
		6	既設		○								
		7	既設		○								
		8	既設		○								
		9	既設		○								
		10	既設		○								
		11	既設		○								
		12	既設		○								
		13	既設		○								
		14	既設		○								
		15	既設		○								
		16	既設		○								
		17	既設		○								
		18	既設		○								
		19	既設		○								
		20	既設		○								
		21	便所コンセント				○						
		22	便所コンセント				○						
		23	予備				○						
		24	搬送ファン	1208			○						予備ブレーカに接続
		25	LP-3 コネクト	150			○						"
26	LP-3 空調室内機	672			○						予備ブレーカ-取替		
	MCB 2P 20A 100V x 1 撤去 MCB 2P 20A 200V x 1 新設												

名称変更
名称変更



記載なき配管配線は、下記に依る。

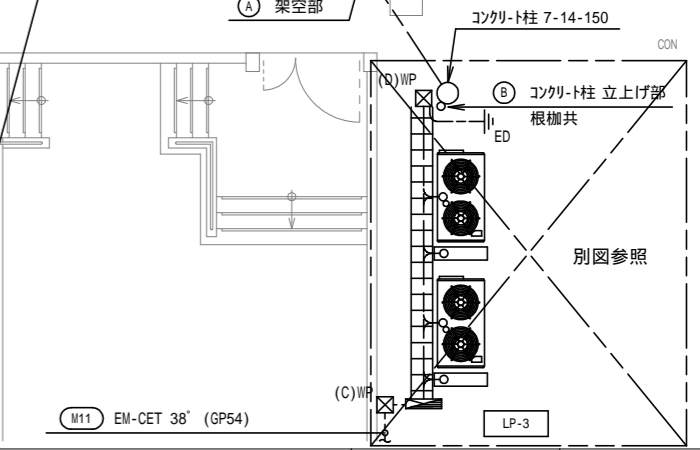
	EM-CE 3.5' -3C (1E) (EP25) (GP28)
	EM-CE 5.5' -3C (1E) (EP31) (GP28)
	EM-CEE3.5' -3C (1E) (EP25) (GP22)
	空配管 (EP19) (GP22)
	露出配管配線 (屋内EP、屋外GP電線管)
	架空配線 (突き出し)
	P,BOX SS 150 x 150 x 150 SUS WPは防水仕様
	P,BOX SS 200 x 200 x 200 SUS
	P,BOX SS 300 x 300 x 300 SUS
	P,BOX SS 400 x 400 x 400 SUS
	壁貫通(ダイヤカッター) 貫通処理は国交省大臣認定工法

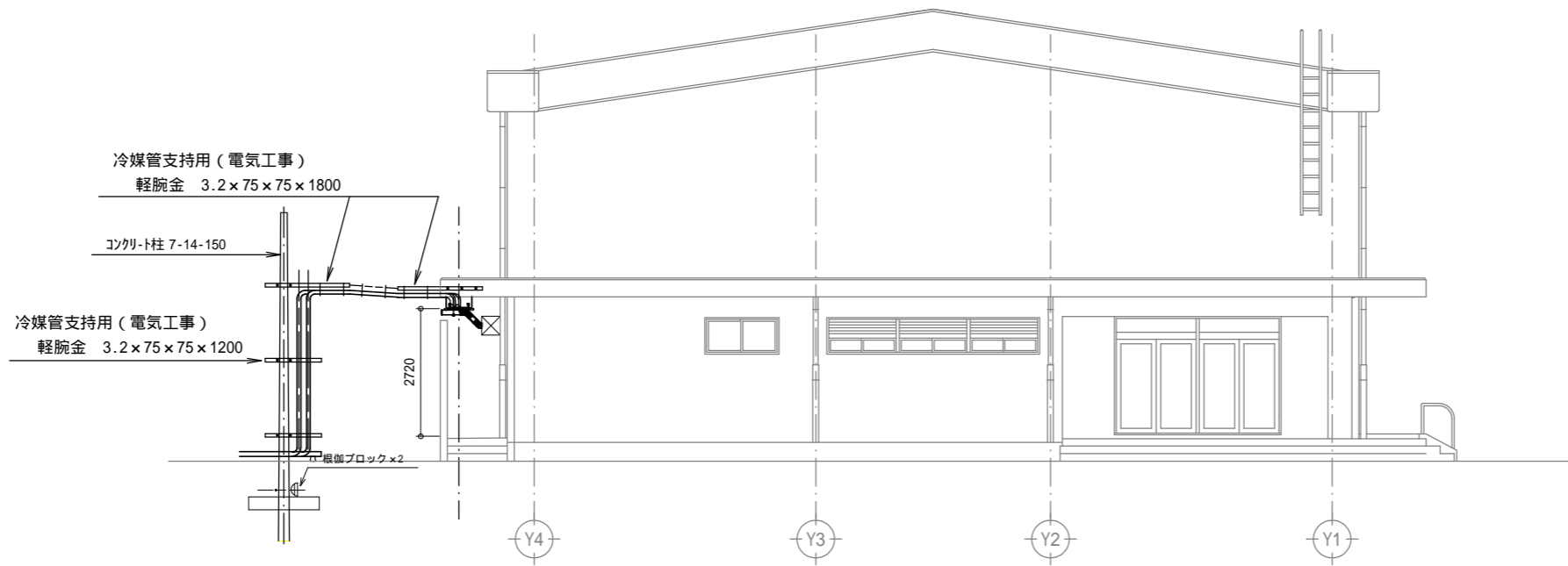
凡例

	1P-搬送ファン 1 100V 151W	機械設備工事
	1P-搬送ファン コントローラ付	機械設備工事
	空調機リコ	機械設備工事
	マテ-ル ショックボック	電気設備工事
	防雨入線加	WP91319 相当品
	防雨加 プレート	WN7641K 相当品

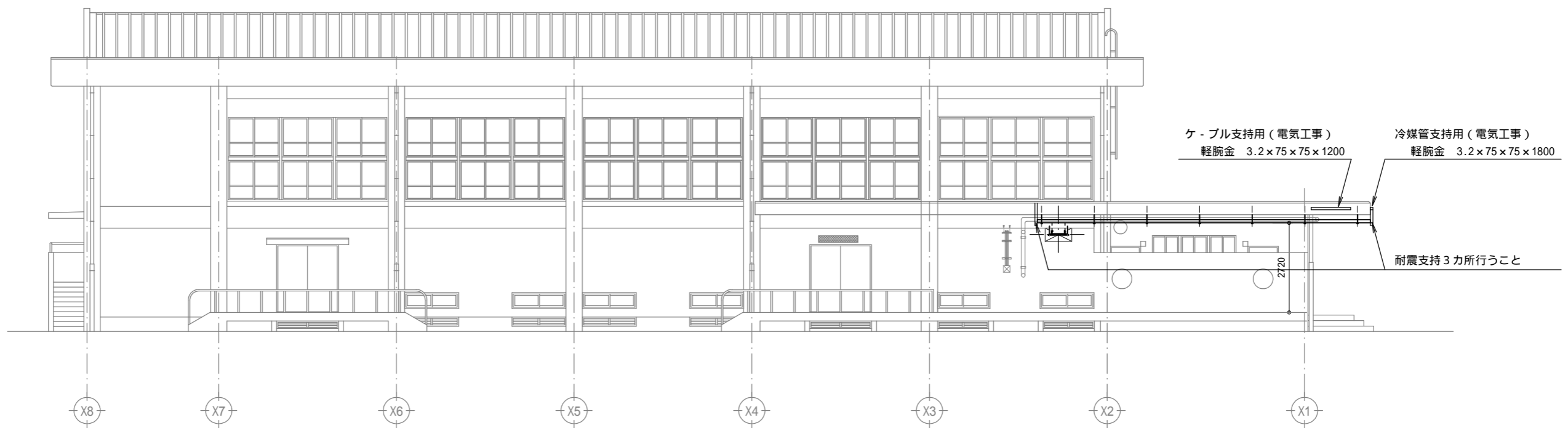
A	EM-CE 3.5' -3C x2	空調内機	MI 30sq
	EM-CE 5.5' -2C 26	空調内機	MI 30sq
	EM-CE 3.5' -3C x2 25	コンセント	MI 30sq
	EM-CE 3.5' -2C 25	コンセント	MI 30sq
B	EM-FCPEES1.2-1P x2	リコ	MI 30sq
	EM-FCPEE 1.2-1P x2	リコ	MI 30sq
	EM-CE 3.5' -3C x2	空調内機	(GP42)
	EM-CE 5.5' -2C 26	空調内機	(GP42)
C	EM-CE 3.5' -3C x2	非コンセント	(GP42)
	EM-CE 3.5' -2C 25	コンセント	(GP28)
	EM-FCPEES1.2-1P x2	リコ	(GP28)
	EM-FCPEE 1.2-1P x2	リコ	(GP28)

- リコ EM-FCPEES 1.2-1P x2
- リコ EM-FCPEES 1.2-1P x2
- 非コンセント EM-CE 3.5' -3C (1E) x2
- 内電源 EM-CE 3.5' -3C (1E) x2
- EM-CE 3.5' -2C 25
- EM-CE 5.5' -2C 26



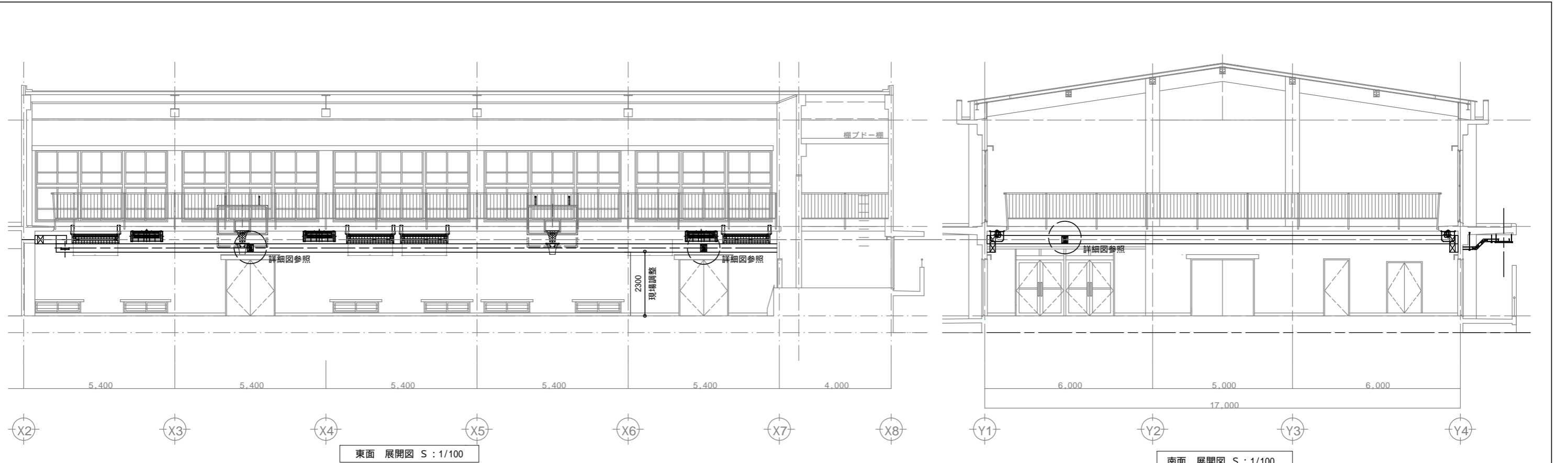


南立面図 S : 1/100



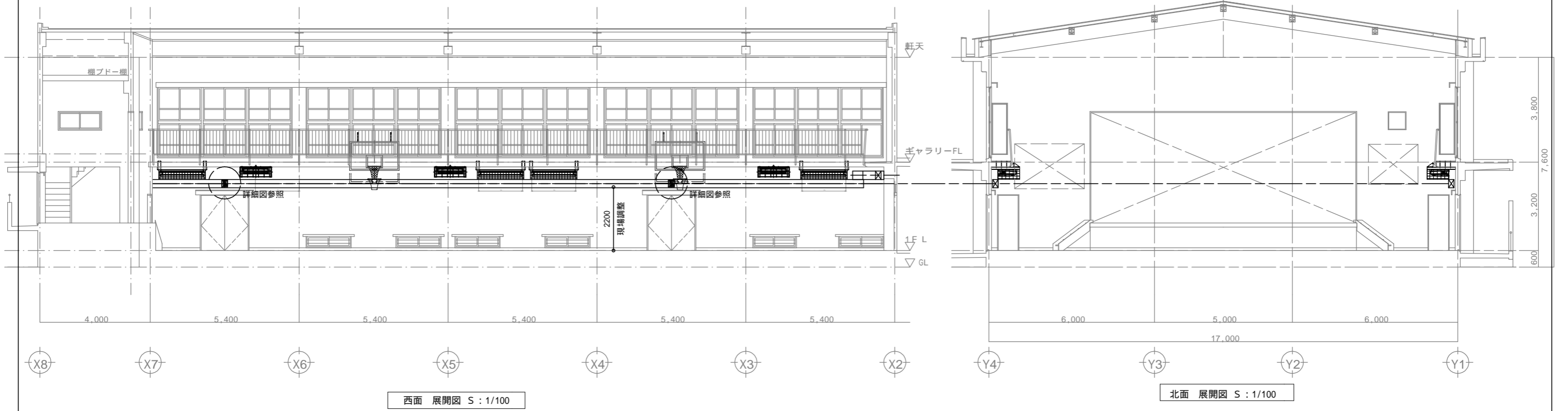
西立面図 S : 1/100

備考	吉村建築事務所 1級建築士登録第248236号 吉村 薫	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025 . 3 .	図面番号 E — 07
		図面名	電気設備 南・西 立面図	縮尺	1/100	



東面 展開図 S : 1/100

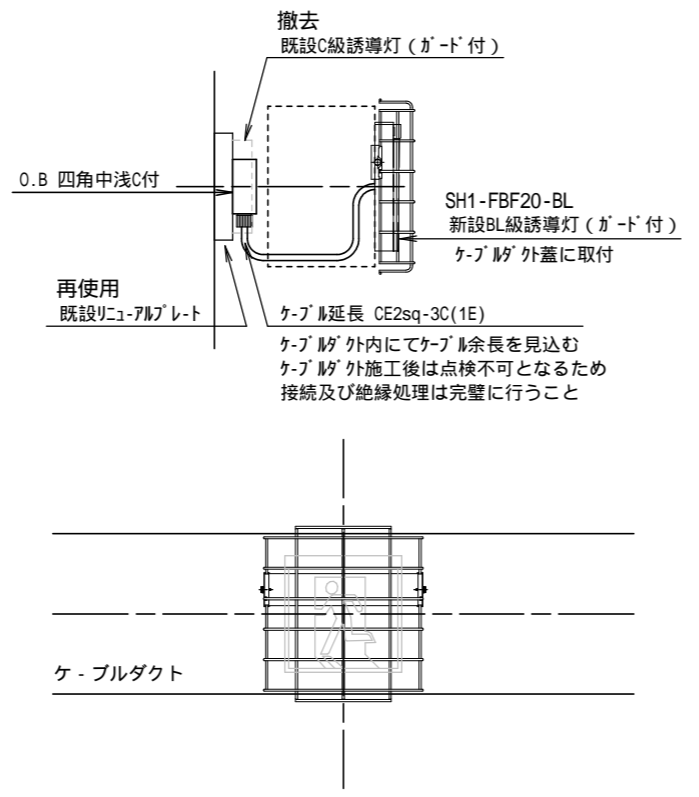
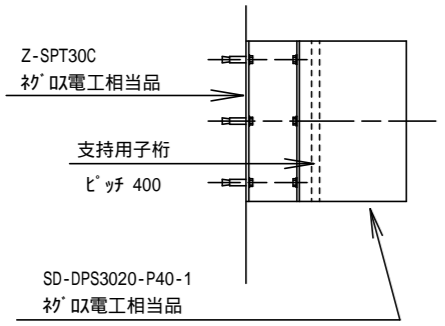
南面 展開図 S : 1/100



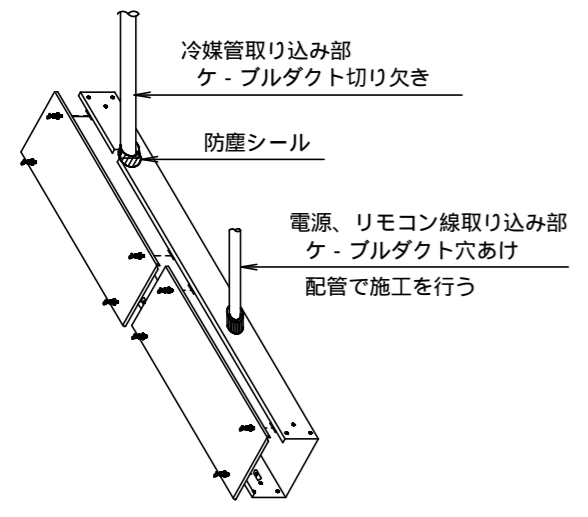
西面 展開図 S : 1/100

北面 展開図 S : 1/100

備考	<p>吉村建築事務所</p> <p>1級建築士登録第248236号 吉村 薫</p>	工事名	大開小学校体育館空調設置ほか改修工事	設計年月日	2025 . 3 .	図面番号	E — 08
		図面名	電気設備 展開図	縮尺	1/100		

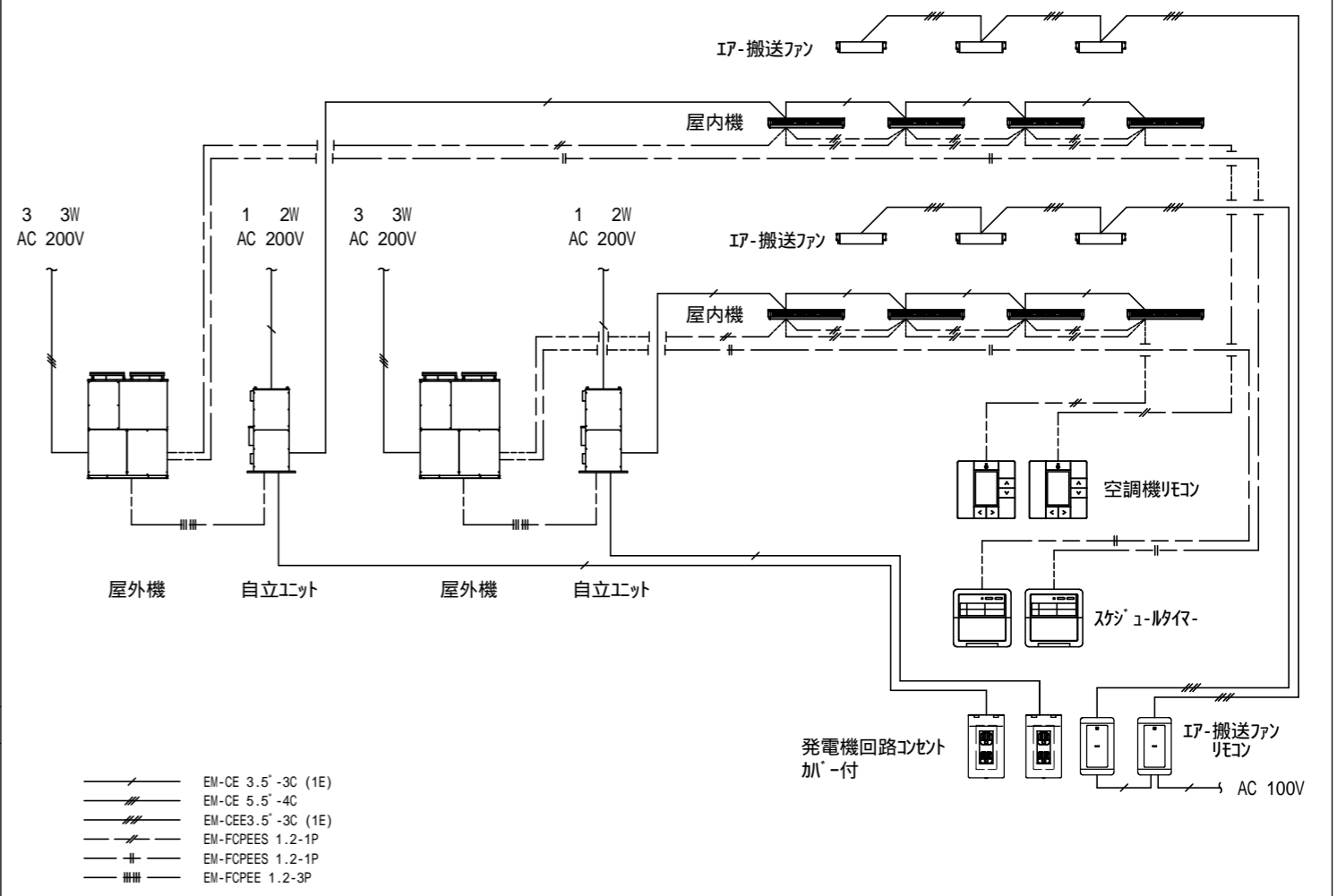


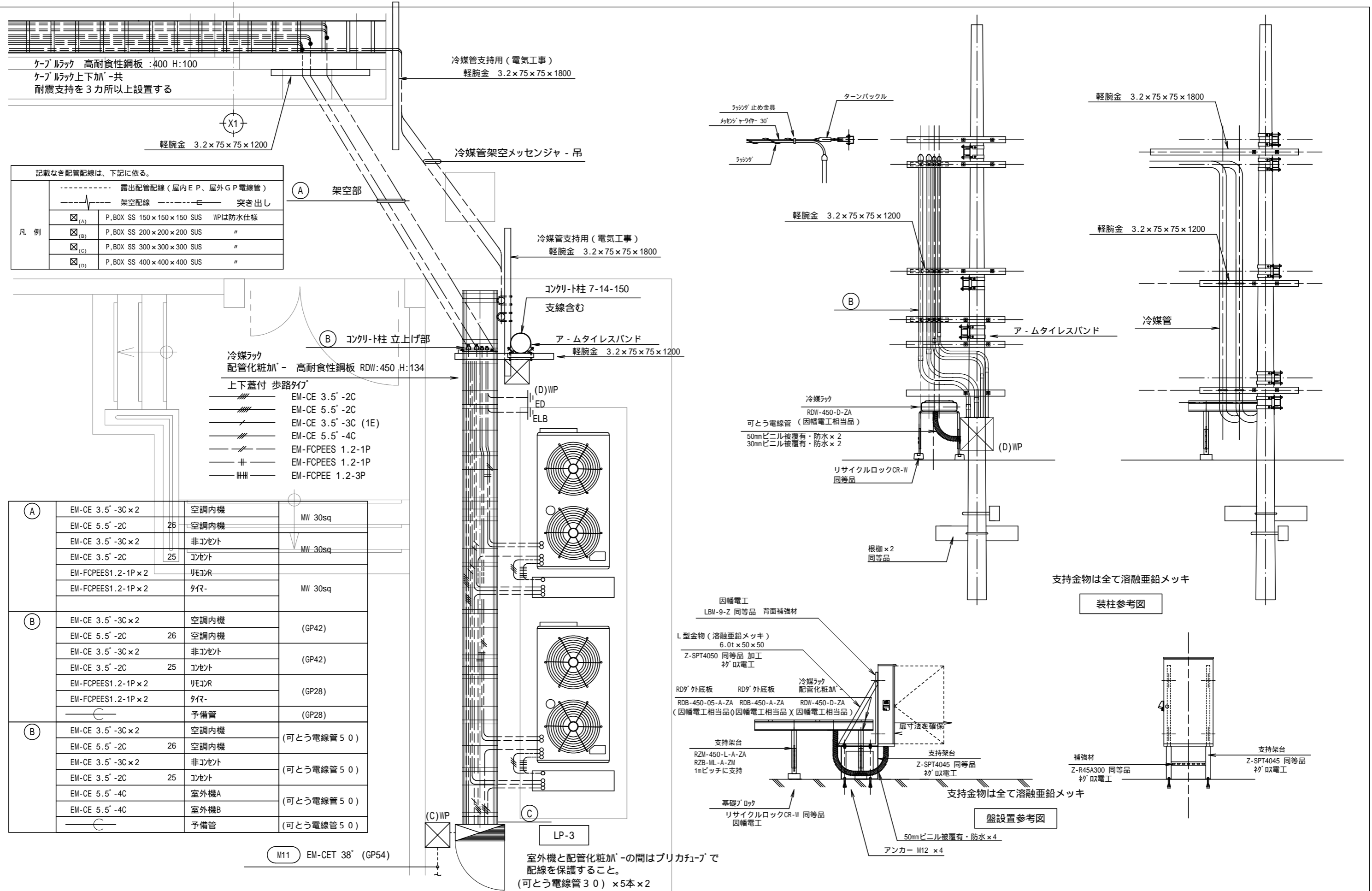
2 ケ-ブルダクト接続参考図 S:



4

5 機器接続系統図 電源3 200V+1 200V S:





記載なき配管配線は、下記に依る。

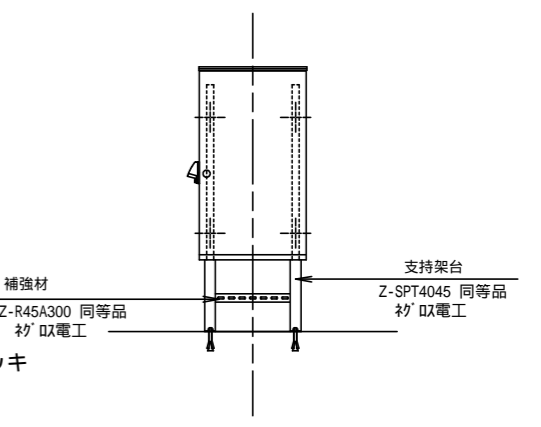
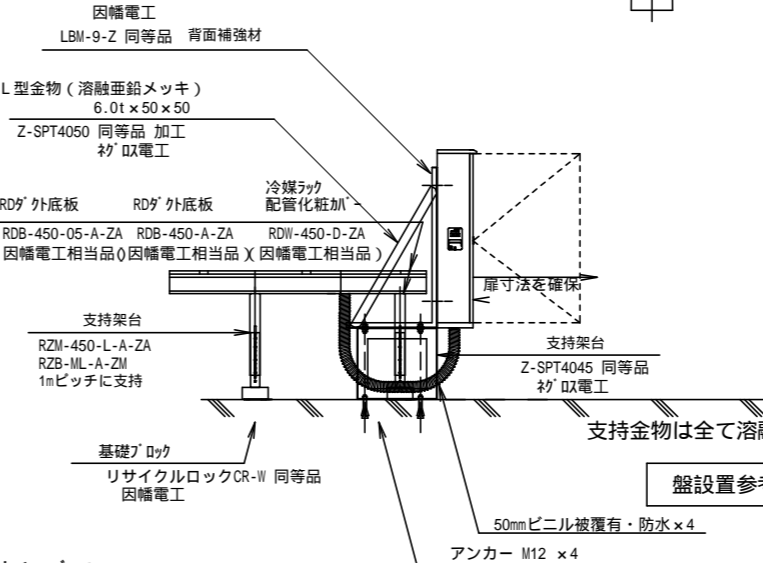
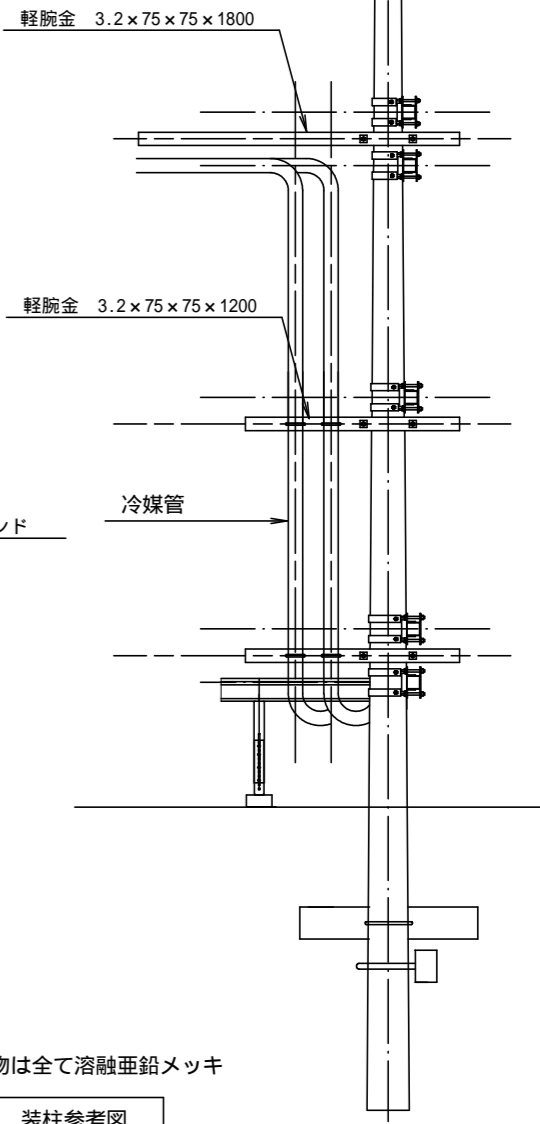
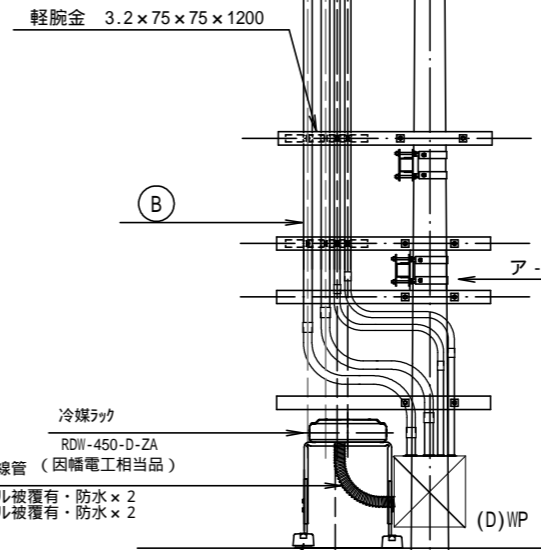
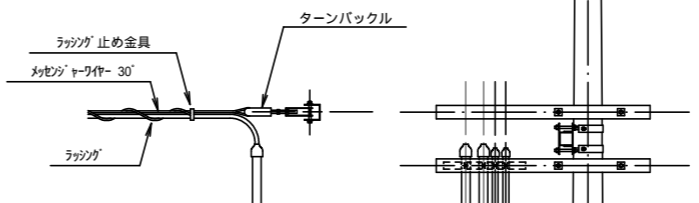
凡例	露出配管配線(屋内EP、屋外GP電線管)	突き出し
☒(A)	P,BOX SS 150×150×150 SUS	WPは防水仕様
☒(B)	P,BOX SS 200×200×200 SUS	"
☒(C)	P,BOX SS 300×300×300 SUS	"
☒(D)	P,BOX SS 400×400×400 SUS	"

- 冷媒ラック
配管化粧加 - 高耐食性鋼板 RDW:450 H:134
上下蓋付 歩路タイプ
- EM-CE 3.5' -2C
 - EM-CE 5.5' -2C
 - EM-CE 3.5' -3C (1E)
 - EM-CE 5.5' -4C
 - EM-FCPEES 1.2-1P
 - EM-FCPEES 1.2-1P
 - EM-FCPEE 1.2-3P

A	EM-CE 3.5' -3C × 2	空調内機	MW 30sq
	EM-CE 5.5' -2C	空調内機	
	EM-CE 3.5' -3C × 2	非コンセント	MW 30sq
	EM-CE 3.5' -2C	コンセント	
	EM-FCPEES1.2-1P × 2	リモコン	MW 30sq
	EM-FCPEES1.2-1P × 2	タイマ	
B	EM-CE 3.5' -3C × 2	空調内機	(GP42)
	EM-CE 5.5' -2C	空調内機	
	EM-CE 3.5' -3C × 2	非コンセント	(GP42)
	EM-CE 3.5' -2C	コンセント	
	EM-FCPEES1.2-1P × 2	リモコン	(GP28)
	EM-FCPEES1.2-1P × 2	タイマ	
C	予備管		(可とう電線管 50)
	EM-CE 3.5' -3C × 2	空調内機	
	EM-CE 5.5' -2C	空調内機	(可とう電線管 50)
	EM-CE 3.5' -3C × 2	非コンセント	
	EM-CE 3.5' -2C	コンセント	(可とう電線管 50)
	EM-CE 5.5' -4C	室外機A	
EM-CE 5.5' -4C	室外機B	(可とう電線管 50)	
	予備管		(可とう電線管 50)

M11 EM-CET 38° (GP54)

LP-3
室外機と配管化粧加の間はプリカフで配線を保護すること。
(可とう電線管 30) × 5本 × 2



支持金物は全て溶融亜鉛メッキ

装柱参考図

盤設置参考図

